

厚生委員会情報連絡

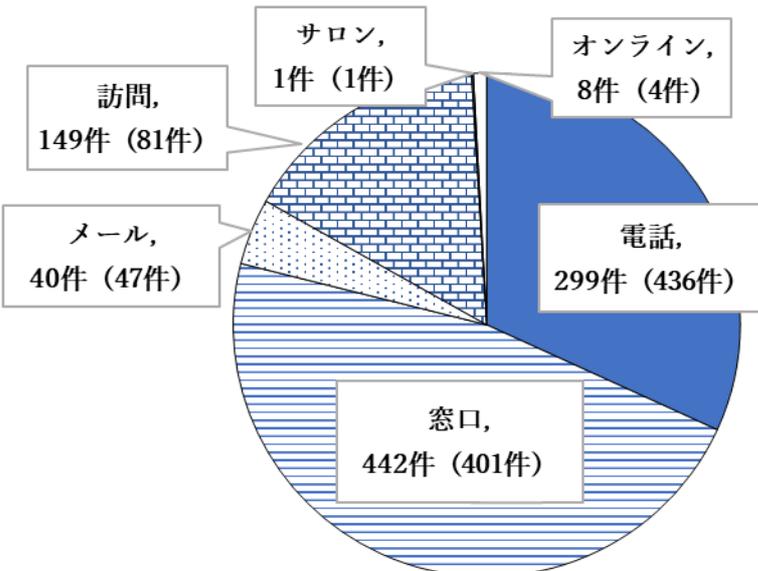
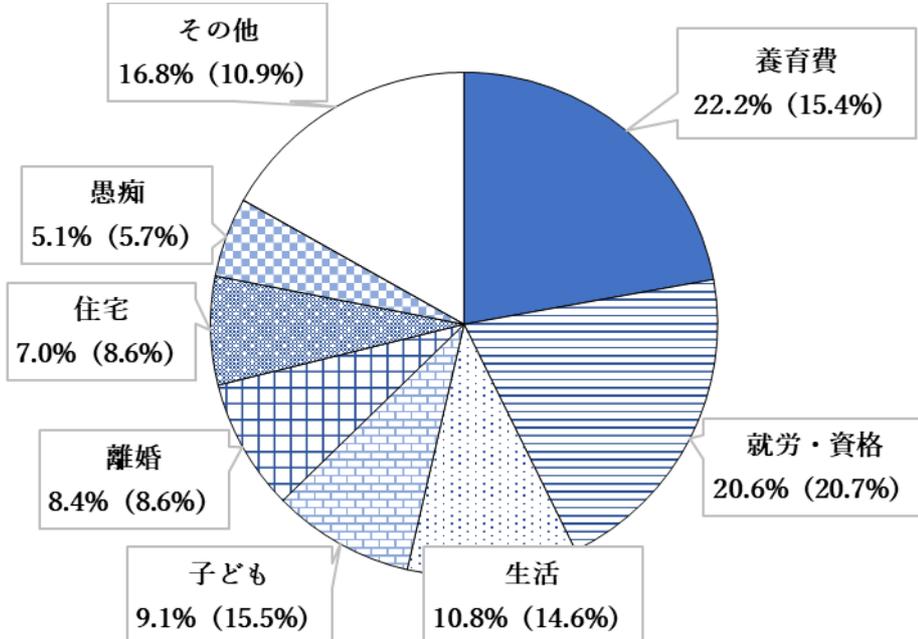
令和6年7月1日

| 情報連絡事項 | 頁 |
|---|----|
| 1 令和5年度ひとり親家庭総合支援事業の実績報告について | 2 |
| 2 「令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」 の支給実績について | 11 |
| 3 令和5年度障がい福祉センター相談事業の実績について | 13 |
| 4 令和5年度「足立区地域包括ケアシステム8つの推進事業」の実施結果 について | 25 |
| 5 令和5年度介護予防事業の実施結果について | 40 |
| 6 令和5年度「食べてフレイル予防」事業の実施結果について | 43 |
| 7 令和5年度介護人材育成関連事業の実績について | 49 |
| 8 令和5年度足立区介護保険事業実施状況（速報値）について | 51 |
| 9 令和6年度地域密着型サービスの整備・運営事業者の公募について | 55 |
| 10 令和5年度高齢者施設・障がい者（児）施設等に対する新型コロナウイルス 感染症及び物価高騰対策の支援実績について | 57 |
| 11 令和5年度「居場所を兼ねた学習支援」アンケート集計結果について | 62 |
| 12 西部福祉課・押皿谷住区センターの大規模改修工事について | 80 |
| 13 第32回足立区ボランティアまつりの開催結果について | 82 |

(福祉部)

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| | |
|------|--|
| 件名 | 令和5年度ひとり親家庭総合支援事業の実績報告について |
| 所管部課 | 福祉部 親子支援課 |
| 内容 | <p>ひとり親家庭等に対し、「相談」「交流」「就労」を柱とする各種支援事業を実施している。令和5年度の実績について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 相談事業</p> <p>(1) 豆の木相談室（親子支援課内）等での相談 豆の木相談室やメール、電話、サロン豆の木（交流事業）等でひとり親家庭等からの相談を受け付けた。</p> <p>ア 相談件数：939件（前年度970件）</p>  <p>イ 相談内容内訳（カッコ内前年度）※相談1件あたりの重複あり</p>  |



ひとり親家庭応援のシンボル！「豆の木」

童話「ジャックと豆の木」で豆の木が空に向かって大きく伸びていくように、掲載する情報がひとり親家庭の皆さんの力になるよう、願いをこめています。

(2) 応援アプリ・豆の木メールでの情報提供

ひとり親家庭向けのイベント情報を、ひとり親家庭の暮らしに役立つ情報を提供するアプリ・メールで配信した。

ア アプリ・メール登録者数



イ 情報提供件数 210件（前年度 212件）
（内訳）

- ① 生活に関する情報（手当振込日や給付金、都営住宅募集等） 127件
- ② 仕事に関する情報（セミナーや講座の開催案内等） 37件
- ③ レジャーに関する情報（都市農業公園等のイベント等） 46件

2 交流事業「サロン豆の木」

(1) サロン豆の木（相談支援型）

ひとり親家庭の方や離婚を考えている方同士で悩みの相談、情報交換をする機会を提供している。参加者同士の交流を深めるため、まずはじめにプチ講座を実施している。

ア 開催日時

毎月第3土曜日の午後2時30分～4時30分

イ 開催場所

NPO法人子育てパレット管理施設（梅島3-4-8）

ウ 延べ参加者（世帯）数

175名（大人103名、子ども72名）、103世帯

※ 新規：16世帯

| 開催日 | プチ講座の内容 | 参加人数 (参加世帯) 定員：10名 | 新規 世帯 |
|--------|---------------------------------|--------------------------|----------|
| 4月15日 | アロマで若返り！化粧水づくりデモンストラーション | 12(7) | 1 |
| 5月20日 | セルフコーチング～自分の思いを大切に 自分を生きるマインドを～ | 6(4) | 0 |
| 6月17日 | こどもの話を上手に聴く方法 | 12(7) | 4 |
| 7月15日 | 自分と向き合うヨガな時間 | 16(10) | 1 |
| 8月19日 | セルフケアを学ぶ～ハンドマッサージ～ | 12(8) | 3 |
| 9月16日 | おしゃべり café 半年お疲れさま会 | 23(13) | 4 |
| 10月21日 | お仕事アドバイス キャリア相談 | 15(10) | 1 |

| | | | |
|--------|----------------------|--------|---|
| 11月18日 | セルフケアを学ぶ～リフレクソロジー～ | 21(11) | 1 |
| 12月16日 | 忘年会 | 22(13) | 0 |
| 1月20日 | 新年会 | 11(7) | 0 |
| 2月17日 | 癒しのフラダンス Time を体感 | 16(8) | 1 |
| 3月16日 | おしゃべり café 1年間お疲れさま会 | 9(5) | 0 |

エ 参加者の声（相談支援型）

（ア）モヤモヤがスッキリする。

（イ）楽しいし、みなさんと話をすると前向きになれる。

（ウ）人になかなか話せる話ではないので、話せて楽しかった。

（エ）新しくシングルマザーと知り合うことや、近況を話せることが楽しい。

（オ）同じ立場の方と話せて共有できた。

（2）サロン豆の木（企画型）

「作る」「遊ぶ」「動く」をコンセプトに親子で楽しめる催しを行い、様々な体験・経験機会を提供している。

ア 開催日時

毎月第2・4土曜日の午後2時～4時

イ 開催場所

ギャラクシティ、地域学習センター等区内各所

ウ 延べ参加者（世帯）数

270名（大人118名、子ども152名）、118世帯

※ 新規：12世帯、父子世帯：延べ3世帯

| 開催日 | 内容 | 定員 | 参加人数 (参加世帯) | うち 父子 世帯 | 新規 世帯 |
|--------|----------------|----|----------------|----------------|----------|
| 4月8日 | イースター祭体験 | 20 | 4(2) | 0 | 1 |
| 4月22日 | 食品サンプルを作ろう | 20 | 30(14) | 1 | 1 |
| 5月13日 | 謎解き体験 | 20 | 10(4) | 0 | 1 |
| 5月27日 | 親子でヨガ体験 | 20 | 2(1) | 0 | 1 |
| 6月10日 | ブリッジャー電車で遊ぼう | 30 | 10(4) | 0 | 1 |
| 6月24日 | 組木コースターを作ろう | 30 | 7(3) | 0 | 0 |
| 7月8日 | わくわく実験教室 | 30 | 11(4) | 0 | 0 |
| 7月22日 | 豆の木夏祭り | 30 | 22(9) | 0 | 1 |
| 8月12日 | そうめんを使った簡単アレンジ | 16 | 11(5) | 0 | 1 |
| 8月26日 | キッズマネースクール | 30 | 2(1) | 1 | 0 |
| 9月9日 | オリジナルうちわを作ろう | 30 | 5(2) | 0 | 0 |
| 9月23日 | 豆の木コンサート | 30 | 8(4) | 0 | 0 |
| 10月14日 | オリジナルはんこを作ろう | 30 | 11(5) | 0 | 0 |
| 10月28日 | ハロウィン体験 | 30 | 24(10) | 0 | 1 |
| 11月11日 | 親子で学ぶ片付け術 | 30 | 1(1) | 0 | 0 |
| 11月25日 | フラワーアレンジメント教室 | 30 | 9(4) | 0 | 1 |
| 12月9日 | クリスマスリースを作ろう | 30 | 10(5) | 0 | 0 |

| | | | | | |
|---------|------------------|----|---------|---|---|
| 12月 23日 | 羊毛フェルトで作ってみよう | 30 | 7 (3) | 1 | 0 |
| 1月 13日 | 食品サンプルを作ろう | 30 | 19 (9) | 0 | 0 |
| 1月 27日 | バレンタイン料理 | 16 | 18 (7) | 0 | 1 |
| 2月 10日 | バスボムを作ろう | 30 | 18 (7) | 0 | 2 |
| 2月 24日 | ハンドクリーム&ハンドマッサージ | 30 | 9 (4) | 0 | 0 |
| 3月 9日 | 春の大感謝祭 | 30 | 17 (7) | 0 | 0 |
| 3月 20日 | ヨガ入門 | 30 | 5 (3) | 0 | 0 |

エ 参加者の声（企画型）

（ア）親子共々初めての体験で楽しかった。

（イ）素晴らしい体験でした。初めての手作りバレンタインに子どもも大喜びでした。

（ウ）楽しくみなさんと過ごせて充実した時間でした。

（3）スペシャルサロン豆の木（体験型）

ひとり親家庭で育成手当受給世帯を対象に、親子でサトイモ掘り体験企画（都市農業公園指定管理者へ依頼）を設定した。

ア 開催日

令和5年11月12日（日）

イ 開催場所

都市農業公園 ※現地集合・現地解散

ウ 参加者（世帯）数

33名15世帯（父子世帯：2世帯、新規：0世帯）

エ 参加者の声（体験型）

（ア）楽しく食について学べ、良い経験ができました。

（イ）自然とふれ合えるから、子どもにとってもとても良い経験になります。

（ウ）里芋掘りは初めてだったので、芋がどのようにできているのかを知れて、自分で掘れて良かった。

3 就労支援事業

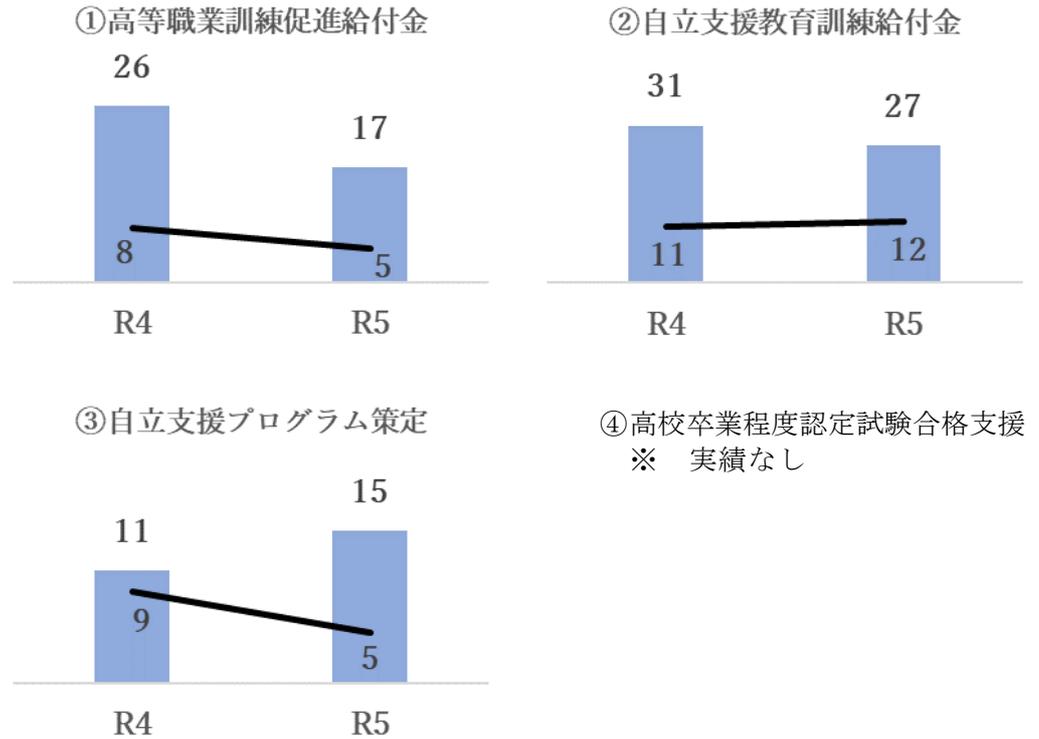
（1）就労支援事業等利用実績（重複者有）（カッコ内は前年度実績）

母子・父子家庭の経済的な自立を支援するため、仕事選びから就職までのサポートや給付金を支給し、資格取得等の支援をする事業を実施

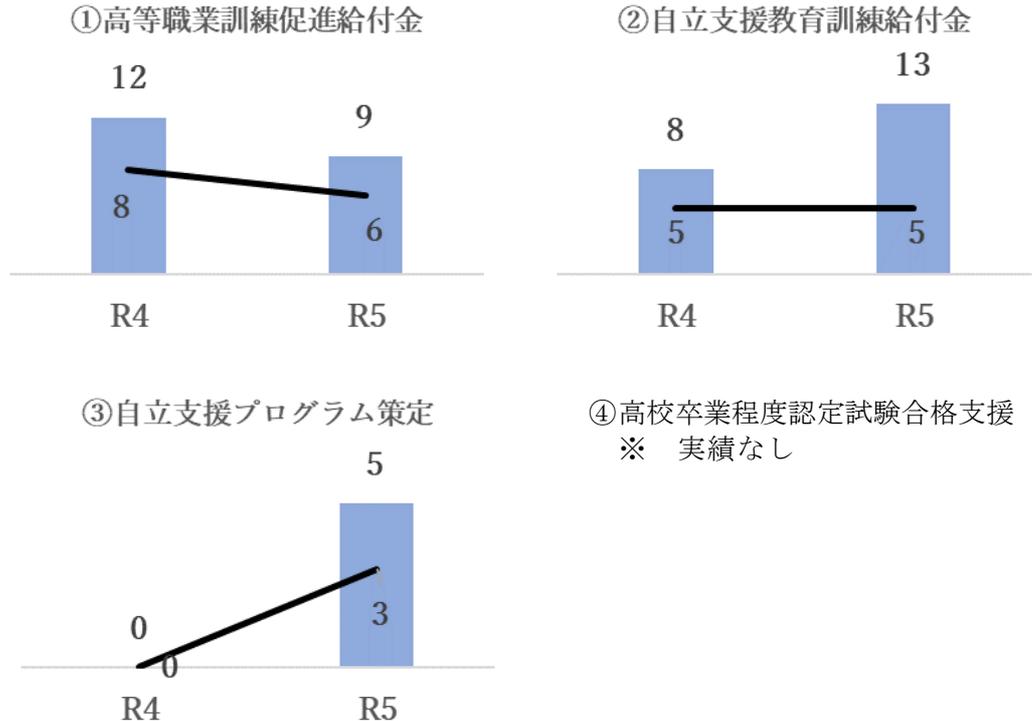
【各事業の内容】

- ① 国家資格等取得のため養成機関で修学する間の生活費の一部を支給
- ② 就職に繋がる資格取得や技能修得のために受講する講座費用の一部を助成
- ③ 経済的自立に向けた支援計画を立てて、個々の状況に合った仕事選びから就職までハローワークと連携し、支援
- ④ 高校卒業程度認定試験の合格を目指すために受講する講座費用の一部を助成（ひとり親家庭の子も対象）

ア 利用者数（棒：年間利用者数、折れ線：新規利用者数）



イ 修了者数・正規雇用就労者数
（棒：修了者数、折れ線：正規雇用就労者数）



(2) セミナー・講座開催実績

資格取得や就職・転職に関するセミナーを開催し、自立に向けたライフプランを考える場を提供するとともに、給付金事業等の利用を啓発した。

また、就職の選択の幅を広げるため、パソコン技能が修得できる講習会も実施した。

- ア 開催数 11回
- イ 参加者数 延べ131名
- ウ 周知方法 応援アプリ、豆の木メール、区ホームページ、窓口、訪問型支援員による自宅訪問
- エ 主な内容

| 講座名 | 応募人数 | 参加人数 |
|------------------------------|------|-------|
| 養育費・面会交流等法律セミナー（※） | 10 | 7 |
| 高卒認定試験受験応援セミナー | 6 | 2 |
| 転職・就職準備セミナー | 7 | 6 |
| 教育資金準備セミナー | 8 | 5 |
| ハローワーク・マザーズハローワーク支援員のお仕事セミナー | 4 | 3 |
| パソコン講習会(二日制6回) | 84 | 延べ108 |

※ 令和5年度新規

4 孤立のおそれがあるひとり親世帯へのアンケート結果について

(1) 目的

区が実施したひとり親家庭向け事業を利用した結果や生活の変化について把握する。

(2) 対象

令和5年1月に抽出した児童扶養手当受給者で、現況届により正規就労による収入がない世帯のうち、転出等により対象外となった世帯を除いた398件

(3) 実施方法

郵送配布、郵送またはWEBアンケートフォームによる回答

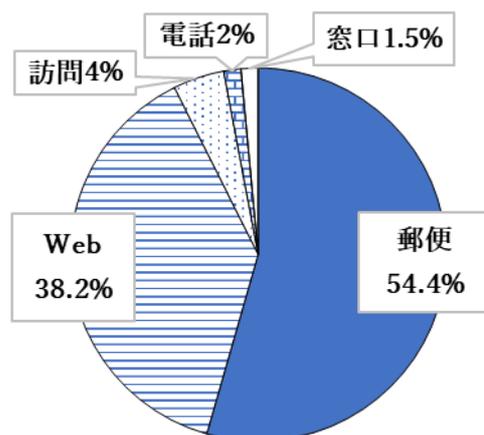
(4) 実施時期

令和6年2月

(5) 回答数

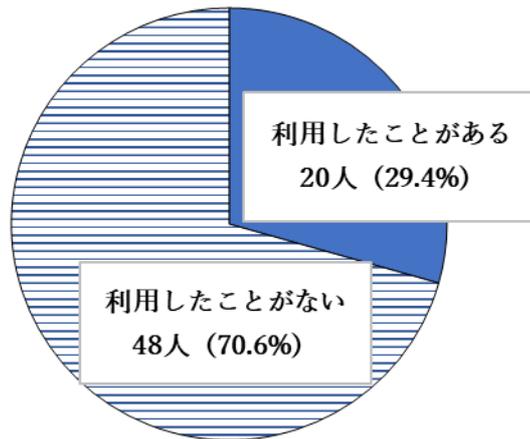
68世帯（17.1%）

【回答方法内訳】

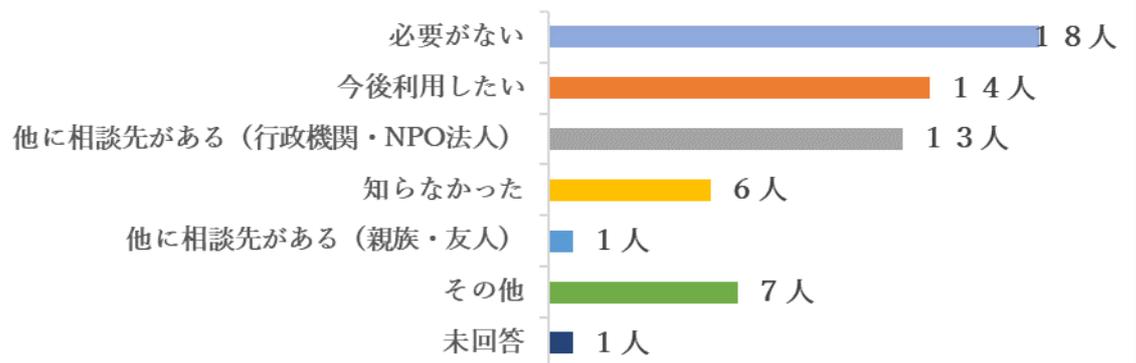


(6) 回答結果

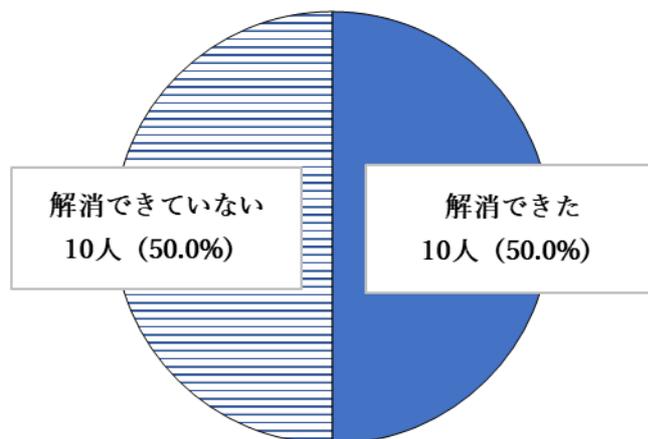
ア ひとり親家庭向け事業の利用状況



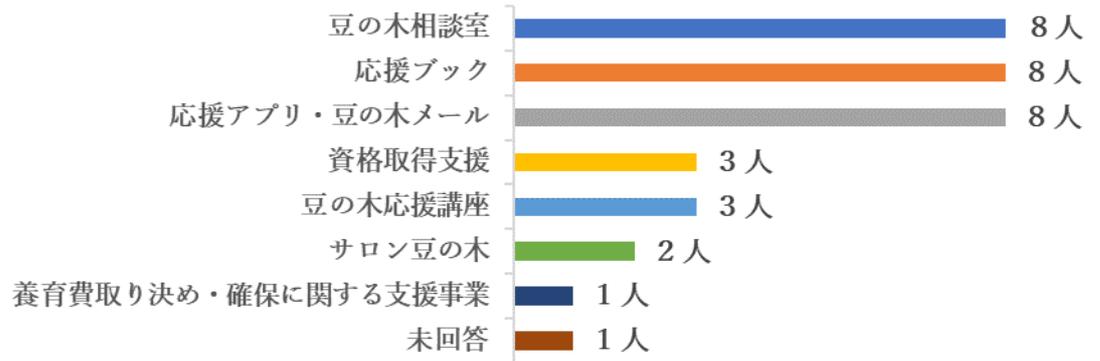
【事業を利用しなかった理由】



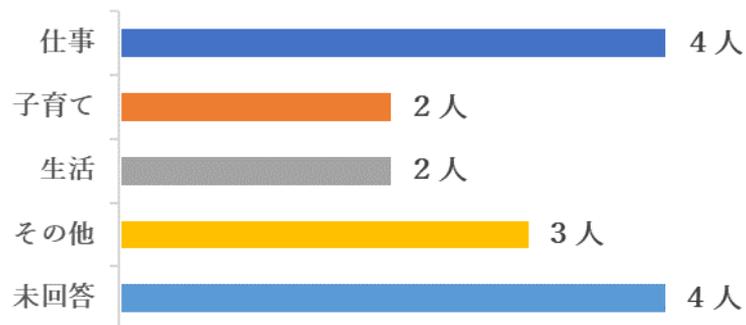
イ 困りごとの解消状況



ウ 利用したひとり親家庭向け事業（複数回答可）



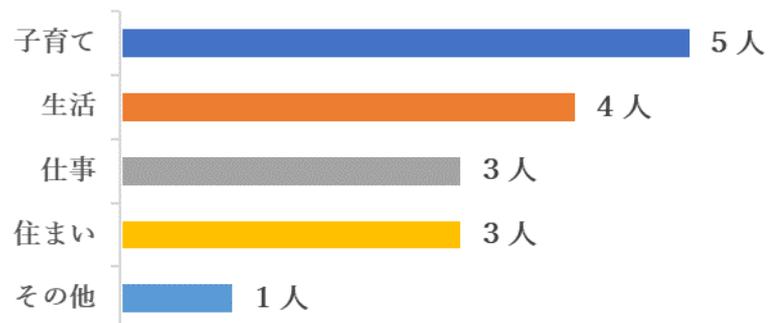
エ ひとり親家庭向け事業を利用し、解消した困りごと（複数回答可）



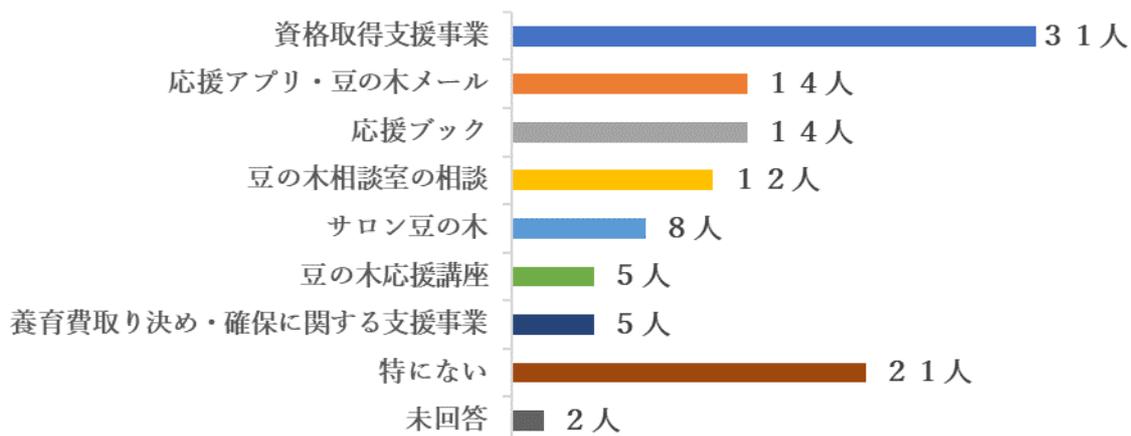
【解消した困りごとの主な内容】

- ① 子どもに他の大人や子どもたちと交流できる機会を与えられ、ひとりではできない体験をさせてあげられた。
- ② パソコン講座を受講し、就職先の条件に適用することができた。
- ③ マザーズハローワークに通って仕事探しや履歴書作成すること。
- ④ 資格取得支援について相談できた。
- ⑤ 離婚の時、養育費や公正証書等の相談にのって頂き心強かった。

オ 解消していない困りごと（複数回答可）



カ 今後利用したい事業・サービス（複数回答可）



(6) アンケート結果から分かったこと

- ア ひとり親家庭向け事業の利用率が3割にとどまっている。
- イ ひとり親家庭向け事業を利用した方のうち、半数が困りごとを解消できた。
- ウ 今後利用したい事業・サービスとして、資格取得支援事業を回答した人が多い。
- エ 仕事に関する悩みは適切な相談や支援制度を利用することで、解決につながる。
- オ 子育てに関する悩みは解消しづらい傾向がある。

(7) 対応策

- ア 令和6年に改訂した「資格取得としごと相談窓口BOOK」の送付時や手当の現況届送付時にサロン豆の木や就労支援セミナー、応援アプリ等の案内を同封し、必要なときにいつでも支援情報が確認できるように随時情報提供を行う。
- イ 孤立のおそれのあるひとり親世帯に対する訪問支援時に、個々の家庭に合った情報を提供し、適切な支援機関につながるよう寄り添い型の支援を強化し、気軽に相談できるよう支援員との良好な関係性を構築していく。

5 今後の方針

(1) 相談事業

共同親権を柱とする民法改正の今後の国の動向を注視し、最新情報の提供と法改正に対応した相談支援をしていく。

(2) 交流事業

親だけでなく、ひとり親家庭の子どもへの支援についても他部署と連携し、検討する。また、父親が参加しやすい内容となるような配慮や工夫もしていく。

(3) 就労支援事業

子どもの年齢や障がい、親自身の健康状態等、個々の家庭状況に応じた就労支援を継続していく。

(4) 孤立のおそれがある世帯へのアンケート

ひとり親家庭事業への参加率が低いことや解消できない困りごとの理由等のより一層深い分析ができるよう、アンケート内容を見直す。

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| 件名 | 「令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の支給実績について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|----|----|--|-------|---------------|--|----|---------------------------|--------|-------------------------|-----|-----------------------|------|-------|---------------|--|-------------------|---------------------------------------|--|----|----|--|-------|---------------|--|----|-----------------------------|--------|-----------------------|------|-------|---------------|--|-------------------|---------------------------------------|--|
| 所管部課名 | 福祉部 親子支援課、生活・暮らし臨時給付金担当課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>国からの補助金により実施した「令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」について、令和6年2月29日をもって申請期限が終了したため、支給実績を以下のとおり報告する。</p> <p>1 支給額 対象児童1人につき50,000円</p> <p>2 支給状況（令和6年3月31日現在）</p> <p>(1) ひとり親世帯（児童扶養手当受給世帯等）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給世帯数</td> <td colspan="2">5,549件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内訳</td> <td>① 児童扶養手当受給世帯 (下記4(1)ア)</td> <td>5,070件</td> </tr> <tr> <td>② 公的年金受給世帯 (下記4(1)イ)</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td>③ 家計急変世帯 (下記4(1)ウ)</td> <td>438件</td> </tr> <tr> <td>支給児童数</td> <td colspan="2">8,511人</td> </tr> <tr> <td>支給金額 (全額、国庫補助)</td> <td colspan="2">425,550千円 (8,511人×50,000円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>ア ①は申請不要で給付金を支給した。 イ ②③は申請が必要。 ウ ②③の支給対象となる可能性のある世帯（公的年金を受給している、または一定の収入等があつて児童扶養手当を受けていない世帯）に申請勧奨通知を約1,686件送付した。</p> <p>(2) ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給世帯数</td> <td colspan="2">4,679件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>① R4子育て給付金支給世帯 (下記4(2)ア)</td> <td>3,861件</td> </tr> <tr> <td>② 家計急変世帯 (下記4(2)イ)</td> <td>818件</td> </tr> <tr> <td>支給児童数</td> <td colspan="2">8,265人</td> </tr> <tr> <td>支給金額 (全額、国庫補助)</td> <td colspan="2">413,250千円 (8,265人×50,000円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>ア ①は申請不要で給付金を支給した。 イ ②は申請が必要。</p> | | 項目 | 数値 | | 支給世帯数 | 5,549件 | | 内訳 | ① 児童扶養手当受給世帯 (下記4(1)ア) | 5,070件 | ② 公的年金受給世帯 (下記4(1)イ) | 41件 | ③ 家計急変世帯 (下記4(1)ウ) | 438件 | 支給児童数 | 8,511人 | | 支給金額 (全額、国庫補助) | 425,550千円 (8,511人×50,000円) | | 項目 | 数値 | | 支給世帯数 | 4,679件 | | 内訳 | ① R4子育て給付金支給世帯 (下記4(2)ア) | 3,861件 | ② 家計急変世帯 (下記4(2)イ) | 818件 | 支給児童数 | 8,265人 | | 支給金額 (全額、国庫補助) | 413,250千円 (8,265人×50,000円) | |
| 項目 | 数値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支給世帯数 | 5,549件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内訳 | ① 児童扶養手当受給世帯 (下記4(1)ア) | 5,070件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② 公的年金受給世帯 (下記4(1)イ) | 41件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ③ 家計急変世帯 (下記4(1)ウ) | 438件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支給児童数 | 8,511人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支給金額 (全額、国庫補助) | 425,550千円 (8,511人×50,000円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 数値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支給世帯数 | 4,679件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内訳 | ① R4子育て給付金支給世帯 (下記4(2)ア) | 3,861件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② 家計急変世帯 (下記4(2)イ) | 818件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支給児童数 | 8,265人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支給金額 (全額、国庫補助) | 413,250千円 (8,265人×50,000円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

ウ ②の支給対象となる可能性のある世帯（令和5年度の住民税が非課税となっている養育者や令和5年3月以降に子どもが生まれた世帯）に申請勧奨通知を約1,076件送付した。

3 広報・周知

- (1) あだち広報（令和5年5月10日号、5月25日号、6月25日号、8月10日号、9月10日号、令和6年2月10日号）
- (2) 区ホームページ
- (3) SNS（X〔旧ツイッター〕、フェイスブック）
- (4) NPO活動支援センター登録団体、福祉事務所へチラシを送付し、周知を依頼
- (5) ハローワーク足立、都水道局足立営業所へチラシ配架依頼

4 支給対象者【参考】

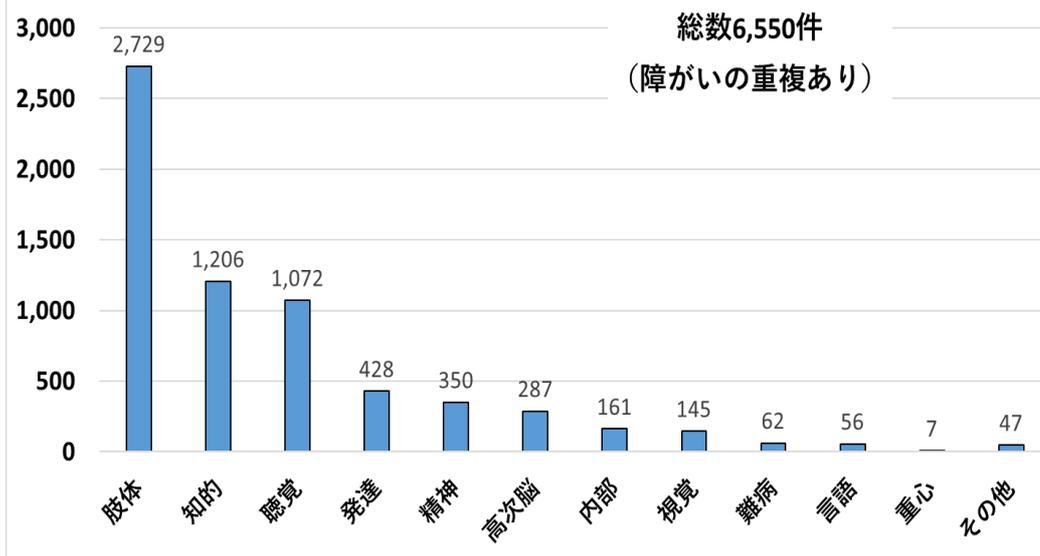
- (1) 児童扶養手当受給者（ひとり親世帯）等
 - ア 令和5年3月分の児童扶養手当を受給している者及び令和5年4月分の新規児童扶養手当受給者
 - イ 公的年金受給により令和5年3月分の児童扶養手当を受けていない方
 - ウ 令和5年5月分以降新規で児童扶養手当を受給した方及び児童扶養手当未支給者のうち、食費等の物価高騰の影響により家計（収入）が急変し、令和5年1月以降のいずれか1か月の収入が児童扶養手当受給者と同等の水準となったひとり親世帯の方
 - (2) ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯
 - ア 令和4年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親以外の世帯）の支給対象者であった方
 - イ 令和5年3月31日時点で18歳未満の児童（障がい児については20歳未満）の養育者であって、令和5年度住民税非課税の方及び食費等の物価高騰の影響により家計（収入）が急変し、令和5年1月以降のいずれか1か月の収入が住民税非課税相当となった方
- ※ 令和5年3月以降、令和6年2月末までに生まれる新生児も対象とする。

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| 件名 | 令和5年度障がい福祉センター相談事業の実績について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|---------------|---------------|----------------|-------|----------------|----------------|----------------|----|----|-------|---|---|---|---|-----|-------|-------|------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|------|----|----|----|-------|-----|-----|-----|---|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 所管部課 | 福祉部 障がい福祉センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>1 自立生活支援室</p> <p>障がい者の自立した生活を支援するため、様々な相談に対応している。</p> <p>(1) 障がい者に対する総合相談</p> <p>ア 一般相談件数（手段別） (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年 度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">新規相談</td> <td>電 話</td> <td>809</td> <td>896</td> <td>1,013</td> </tr> <tr> <td>窓 口</td> <td>115</td> <td>134</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>メー ル</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>訪 問 等</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>937</td> <td>1,044</td> <td>1,188</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">継続相談</td> <td>電 話</td> <td>1,665</td> <td>1,714</td> <td>1,960</td> </tr> <tr> <td>窓 口</td> <td>1,236</td> <td>1,228</td> <td>1,712</td> </tr> <tr> <td>メー ル</td> <td>69</td> <td>17</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>訪 問 等</td> <td>263</td> <td>262</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,233</td> <td>3,221</td> <td>4,153</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4,170</td> <td>4,265</td> <td>5,341</td> </tr> </tbody> </table> | 年 度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 新規相談 | 電 話 | 809 | 896 | 1,013 | 窓 口 | 115 | 134 | 147 | メー ル | 13 | 11 | 21 | 訪 問 等 | 0 | 3 | 7 | 計 | 937 | 1,044 | 1,188 | 継続相談 | 電 話 | 1,665 | 1,714 | 1,960 | 窓 口 | 1,236 | 1,228 | 1,712 | メー ル | 69 | 17 | 65 | 訪 問 等 | 263 | 262 | 416 | 計 | 3,233 | 3,221 | 4,153 | 合 計 | 4,170 | 4,265 | 5,341 |
| | 年 度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新規相談 | 電 話 | 809 | 896 | 1,013 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 窓 口 | 115 | 134 | 147 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メー ル | 13 | 11 | 21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 訪 問 等 | 0 | 3 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 937 | 1,044 | 1,188 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 継続相談 | 電 話 | 1,665 | 1,714 | 1,960 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 窓 口 | 1,236 | 1,228 | 1,712 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メー ル | 69 | 17 | 65 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 訪 問 等 | 263 | 262 | 416 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 3,233 | 3,221 | 4,153 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 4,170 | 4,265 | 5,341 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>(ア) 相談件数の推移 ()内は前年度比増減</p> <table border="1"> <caption>(ア) 相談件数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> <th>継続相談</th> <th>新規相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4,170</td> <td>3,233</td> <td>937</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4,265 (+2.3%)</td> <td>3,221 (△0.4%)</td> <td>1,044 (+11.4%)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>5,341 (+25.2%)</td> <td>4,153 (+28.9%)</td> <td>1,188 (+13.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 直近3年間、相談件数は年々増加傾向にある。</p> <p>② 相談手段は、例年どおり電話や窓口（来所）が多い。</p> | 年度 | 合計 | 継続相談 | 新規相談 | 令和3年度 | 4,170 | 3,233 | 937 | 令和4年度 | 4,265 (+2.3%) | 3,221 (△0.4%) | 1,044 (+11.4%) | 令和5年度 | 5,341 (+25.2%) | 4,153 (+28.9%) | 1,188 (+13.8%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 合計 | 継続相談 | 新規相談 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度 | 4,170 | 3,233 | 937 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和4年度 | 4,265 (+2.3%) | 3,221 (△0.4%) | 1,044 (+11.4%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 | 5,341 (+25.2%) | 4,153 (+28.9%) | 1,188 (+13.8%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

イ 相談者の障がい種別 (件)

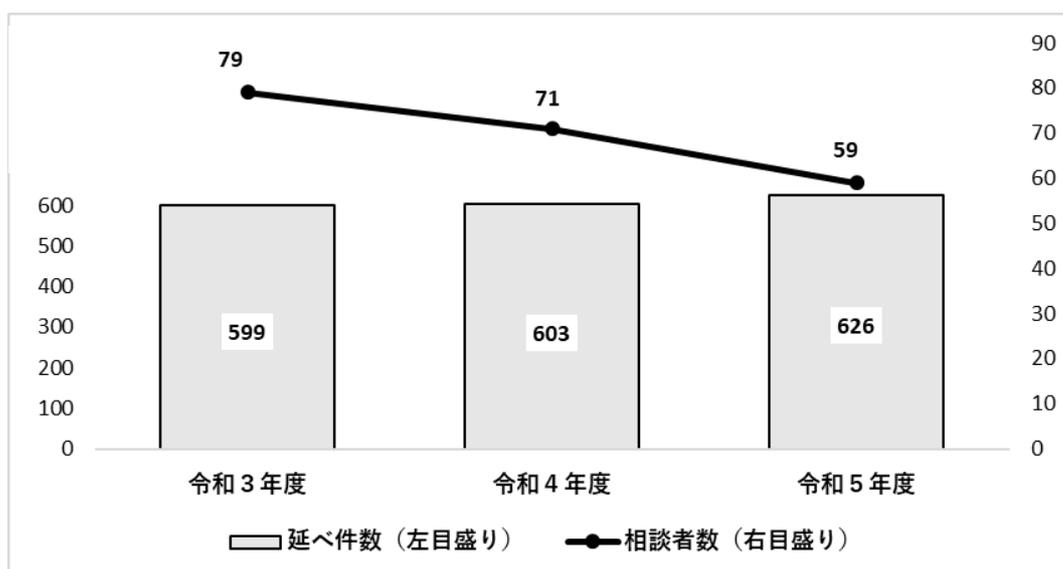


主な障がい種別は、肢体不自由、知的、聴覚の3つで、相談全体の76%を占めている（前年度は71%）。

ウ 障がい者ケアマネジメント（相談者への継続的な自立生活支援）件数
(ア) 一般相談

| 年 度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------------|----|-------|-------|-------|
| 相談者数（人） | | 79 | 71 | 59 |
| 対応延べ 件数 (件) | 来所 | 599 | 461 | 525 |
| | 訪問 | — | 64 | 40 |
| | 同行 | — | 78 | 61 |
| | 計 | 599 | 603 | 626 |

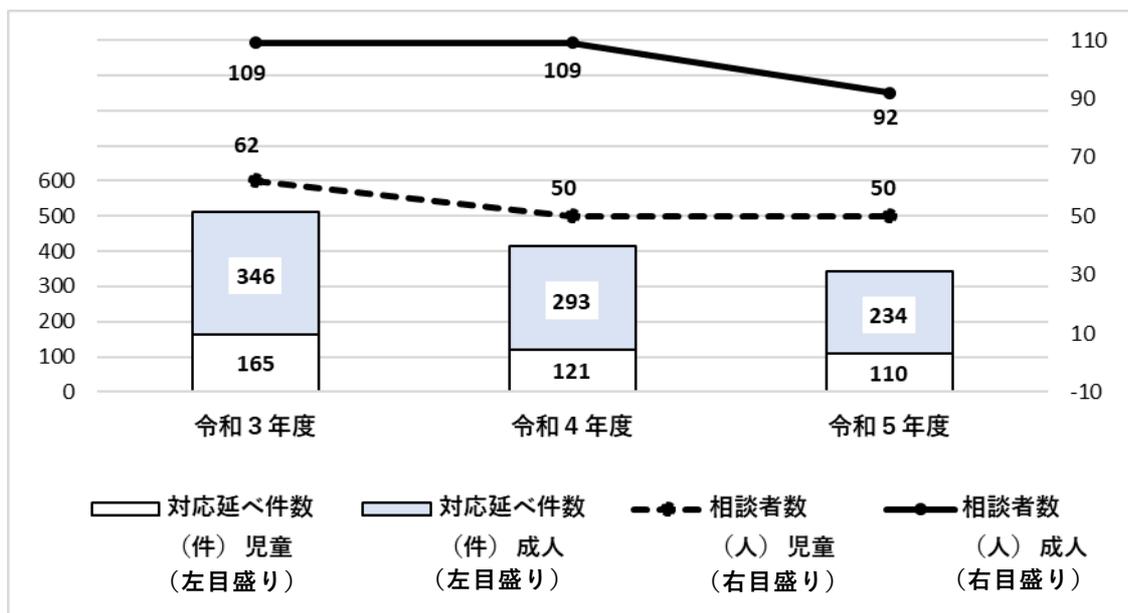
一般相談とは、障がい者の日常生活および社会生活に関わる様々な相談に対して、ケアマネジメント手法により総合的に支援するもの。



(イ) 計画相談

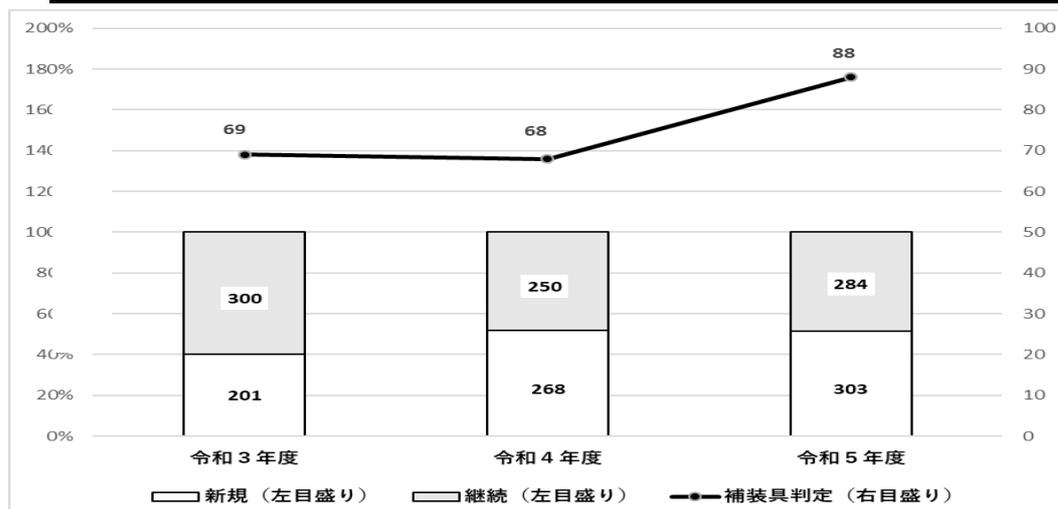
| 年 度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------------|----|-------|-------|-------|
| 相談者数 (人) | 児童 | 62 | 50 | 50 |
| | 成人 | 109 | 109 | 92 |
| 対応延べ 件数 (件) | 児童 | 165 | 121 | 110 |
| | 成人 | 346 | 293 | 234 |
| | 計 | 511 | 414 | 344 |

計画相談とは、障がい者福祉サービスや障がい児通所支援を利用する際に必要なサービス等利用計画の作成および連絡調整を行い、本人意向に基づいて地域生活を支援するもの。



(2) 補装具の相談・判定 (件)

| 年 度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------------|---------|-------|-------|-------|
| 相談 件数 (①) | 新 規 | 201 | 268 | 303 |
| | 継続 (延べ) | 300 | 250 | 284 |
| | 計 | 501 | 518 | 587 |
| 補装具判定件数(②) | | 69 | 68 | 88 |



- ① 補装具にかかる個別の一般的な相談（既に装用している方からの相談も含む）
- ② 補装具判定は、本来は東京都の事業だが、区でも利便性向上の理由から区指定医の協力を得て、月2回の書類判定を実施（令和5年度、特別区では足立区、世田谷区で実施）

(3) きこえの相談

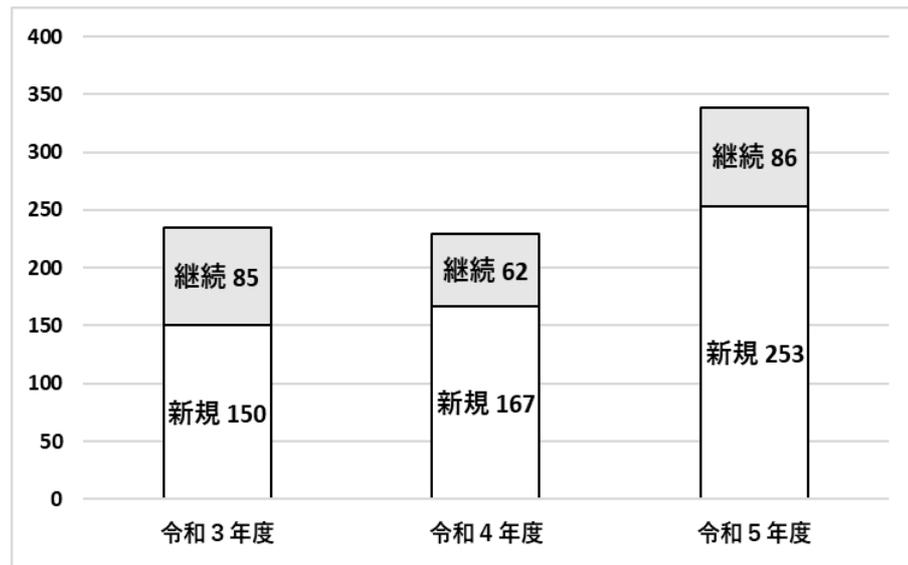
毎週火～金曜日、増員した言語聴覚士による、きこえに関する専門的な相談（聴力検査での聴力判定、補聴器のフィッティングなど）を実施している。

ア きこえの相談件数 (件)

| 年 度 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------|----|-------|-------|---------|
| 相談件数 | 新規 | 150 | 167 | (※) 253 |
| | 継続 | 85 | 62 | 86 |
| | 計 | 235 | 229 | 339 |

※ 令和5年9月から地域包括支援センター等で実施した「出張きこえの相談」14回33件を含む

(ア) 相談件数の推移 (件)



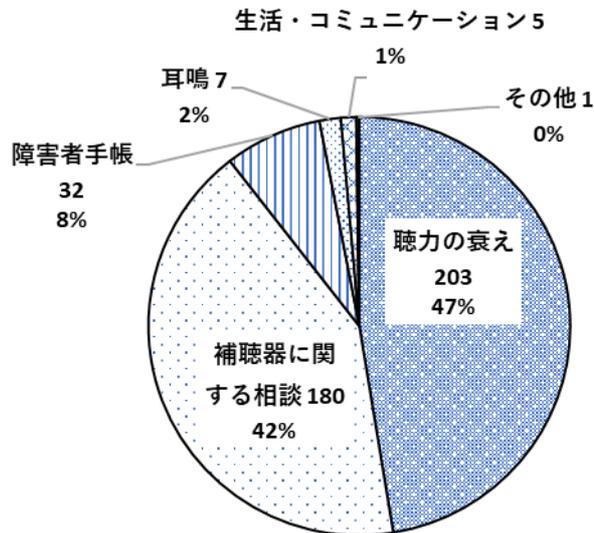
- ① 新規件数は年々増加傾向にある。
- ② 継続相談は、高齢者補聴器購入費用助成制度の説明や、補聴器の試聴体験や装用助言等が主である。
- ③ 令和5年度は、高齢者補聴器購入費用助成事業の拡充、出張きこえの相談の開始による影響も増加の一要因であると考えられる。

イ 相談内容（新規相談253人について。重複あり） (件)

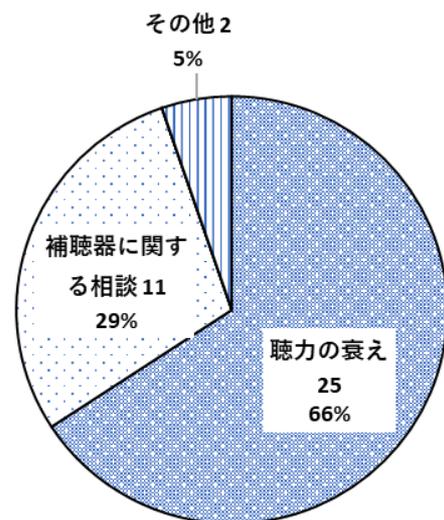
| 相談内容 | 障がい福祉センター | 出張きこえの相談 |
|---------------------------|-----------|----------|
| 聴力の衰え | 203 | 25 |
| 補聴器に関する相談 (必要性、種類、調整等) | 180 | 11 |
| 障害者手帳 (高齢者補聴器助成含む) | 32 | 0 |
| 耳鳴 | 7 | 0 |
| 生活・コミュニケーション | 5 | 0 |
| その他 | 1 | 2 |
| 合計 | 428 | 38 |

聴力の衰えや補聴器に関する相談が全体の90%を占めている（前年度は85%）。出張きこえの相談を含む。

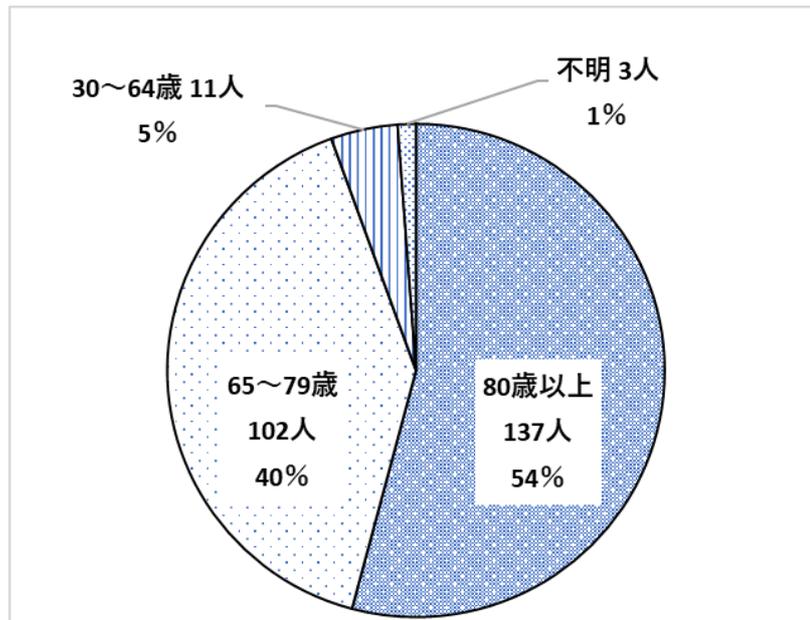
〈障がい福祉センターでの相談〉



〈出張きこえの相談〉



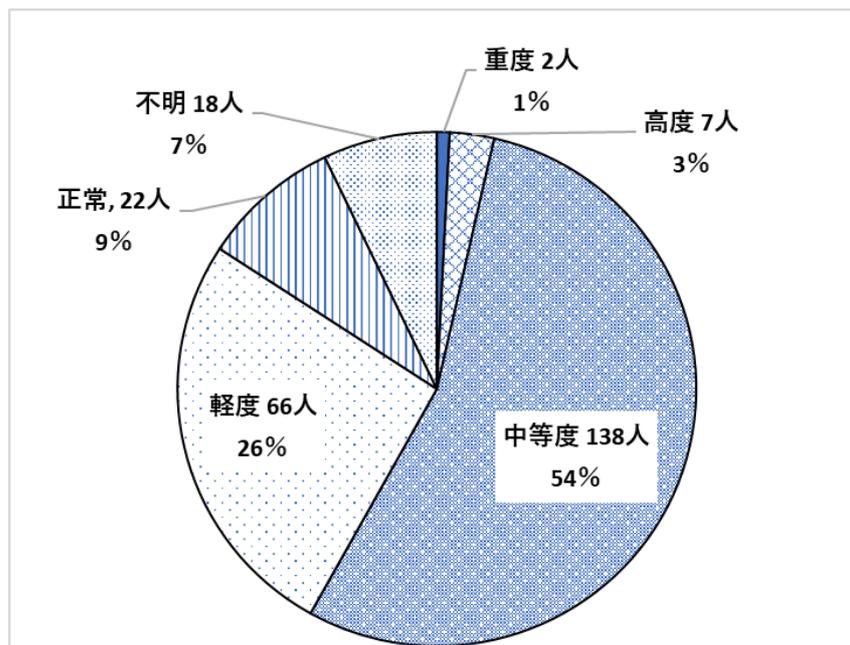
ウ 年齢別内訳（新規相談 253 人について）



65歳以上が、年齢不明者3人を除く全体の96%（239人）を占めており、加齢による難聴相談が多いと言える。

出張きこえの相談を含む。

エ 聴力検査の結果（新規相談 253 人について）



※詳細の説明については次ページを参照

聴力における状態の判断基準および制度との関係等

| 状態 | 聴力レベル | 状況または制度との関係（詳細な判断基準あり） |
|-----|----------|--|
| 正常 | ～24 dB | |
| 軽度 | 25～39 dB | 小声やうるさい場所は聞き取りにくい状況 |
| 中等度 | 40～69 dB | 高齢者補聴器購入費用助成事業対象者 |
| 高度 | 70～89 dB | ① 身体障害者手帳3、4、6級該当 (聴力のみでの1級、5級の判定基準はない) ② 補聴器支給対象者 |
| 重度 | 90 dB～ | ① 身体障害者手帳2級該当 ② 補聴器支給対象者 |

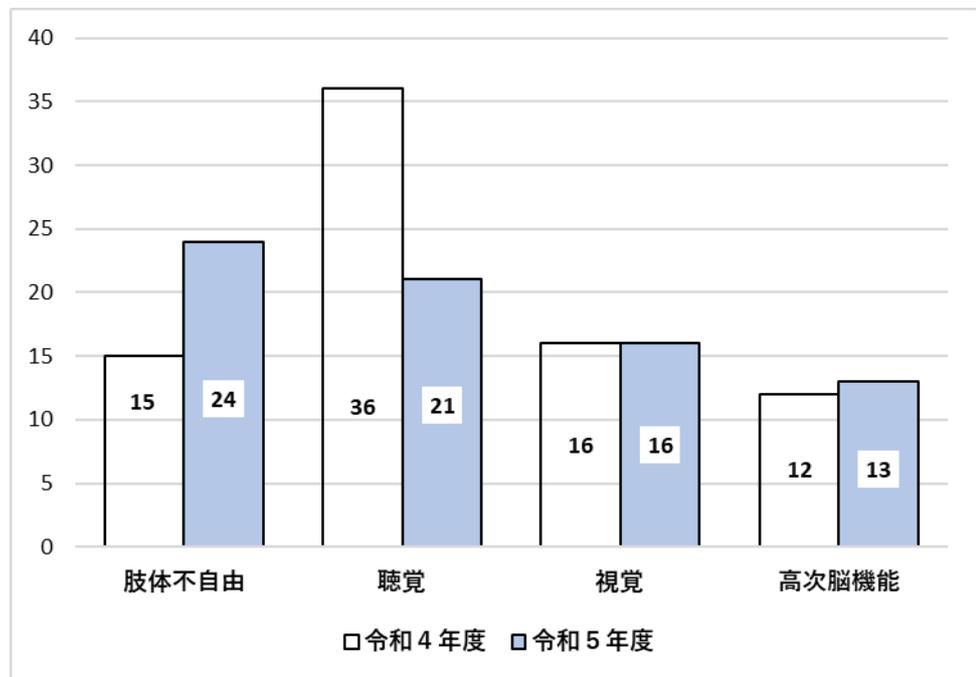
- ① 身体障害者手帳の取得・等級変更により、補装具として補聴器の支給対象となる可能性がある方 ⇒ 30人
(6級相当3人、語音明瞭度4級相当24人、4級相当1人、2級相当2人)
 - ② 身体障害者手帳の非該当者であるが、高齢者補聴器購入費用助成制度の該当可能性がある方 ⇒ 96人
 - ③ 相談者の54%は中等度の難聴者であり、補聴器の使用の検討が望ましいレベル
- ※ 出張きこえの相談での簡易測定値を含む

(4) ピアサポート相談

同じ障がいがある相談員が、自らの経験を活かした助言、共感などをしながら支援する。それぞれ月1～2回実施。

(件)

| 障がい種別 | | 肢体不自由 | 聴覚 | 視覚 | 高次脳機能 | 合計 |
|-------|-------|-------|----|----|-------|----|
| 相談件数 | 令和4年度 | 15 | 36 | 16 | 12 | 79 |
| | 令和5年度 | 24 | 21 | 16 | 13 | 74 |



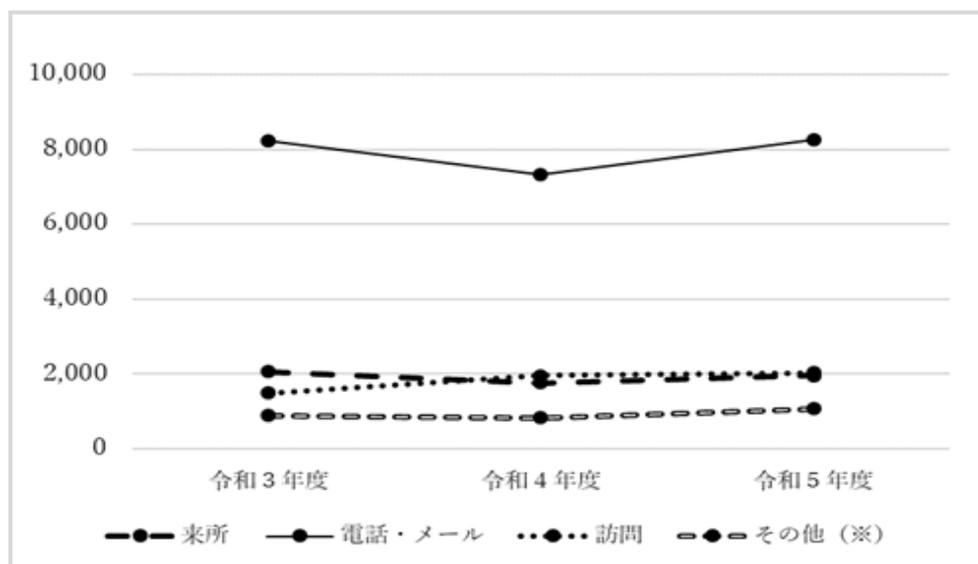
2 雇用支援室

障がい者の就労に向け、ハローワークと連携して就職準備支援および就職後の職場定着支援を実施

(1) 相談件数の推移（手段別） (件)

| 年 度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 来 所 | 2,068 | 1,765 | 1,968 |
| 電話・メール | 8,220 | 7,344 | 8,264 |
| 訪 問 | 1,491 | 1,962 | 2,039 |
| その他(※) | 899 | 839 | 1,081 |
| 合 計 | 12,678 | 11,910 | 13,352 |

※ その他は、支援計画作成、支援方針会議、行政機関・支援機関との連携会議等

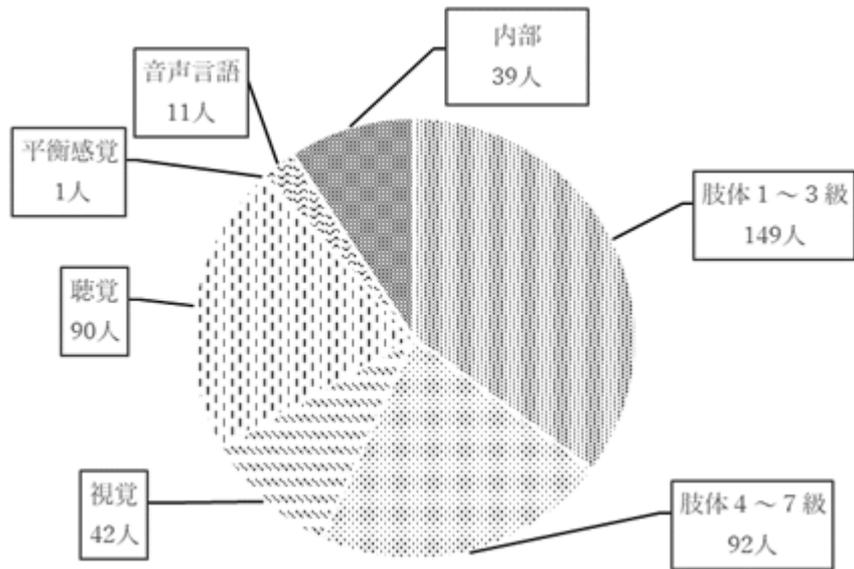


令和5年度は、新型コロナが5類へ移行したこともあり、全ての相談手段において対応件数が増加している。

(2) 相談者の障がい種別 (令和5年度末登録人数。障がいの重複あり)

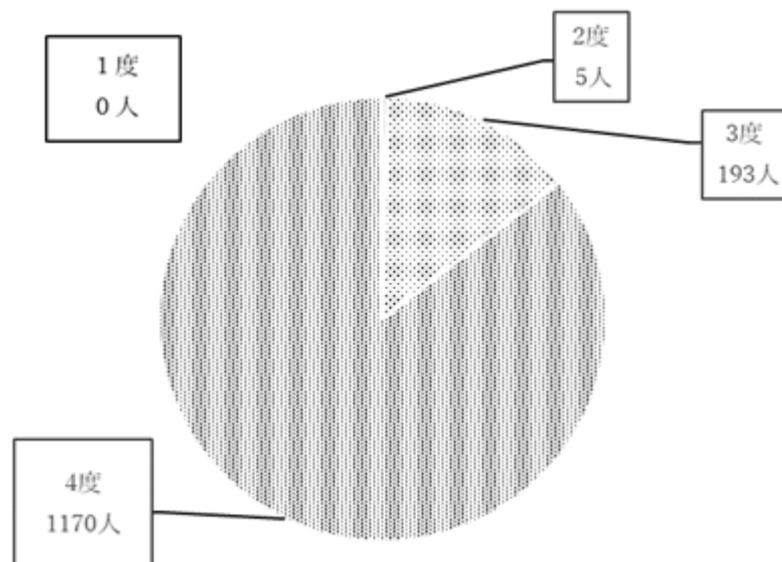
ア 身体障がいの方 延べ424人 (人)

| 肢体 1～3 | 肢体 4～7 | 視覚 | 聴覚 | 平衡 機能 | 音声 言語 | 内部 |
|-----------|-----------|----|----|----------|----------|----|
| 149 | 92 | 42 | 90 | 1 | 11 | 39 |



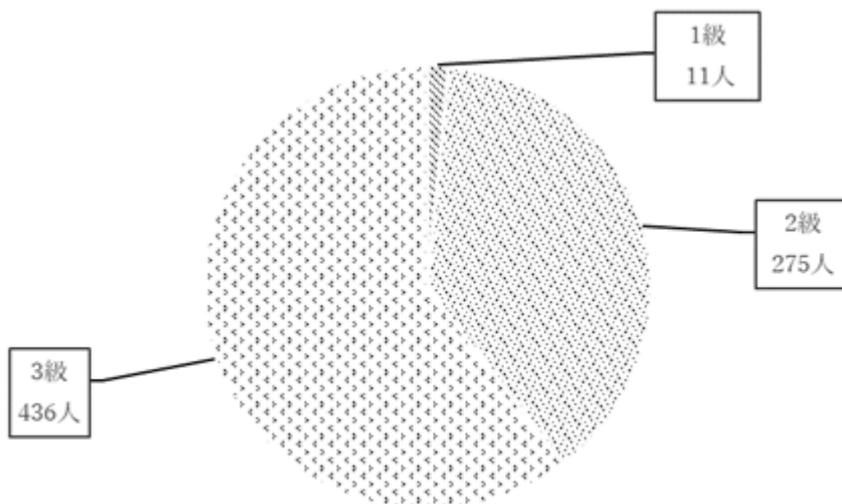
イ 知的障がいの方 1,368人 (人)

| 1度 | 2度 | 3度 | 4度 |
|----|----|-----|-------|
| 0 | 5 | 193 | 1,170 |



ウ 精神障がいの方 722人 (人)

| 1級 | 2級 | 3級 |
|----|-----|-----|
| 11 | 275 | 436 |

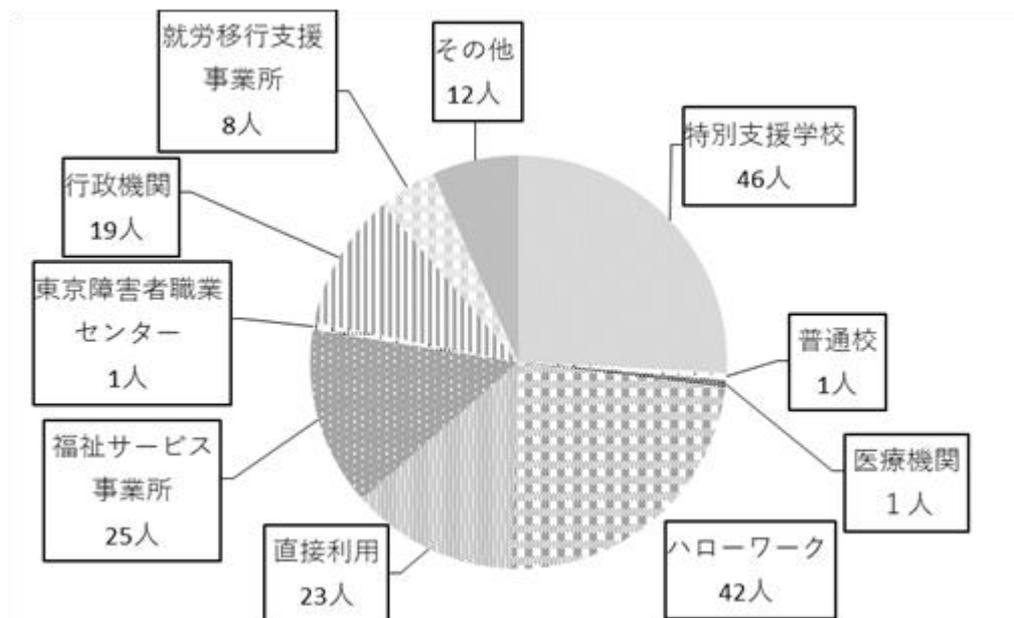


エ 手帳を取得していない方 延べ 32人 (手帳の申請中など)

オ 発達障がいの方等 (延べ人数)

| 種別 | 発達 | てんかん | 高次脳 | 難病 | 計 |
|-------|-----|------|-----|----|-----|
| 令和4年度 | 407 | 145 | 86 | 20 | 658 |
| 令和5年度 | 459 | 153 | 92 | 20 | 724 |
| 増減 | +52 | +8 | +6 | ±0 | +66 |

(3) 相談につながった経緯 (新規登録178人)



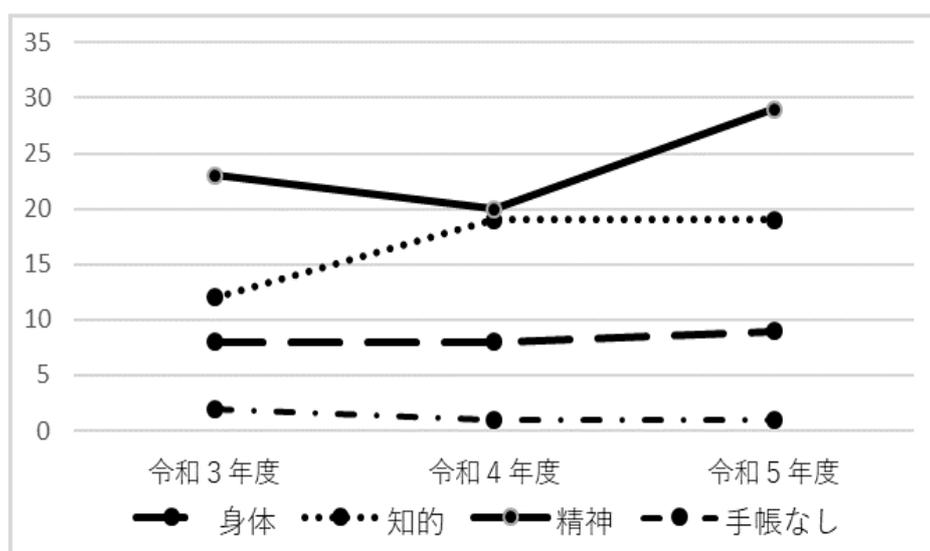
(4) 就労状況

ア 一般企業への障がい別就労者 (延べ人数)

| 障がい種別 | 身体 | 知的 | 精神 | 手帳なし | 合計 |
|-------|----|----|----|------|--------|
| 令和3年度 | 8 | 12 | 23 | 2 | 45 |
| 令和4年度 | 8 | 19 | 20 | 1 | 48 |
| 令和5年度 | 9 | 19 | 29 | 1 | (※) 58 |

※ 令和5年度合計の実人数は56人

(ア) 障がい別就労者数の推移



- ① 令和5年度は、新型コロナが5類に移行し、雇用状況も安定してきたことから障がい者の就労者数も増加したと考えられる。
- ② 特に精神障がい者の増加数が大きかった。

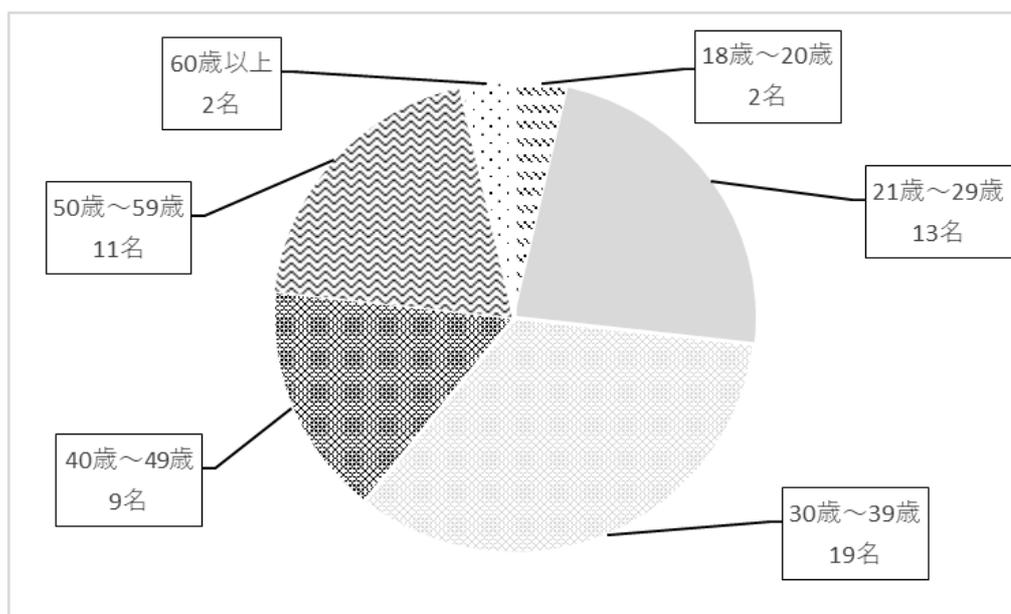
イ 就労先の業種 (実人数56人の内訳) (人)

| 建設 | 製造 | 電気ガス | 情報通信 | 運輸 | 卸売小売 |
|----|----|------|------|----|------|
| 1 | 4 | 0 | 2 | 4 | 4 |

| 金融・保険 | 不動産 | 飲食宿泊 | 医療福祉 | 教育学習 | その他 (※) |
|-------|-----|------|------|------|---------|
| 2 | 2 | 1 | 7 | 0 | 29 |

※ その他は、サービス業14人、清掃3人、農園9人、公務3人

(ア) 就労者の年代別内訳



3 今後の方針

- (1) 今後も利用者本人に寄り添った相談支援を実践し、障がい福祉に関する総合的な窓口として、職員の面接技術および専門知識の習熟にむけた研修参加や外部講師セミナーの開催によって資質向上に努めていく。
- (2) 就労支援においては本人の適性等を十分に把握した上で採用につなげ、さらに企業側とも綿密に連携しながら職場定着を図っていく。

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| 件名 | 令和5年度「足立区地域包括ケアシステム8つの推進事業」の実施結果について | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------|----------------|------------|-------|-------|---|----------------|----------------|----------------|------------|
| 所管部課名 | 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課 | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和5年度「足立区地域包括ケアシステム8つの推進事業」の実施結果について報告する。</p> <p>1 8つの推進事業と令和5年度の実施結果</p> <p>「足立区地域包括ケアシステムビジョン」で定めた18の取組の柱の底上げを目的に、令和4年度から8つの推進事業の本格実施を区内全地区で開始した。</p> <p>各事業概要と令和5年度の実施結果については、別紙「足立区地域包括ケアシステム8つの推進事業令和5年度実施報告書」(P26～P39)のとおり。</p> <p>2 地域包括ケアシステム推進に対する区民体感の変化と今後の方針</p> <p>介護予防チェックリスト(※)より「自分が住んでいるまちは、介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けられると思う区民の割合(区の地域包括ケアシステム推進状況を測る参考指標)」の結果は年々上昇してきている。</p> <p>※ 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に生活状況や健康状態を調査するアンケートを3年に1度実施(1/3ずつ毎年実施)。</p> <table border="1" data-bbox="432 1323 1390 1624"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1323 852 1451">年度 指標</th> <th data-bbox="852 1323 986 1451">令和3年度</th> <th data-bbox="986 1323 1120 1451">令和4年度</th> <th data-bbox="1120 1323 1254 1451">令和5年度</th> <th data-bbox="1254 1323 1390 1451">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1451 852 1624">自分が住んでいるまちは、介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けられると思う区民の割合</td> <td data-bbox="852 1451 986 1624">67.3% (67%)</td> <td data-bbox="986 1451 1120 1624">68.4% (68%)</td> <td data-bbox="1120 1451 1254 1624">69.2% (69%)</td> <td data-bbox="1254 1451 1390 1624">— (70%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>() 内は各年度の目標値</p> <p>引き続き、区内全地区において8つの事業の推進に取り組むとともに、他地区での好事例の共有など、地域の関係機関との連携による地域包括ケアシステムの推進に尽力していく。</p> | 年度 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 自分が住んでいるまちは、介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けられると思う区民の割合 | 67.3% (67%) | 68.4% (68%) | 69.2% (69%) | — (70%) |
| 年度 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | | | | | | | |
| 自分が住んでいるまちは、介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けられると思う区民の割合 | 67.3% (67%) | 68.4% (68%) | 69.2% (69%) | — (70%) | | | | | | | |

足立区地域包括ケアシステム8つの推進事業 令和5年度実施報告書

8つの推進事業

「梅田地区モデル事業」として、平成31年4月から地域包括支援センター関原の圏域（梅田二～八丁目）で実施した全17のモデル事業を、区内全地区に展開するため、「4つの重点項目」と各重点項目を推進する「8つの推進事業」に再編した。

各推進事業は「足立区地域包括ケアシステムビジョン」で定めた18の取組みの柱の底上げをめざし、令和6年度末を目標年限として令和4年度から全地区にて本格実施を開始している。

重点項目1「高齢者の地域活動の促進」

- (1) 自主グループの創出支援 P 27
- (2) わがまちの孤立ゼロプロジェクト推進による地域の見守り強化 P 29

重点項目2「ICTを活用した医療・介護等の関係機関の情報共有促進」

- (3) MCS（メディカルケアステーション）の利用促進 P 31

重点項目3「相談機能の強化・拡充」

- (4) 地域の資源と連携したハウカツ出張相談窓口 P 32
- (5) あだちお部屋さがしサポートとの連携による高齢者の住まい確保 P 34

重点項目4「周知・啓発強化」

- (6) 認知症への理解促進（高齢者声かけ訓練） P 35
- (7) じぶんノート（エンディングノート）を活用した終活啓発 P 37
- (8) 高齢者の情報格差解消に向けた取組 P 38

(1) 自主グループの創出支援

めざす状態

地域のゆるやかなつながりにより互いに見守られながら、日々の楽しさや生きがいを実感し豊かな人生を送ることができている。

1 概要

「みんなで元気アップ教室（地域で介護予防に取り組む自主グループの創出をめざす教室）」や、地域包括支援センター（以下、ホウカツという。）を中心とした地域でのつながりから、住民主体の地域で活動する自主グループを新たに立ち上げる。

2 取組目標

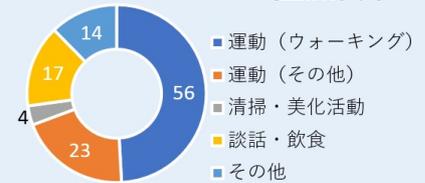
高齢者の生きがいや居場所につながる自主グループを、年間で全25地区につき1か所以上創出する。令和4～5年度の創出結果や参加者の高齢化によるグループの解散等を踏まえ、令和6年度はグループの活動状況を分析し、目標値のあり方を検討していく。

3 令和5年度の実績

全25地区で合計80の自主グループが立ち上がり、目標を達成した。

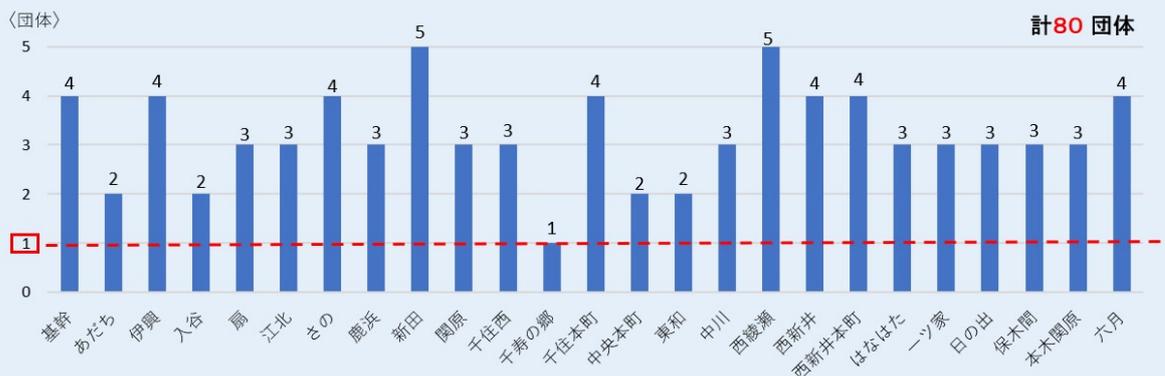
活動内容はウォーキングや体操等運動系が最も多いが、談話や料理、スマホを教え合う等、運動以外の種類が立ち上がるようになってきた。

自主グループの活動種別 (重複あり)



〈単位：団体〉

自主グループ創出数



4 令和5年度の実績と効果

- (1) 運動や趣味、地域清掃等、他者とのグループ活動を通じて、参加者同士のゆるやかなつながりや互いを見守り合う関係が構築されてきている。
- (2) ホウカツ主催の自主グループ交流会が実施され、他のグループへの活動指導や人的交流、他者への貢献意欲の醸成など、参加者の楽しさや生きがいの実感にもつながっている。

5 課題

- (1) グループが創出される反面、高齢化に伴うグループの解散や人数縮小もあるため、創出以降の支援のあり方について検討が必要である。
- (2) 「グループ活動に参加したいが、どこで行われているかわからない」という高齢者に対して、地域で活動しているグループの情報が届いていない。

6 令和6年度の実施方針

- (1) 令和4年度以降創出された自主グループのその後の実態把握を行い、支援のあり方について検討する。
- (2) 自主グループを含む「通いの場リスト」を作成し、区ホームページで公開する。
併せて、ハウカツやケアマネジャー等を通じて高齢者に情報が届くよう、関係機関向けに「通いの場リスト」の周知・活用依頼を行っていく。

(2) わがまちの孤立ゼロプロジェクト推進による地域の見守り強化

めざす状態

地域のゆるやかなつながりにより互いに見守られながら、日々の楽しさや生きがいを実感し豊かな人生を送ることができている。

1 概要

町会・自治会活動における自主的な声かけを通じて、地域のつながりや交流をさらに広げ、住民同士のゆるやかな見守り力を強化する。

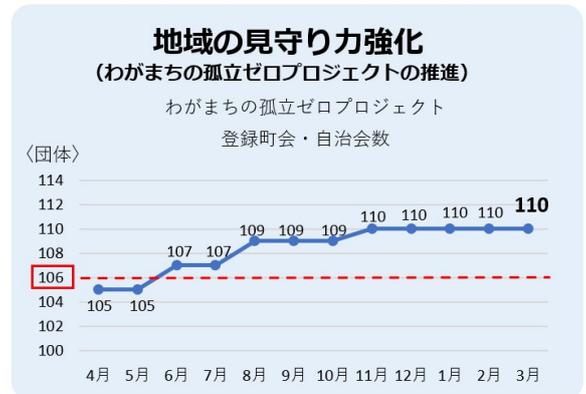
2 取組目標

わがまちの孤立ゼロプロジェクト登録数：106団体

3 令和5年度の実績

登録数：110団体

敬老祝い、清掃活動時の声かけや見守り、サロンの開催による居場所づくりなどの活動を行う団体が年間計5団体増となり目標を達成した。



4 令和5年度を取組と効果

アフターコロナに伴う町会・自治会の活動再開に合わせ、高齢者実態調査※の実施打診とともに、わがまちの孤立ゼロプロジェクトの周知にも力を入れた結果、登録数が増となり、地域のゆるやかな見守り力の強化に寄与した。

※ 町会・自治会に依頼して、介護保険サービスを利用していない70歳以上の単身世帯や75歳以上で構成する世帯を対象に、10分程度の世間話をする頻度や困りごとがある際の相談相手の有無等を調査。孤立の恐れがある場合は関係機関や行政サービス等につなげていく。

5 課題

- (1) 活動を自粛していた町会・自治会が徐々に活動を再開し始めたが、見守り活動の実施までには至っていない。
- (2) コロナ禍をきっかけとした町会・自治会活動の中断に伴い、わがまちの孤立ゼロプロジェクト活動も中断となり、再開出来ていない団体がある。
- (3) 孤立ゼロプロジェクトの認知度を高め、絆のあんしんネットワークへの若年層の参加を増やしていく必要がある。

6 令和6年度の取組方針

- (1) 町会・自治会活動の再開状況を踏まえて、高齢者実態調査(毎年)の打診とともに、わがまちの孤立ゼロプロジェクトへの登録を勧奨する。
- (2) わがまちの孤立ゼロプロジェクト活動休止団体の状況を把握し、活動再開に向け、区が個別連絡・調整による勧奨を行う。
- (3) 新たに作成した事業PR及び、気づきに関する動画やPRグッズを用いて、孤立ゼロプロジェクト事業の周知を強化し、取組への理解促進を図っていく。

(3) MCS (メディカルケアステーション) の利用促進

めざす状態

医療介護関係者相互の情報共有により、在宅療養の質が高まっている。

1 概要

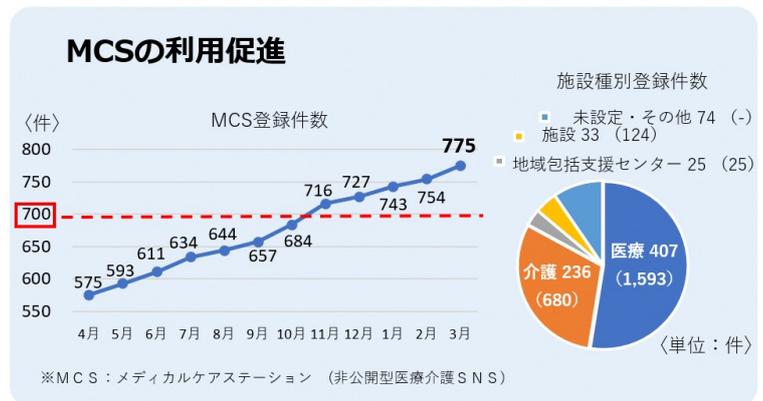
医療介護関係者、患者、家族のための非公開型SNSであるMCSの活用を促進し、在宅医療関係者間の情報共有効率化、相互理解による多職種間の連携強化を図る。

2 取組目標

MCS登録件数：700件（医療介護関係機関の総数に占める登録割合：28.9%）

3 令和5年度の実績

登録数は775件、前年度比の138.4%となり、目標を達成した。多職種連携研修会の世話人会での連絡調整や区内5ブロックの情報共有等でMCSを活用した。



4 令和5年度の取組と効果

- (1) 在宅療養支援窓口通信をMCSの各グループに発信するとともに、医療介護情報提供システムを活用して、医療機関や介護事業所等に周知啓発を図った。また、栄養士会やPOSネットワークなどの専門職のグループ作成や、ハウカツの地域ケアネットワーク出張研修会等の開催により、MCSの登録件数増につなげることができた。
- (2) 区内5ブロックで開催する多職種連携研修会で参加者間でのグループを作成し、研修会開催結果のほか、各団体が開催する研修会やブロック内でのイベント情報などを共有することで、在宅療養患者を支えるための多職種連携を推進することができた。

5 課題

- (1) MCSの登録者数は順調に増加しているが、医療介護現場の迅速な情報共有につながる「患者・利用者グループ機能」の活用方法については、利用者の理解が不足している。
- (2) 情報共有ツールとして、各職種内での活用も拡大していくため、職種ごとのグループ作成を進めていく必要がある。

6 令和6年度の取組方針

- (1) 令和6年度は登録割合35%を目標とし、医療介護現場での活用実例や「患者・利用者グループ機能」の操作方法を学ぶ勉強会を通じて、MCS利用者の理解度を高め、医療介護連携ツールとしての定着を図っていく。
- (2) 職種別の専門的な研修会の案内や医療介護関係者に共通する診療報酬改定の情報などを共有するため、専門職団体ごとのグループ作成を支援していく。

(4) 地域の資源と連携したハウカツ出張相談窓口

めざす状態

課題を抱えた高齢者が、適切なサービス、関係機関、支援につながっている。

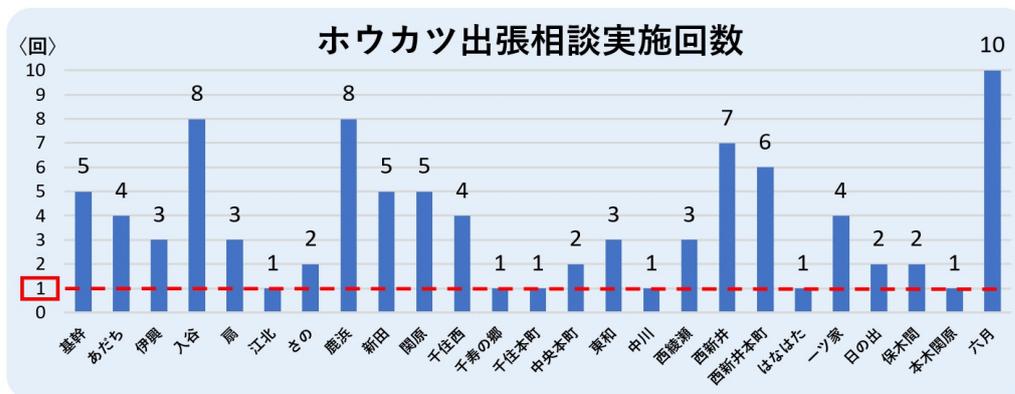
1 概要

総合相談支援業務は、ハウカツの事業実施の基盤的役割であり、他の全ての事業・業務の入口である。

出張相談窓口は、地域に出向き、高齢者やその家族等の身近なよろず相談を受けながら、ハウカツのPR活動を行い、地域の関係者等とより良い関係づくりを目的とする。

2 取組目標

新たな地域資源と連携し、全25地区で出張相談窓口を開催する（1回以上）。



※ 各地区で地域資源に差があり開催回数にバラつきがあるため、令和6年度も目標値は現状のままとする。

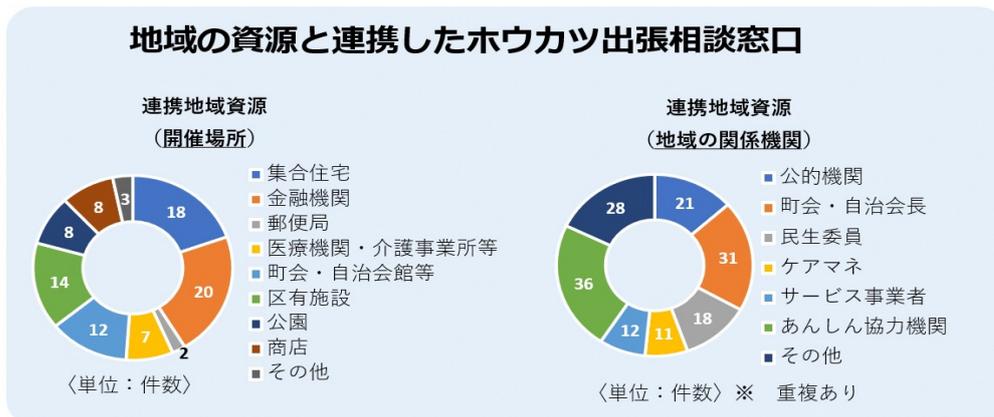
3 令和5年度の実績

全25地区で出張相談を開催し、目標を達成した（計92回開催）。今回の出張相談をきっかけとして515件の高齢者の実態把握や健康・介護の相談につながった。

開催場所は、集合住宅や金融機関が多く、連携先としては、町会・自治会関係やあんしん協力機関が最も多かった。

(1) 主な好事例

- ① 金融機関や警察署と連携し、高齢者の集客が多い年金支給日に開催
- ② 商店街と連携し、多世代の集客が多いイベント日に開催
- ③ 薬剤師との連携を目的にし、ドラッグストアで開催



4 令和5年度の実施と効果

各地区で行われるイベントや、地域のお祭りなどの一角で出張相談を行うことにより、幅広い方に対してハウカツを周知するとともに、課題を抱えた多くの高齢者の相談・支援に対応することができた。

5 課題

(1) 地域資源の可視化と発掘

まだ利用されていない資源の存在や資源の価値に気付いていない場合がある。

- ① 人的資源（人脈、ネットワーク等）
- ② 集客が見込まれる施設（集合住宅、区有施設、大型小売店、公園等）
- ③ 地域活動に意欲的な民間企業（金融機関、郵便局、小売店等）

6 令和6年度の実施方針

(1) 地域資源の活用

各地区の資源リストや資源マップを基に、まだ利用されていない資源をハウカツが洗い出す。また、その地域にしかない独自性にも着目し、出張相談窓口の付加価値を高める。

- ① 新たな取組で、他地域との連携を図り、新規の相談者を増やす。
例：相談窓口の定例開催、複数事業者と合同相談会等
- ② 地域住民や企業の繋がりから、新たな地域資源を発掘する。

(2) 検討会を開催

各地区での実施状況をまとめ、全ハウカツに周知をする。

- ① 他のハウカツの優れたアイデアを取り入れる。

(5) あだちお部屋さがしサポートとの連携による高齢者の住まい確保

めざす状態

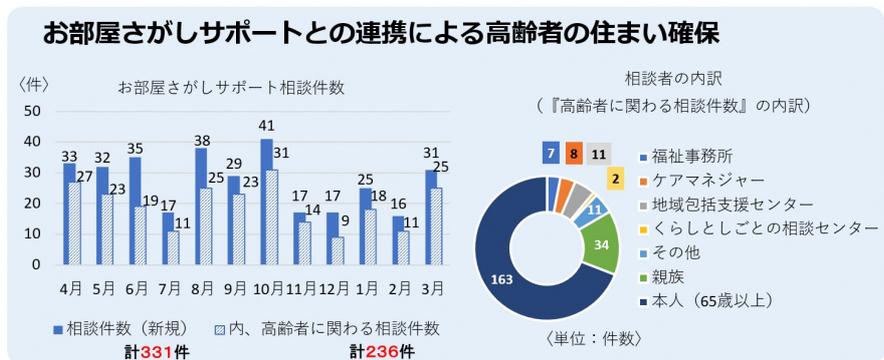
課題を抱えた高齢者が、適切なサービス、関係機関、支援につながっている。

1 概要

住宅確保要配慮者でも特に高齢者を対象とした居住支援事業として、区内の全日本不動産協会および東京都宅地建物取引業協会と協定締結を行い、「あだちお部屋さがしサポート」を令和3年度から開始。専門職員の窓口相談から個別寄り添い住宅相談を経て、単身高齢者には入居後の見守り機器設置や家賃債務保証料の一部費用助成等を行っている。

2 令和5年度の実績

お部屋さがしサポートによって12名の高齢者が住まいの確保に至った。居住支援協議会で様々な課題について協議を行うとともに、不動産協会等と連携し住宅探しを実施した。



3 令和5年度の取組と効果

令和5年度から、毎月第2・4月曜日に実施している「個別寄り添い住宅相談」とは別に、緊急性が高い相談者への対応として「緊急対応枠」を設けた。

立退きによる退去で、すぐにでも居住場所確保を迫られている高齢者に対して、2回の緊急対応枠で住宅相談を実施し、不動産協会と連携して物件の成約に至り、高齢者の支援につながった。

4 課題

- (1) 福祉事務所やハウカツ等において、お部屋さがしサポート事業へつなぐ職員が増えてはいるが、本事業に対する理解が十分とは言えない。
- (2) 家賃債務保証会社によって求める緊急連絡先の相手や役割が異なり、基準も不透明であるため、一般的に理解され難い。

5 令和6年度の取組方針

- (1) 新たに作成したお部屋さがしサポート事業のガイドブックを区の職員および外部の関係団体に配布するだけでなく、個別説明や関係団体主催の講習会を通じて積極的に周知を行い、事業の理解浸透を図る。
- (2) 緊急連絡先の条件や関係性について、協定締結をしている保証会社を中心に、要件緩和にむけた協議を行う。また、緊急連絡先の案内チラシなどを作成して、相談者や関係者への理解を図る。

(6) 認知症への理解促進（高齢者声かけ訓練）

めざす状態

高齢者の異変に気づいた周囲の人が、声をかけたり、関係機関につなぐなど、認知症に対する正しい理解が地域に浸透し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる。

1 概要

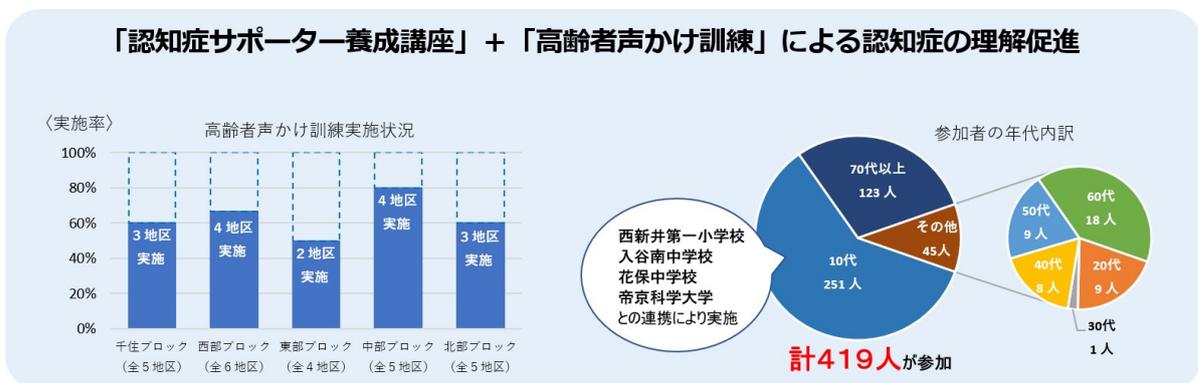
認知症サポーター養成講座の受講者が、次のステップとして、街中で困っている高齢者を見かけた時の声のかけ方や対応について模擬練習をし、認知症高齢者への対応力向上や地域での見守り・支え合う関係づくりのきっかけとする。

2 取組目標

全25地区中15地区で高齢者声かけ訓練を実施

3 令和5年度の実績

令和5年度は16地区（17カ所・計419人が参加）で実施し、目標を達成した。町会・自治会や警察と連携しての実施が定着化してきた中学校もある等、地域全体での取組が広がってきている。



4 令和5年度の実績と効果

- (1) 認知症地域支援推進員※（以下、推進員という。）と共に、各ホウカツの意見や取組結果を踏まえて「声かけ訓練マニュアル」の見直しを行った。
- (2) 参加者からは「訓練後すぐに声かけをする場面に遭遇し、今回の経験を活かすことができた」との声があった。令和6年度には全25地区での実施となるため、こうした声かけ訓練の活動を継続的に広め、認知症に対する正しい理解の地域への浸透につなげていきたい。

※ 区内5ブロックに一人ずつ配置され、認知症の人の状態に応じて必要なサービスが適切に提供されるよう、主に以下の業務を専属で担う。

- ① 医療機関や介護サービス事業所、地域の支援機関の間の連携支援
- ② 地域の認知症支援体制を構築し、地域の実情に応じて認知症の人やその家族を支援する事業や相談業務

5 課題

- (1) 単独実施や地域の関係機関と連携する等、各ホウカツで「声かけ訓練マニュアル」の解釈や訓練の実施方法が異なるため、運営に伴う負担感に差が生じている。その要因として、訓練の目的の周知や他地区での好事例の共有が不十分であったと考える。
- (2) 地域での認知症の理解を深め、声かけ訓練の参加者を増やすためには、まずはファーストステップとなる「認知症サポーター養成講座」の参加者数を増やしていく工夫が必要である。

6 令和6年度の取組方針

- (1) ホウカツに対して、地域で見守り支えあう関係づくりや認知症高齢者への対応力を身に付けるという訓練の目的を改めて明確に伝えていく。併せて、全25地区の取組状況を共有する場として情報交換会を新たに開催し、訓練の精度向上につなげる。
- (2) 「認知症サポーター養成講座」の参加者数を増やすため、町会・自治会や教育機関以外にも、従来講座を実施できていなかった企業・団体に向けて、まずは区内で5事業所以上での開催を目標に注力していく。

(7) じぶんノート（エンディングノート）を活用した終活啓発

めざす状態

いくつになっても自分らしく生きるための目標が持て、支援が必要になった際の相談先がわかっている。

1 概要

終活啓発の一環として、今後の人生を豊かに過ごすきっかけづくりや老いへの備えの必要性を理解する導入部分にするため、相談窓口や家族介護者教室等の機会を使って、「じぶんノート」の活用方法を紹介する。

2 令和5年度の実績

昨年度に引き続き、窓口相談や家族介護者教室、認知症カフェ、ホウカツ出張相談窓口、絆のあんしん連絡会等の機会を活用し、令和5年度は1,511人の区民に対して「じぶんノート」の紹介を実施した。

また、ホウカツ主催の老い支度講座の実績は以下のとおりである。

| 老い支度講座 (ホウカツ主催) | 令和5年度 |
|--------------------|--------|
| 開催回数 | 65回 |
| 参加者数(延べ) | 1,017人 |



「じぶんノート」

3 令和5年度の取組と効果

5月に「じぶんノート」を作成し、ホウカツで配布と合わせて書き方の指導を行ったところ、若年層からの反響も大きく、相談先としてのホウカツの存在をアピールできた。

また、区民事務所等を含めた配布実績は約9,000冊となり、多くの区民に「自分らしく生きるための終活」を知ってもらうきっかけを作ることができた。

4 課題

- (1) 「じぶんノート」を配布して終わりではなく、実際に活用してもらえらるための全区的な仕掛けが必要である。
- (2) 介護サービス事業所を経由するなど、区民にさらに広く配布するために、効率の良い方法を検討する必要がある。

5 令和6年度の取組方針

- (1) 全25地区で、「じぶんノート」を活用した老い支度講座を開催するとともに、地域学習センター等で実施されている講座との連携を検討していく。
- (2) 福祉サービス事業所にとっても「じぶんノート」が意思決定支援の手段として役立つことをPRし、配布および活用の普及を推進していく。

(8) 高齢者の情報格差解消に向けた取組

めざす状態

広くホウカツの存在が認識され、必要な人へ必要な支援やサービスが提供されている。
また、多様な情報伝達ツールの活用が促進されることによって、より多くの高齢者が有事の際にも確かな情報を得ることができている。

1 概要

- (1) ホウカツの認知度向上のため、従来の紙媒体での周知機会を増やすとともに、デジタルツールを活用した新たな周知に取り組む。
- (2) 高齢者がタイムリーに区からのお知らせを入手できるよう、ホウカツによる区公式アプリ・サービス（Aメール、LINE公式アカウント、防災アプリ）の紹介・登録・操作の支援を行う。

2 令和5年度の実績

(1) ホウカツの認知度向上

令和5年11月に実施した「介護予防チェックリスト」の結果から、「ホウカツを知っている」割合は80.6%（前年度比+1.7ポイント）となり、目標の80%を達成した。

主な取組は昨年度からの継続分も含め、以下のとおり実施した。

- ① あだち広報掲載10回（普通紙面：8回、特集紙面：2回）
- ② SNSによるホウカツPRの情報発信（月1回以上）
- ③ 高齢者実態把握訪問時のホウカツPRマグネットシート配付
- ④ 駅情報スタンド活用や本庁舎アトリウムでのPRパネルを常設設置
- ⑤ PR動画放映（区ホームページ、SNS、デジタルサイネージ等で配信）

(2) 登録支援実績

| 登録支援内容 | 登録人数 |
|----------------|------|
| Aメール | 51人 |
| 足立区LINE公式アカウント | 101人 |
| 足立区防災アプリ | 25人 |

3 令和5年度の実績と効果

(1) ホウカツの認知度向上

ホウカツの存在が一人でも多くの相談や支援が必要な方に認識されるよう、SNSでの情報発信や、9月の認知症月間での「オンラインアンケート」「区公式LINEを活用したデジタルクイズ」等の新たな手法に取り組んだ。

(2) 情報格差解消に向けた取組

今年度もホウカツでの窓口相談や介護予防教室、家族介護者教室等で、有事の際の情報入手手段として区公式アプリ・サービスの紹介を行い、希望する高齢者には登録

の支援を実施した。

また、令和6年1月開始の「スマホ・Zoom講座」内では、区LINE公式アカウントの登録を講座のカリキュラムに組み込み、登録の支援を行った。

4 課題

(1) ホウカツの認知度向上

令和5年度世論調査以降、ホウカツの知名度を確認する質問から、ホウカツの業務内容毎の認知度を確認する質問項目に変更し調査を行った。その結果、ホウカツが「もの忘れが心配な高齢者の方の相談窓口」であることを知っている割合は、13.6%であった。今後、認知症高齢者が増加していく推計を踏まえ、特にこの分野でのホウカツの認知度を高めていく必要がある。

(2) 情報格差解消に向けた取組

高齢者の情報格差解消のためには、登録支援だけでなく、高齢者自らがスマートフォンの利便性を実感し、主体的に活用してもらえよう事業の展開が必要である。

5 令和6年度取組方針

(1) ホウカツの認知度向上

足立区高齢者保健福祉計画における成果指標(令和8年度83%)の達成をめざし、令和6年度目標値を81%に設定する。併せて、ホウカツの役割や業務内容の周知については、「もの忘れが心配な高齢者の方の相談窓口」の認知度15%を目標として定め、重点的に取組んでいく。

(2) 情報格差解消に向けた取組

スマホ教室開催中に「オンライン体操教室」の参加体験や、一人一人の疑問点に寄り添う個別相談時間を設ける等、登録だけで終わらずに高齢者がスマートフォンに親しみを持ち、より利便性を実感できるよう講座のカリキュラムをブラッシュアップしていく。

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| | |
|------|---|
| 件名 | 令和5年度介護予防事業の実施結果について |
| 所管部課 | 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課 |
| 内 容 | <p>令和5年度介護予防事業の実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 目的 介護保険の要介護・要支援認定を受けていない一般高齢者及び介護に陥るリスクの高い高齢者に対し、介護予防（フレイル(※1)予防)に必要な以下の点に重点を置き、専門の事業者に委託して実施した。 (1) 「運動(※2)」「栄養・口腔ケア(※3)」「社会参加(※4)」の定着 (2) 自己の健康状態の見える化 (3) 介護予防の自主化と継続化</p> <p>2 令和5年度のポイントと実施結果 (1) 高齢者が幅広く参加できるよう、会場を令和4年度の189か所から令和5年度は221か所に広げて実施した。 (2) 感染症や猛暑による集合型の開催が困難な場合に対応するため、自宅でも取り組める「スマホを活用した事業」を展開した。 ※ 実施結果は、別紙「令和5年度介護予防事業実施結果」参照</p> <p>3 実施結果から見えた課題 (1) 参加者の固定化 前年度の実績を超える事業はあったが、参加者の大幅な増加は見られなかった。また、毎月定例開催している事業等は参加者が固定している。区事業への参加だけでなく自主的な活動への支援及び新規参加者を増やすための、周知・実施方法の見直しが必要である。 (2) Zoom 利用の苦手意識 Zoomによる体操教室への参加が最終的な目標であったが、スマホの使い方を学びたいだけの方やZoomへの苦手意識の高さから、スマホの初心者向け教室から、Zoomの教室への誘導ができなかった。 (3) 体力測定会の参加者低迷 高齢者自身の健康状態が把握できる体力測定会を実施しているが、事前申込がなく、中止にする会場があった。パークで筋トレやみんなで元気アップ教室等、その他の介護予防事業にて周知したが、大幅な参加者拡大ができていない。</p> |

4 今後の取り組み

- (1) 区施設へのチラシ配布だけでなく、駅スタンドの活用等、周知先を見なおし新規参加者を拡大していく。また、高齢者の自主的な活動を推進していくため、自主グループの活動が参考となるようリスト化し、区ホームページに掲載する等周知していく。
- (2) Zoom の操作不安による参加控えを解消するため、高齢者でも参加しやすい簡便な方法を検討していく。
- (3) 区が会場を設定し、申込を待つ通常開催だけではなく、高齢者団体の事業と連携し、直接参加してもらう機会を創出することで、参加者を拡大していく。

【用語説明】

| | | |
|----|-----------|---|
| ※1 | フレイル | 筋力や心身の機能などが低下した状態。適切な介入・支援（運動、栄養・口腔、社会参加）により維持回復が可能 |
| ※2 | 「運動」 | 加齢による移動機能の低下や、筋肉の衰えを予防するための、ウォーキングのような有酸素運動やストレッチのような軽度の筋力トレーニングの実施 |
| ※3 | 「栄養・口腔ケア」 | 筋肉を維持するため、毎食（1日3食）、たんぱく質を意識した栄養講座や、むせる、かたいものが食べにくいなど、口の機能の衰えを予防するための口腔ケア講座の実施 |
| ※4 | 「社会参加」 | 趣味やボランティアなどに参加し、地域に役割を持って外出することで、加齢に伴う社会とのつながりの希薄化を予防するための、自主グループ活動の推進 |

| | 名称 | 概要 | 主な会場 | 実施結果 | |
|-----------------------------------|--|--|--|----------------------|------------------------------|
| | | | | 実施回数 | 年間参加者数 |
| 【自己把握】 | 1 高齢者体力測定会 *延べ人数 | ① 握力、立ち上がり、歩行状態、歩幅測定等、高齢者に必要な下肢筋力を中心とした測定。測定結果を当日会場で参加者に配付。 ② 毎月、7会場で開催。 | 区施設（地域学習センター、総合スポーツセンター、勤労福祉会館等） 民間施設連携（アリオ西新井店、トヨタモビリティ東京足立保木間店） | 141回 (116回) | 588人 (485人) 1,660人 |
| 【介護予防のきっかけづくり】 | 2 はじめてのフレイル予防教室 *全12回1クールの連続講座 | ① 介護認定を受けていない65歳以上の高齢者に実施する「介護予防チェックリスト」で、何らかの生活支援が必要と判定された方に対して、地域包括支援センターによる実態把握訪問調査によって参加案内。年2期制（前期25会場、後期25会場で開催）。 | 区施設（地域学習センター、住区センター、勤労福祉会館等） 民間施設連携（UR、高齢者施設、セントラルスポーツ、ティップネス） | 60クール (61クール) | 648人 (702人) 809人 |
| | 3 はつらつ教室（室内型） | ① 運動講座に「栄養・口腔ケア」が身につく室内型（4日制）。 ② 17会場で毎月開催。 | 区施設（地域学習センター、総合スポーツセンター、勤労福祉会館） 民間施設連携（ティップネス） | 356回 (310回) | 661人 (623人) 2,123人 |
| | 4 はつらつ教室（プール型） *全8回1クールの連続講座 | ① 水中ウォーキングを中心とした介護予防教室。 ② 年間3期に分けて実施。 | 千住温水プール、東綾瀬公園温水プール、スイムスポーツセンター （スイムスポーツセンターはリニューアルで3期目から再開） （東綾瀬公園温水プールは、屋根ガラス修繕があり1期目が中止） | 4クール (6クール) | 67人 (94人) 120人 |
| | 5 ふれあい遊湯う *延べ人数 | ① 銭湯を会場に、フレイル予防のレクリエーション（体操、脳トレ等）を体験した後に入浴。 | 区内銭湯（延べ36会場） | 286回 (366回) | 2,389人 (2,228人) 2,800人 |
| | 6 みんなで元気アップ教室 *全10回1クールの連続講座 | ① フレイル予防知識を学びながら、グループワークを通じて、終了後に自主グループ（ウォーキンググループ）立ち上げを目標とした教室。区内26会場、年2規制で実施。 | 区施設（地域学習センター、住区センター、その他区施設等） 民間施設連携（足立成和信用金庫、UR、高齢者施設） | 56クール (56クール) | 604人 (647人) 780人 |
| 7 元気アップサポーター養成研修 *全8回1クールの連続講座 | ① グループ立ち上げや運営に興味がある方向けに、グループワーク、フレイル予防の基礎講座等を通じて、グループ活動継続のコツを学ぶ。区内5会場、年2期制で実施。 | 区施設（梅田地域学習センター、ギャラクシティ、総合ボランティアセンター） 民間施設連携（足立成和信用金庫、セントラルフィットネスクラブ竹の塚） | 10クール (10クール) | 98人 (90人) 136人 | |
| 【屋外活動】 | 8 パークで筋トレ *延べ人数 | ① 公園や広場などを利用して、指導員と一緒に軽い筋トレ、ストレッチなどを行う。 | 令和5年度2会場追加（古千谷西公園、梅田中央公園） 全38会場で実施（区内の公園や広場）。 | 799回 (796回) | 23,915人 (26,574人) |
| | 9 ウォーキング教室 | ① 指導員と一緒に、正しい姿勢の歩き方を教わりながら、自分の体力にあったコースを選べる。 | 区内の公園や広場 | 42回 (39回) | 561人 (491人) |
| 【スマホ活用】 | 10 Zoomでオンライン体操教室 *延べ人数 | ① Zoomの画面を通して、運動指導員が実施する体操（座位のみ）に、自宅でも参加できる。 | 毎週水曜日の午後2時～2時30分の30分間を定期開催した。 | 40回 (R5新規) | 321人 (R5新規) 800人 |
| | 11 Zoomでオンライン体操教室事前説明会 *延べ人数 | ① Zoomが苦手な方向けに、スマホの操作からZoomの接続方法までが学べる説明会。 | 地域学習センターで毎月5カ所開催。 | 43回 (R5新規) | 248人 (R5新規) 900人 |
| | 12 はじめてのスマホ教室 （体験コース・基礎コース） *延べ人数 | ① Zoomよりもさらに、スマホ自体が苦手な高齢者向けに、スマホ操作や区公式LINEアカウント等の紹介。 ② 基礎コースはLINEやカメラ操作等の使い方が学べる教室。 ③ 体験コースはYouTubeの閲覧方法等、楽しさが学べる教室。 | 地域学習センターで毎月5カ所開催。 | 34回 (R5新規) | 518人 (R5新規) 700人 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------|---|------|--------------------------|------|--------------------------|-----|---|-------|--|-------|--|
| 件名 | 令和5年度「食べてフレイル予防」事業の実施結果について | | | | | | | | | | |
| 所管部課 | 区民部 高齢医療・年金課、 区民部 国民健康保険課 衛生部 データヘルス推進課 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課 | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施する国の事業において、足立区が行うフレイル^{*1}予防事業「食べてフレイル予防」の支援実績を以下のとおり報告する。</p> <p>1 国が求めている事業の目的及び内容</p> <p>(1) 目的 高齢者の健康寿命の延伸と生活の質の向上</p> <p>(2) 実施内容 ア KDB^{*2}システムから健康課題等の分析を行う。 イ 集団支援（ポピュレーションアプローチ）の実施 ウ 個別支援（ハイリスクアプローチ）の実施</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 低栄養^{*3}予防を中心としたフレイル予防事業を集団支援と個別支援の両面から実施</p> <p>(2) 集団支援</p> <table border="1" data-bbox="338 1193 1522 2107"> <tr> <td data-bbox="338 1193 533 1267">①テーマ</td> <td data-bbox="533 1193 1522 1267">たんぱく質等の栄養摂取による筋力維持・低栄養予防</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1267 533 1341">②対象者</td> <td data-bbox="533 1267 1522 1341">住区センター等の通いの場に行くことが可能な高齢者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1341 533 1579">③会場</td> <td data-bbox="533 1341 1522 1579">住区センター23か所（青井、綾瀬、入谷、梅島、栗原北、弘道、江北コミュニティセンター、鹿浜、島根、千住あずま、千住本町、千住柳町、中央本町、東和、舎人、西新井栄町、西伊興、花保、東伊興、平野、保塚、南花畑、本木関原）及び鹿浜いきいき館 計24会場（島根は改修により実施無し）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1579 533 1724">④事業内容</td> <td data-bbox="533 1579 1522 1724">ア 管理栄養士が簡単な調理実演を組み入れた栄養講座実施 イ 月1回程度、体重、筋肉量、握力等を測定する「筋肉上げマッスル測定会」を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1724 533 2107">⑤実施結果</td> <td data-bbox="533 1724 1522 2107">参加者：講座46回（1, 303名）測定607名（実人数） 講座アンケート結果：回答者1, 164名 ア フレイル予防活動（運動、栄養・口腔、社会参加）の実践割合 67% イ たんぱく質を多く含む食品（肉、魚、卵、大豆製品）の摂取毎食（1日3回）摂る人の割合 37% ウ 講座理解 講座がわかりやすいと回答 88% エ 実践意欲 実演料理を家で作ってみたいと回答 93%</td> </tr> </table> | ①テーマ | たんぱく質等の栄養摂取による筋力維持・低栄養予防 | ②対象者 | 住区センター等の通いの場に行くことが可能な高齢者 | ③会場 | 住区センター23か所（青井、綾瀬、入谷、梅島、栗原北、弘道、江北コミュニティセンター、鹿浜、島根、千住あずま、千住本町、千住柳町、中央本町、東和、舎人、西新井栄町、西伊興、花保、東伊興、平野、保塚、南花畑、本木関原）及び鹿浜いきいき館 計24会場（島根は改修により実施無し） | ④事業内容 | ア 管理栄養士が簡単な調理実演を組み入れた栄養講座実施 イ 月1回程度、体重、筋肉量、握力等を測定する「筋肉上げマッスル測定会」を実施 | ⑤実施結果 | 参加者：講座46回（1, 303名）測定607名（実人数） 講座アンケート結果：回答者1, 164名 ア フレイル予防活動（運動、栄養・口腔、社会参加）の実践割合 67% イ たんぱく質を多く含む食品（肉、魚、卵、大豆製品）の摂取毎食（1日3回）摂る人の割合 37% ウ 講座理解 講座がわかりやすいと回答 88% エ 実践意欲 実演料理を家で作ってみたいと回答 93% |
| ①テーマ | たんぱく質等の栄養摂取による筋力維持・低栄養予防 | | | | | | | | | | |
| ②対象者 | 住区センター等の通いの場に行くことが可能な高齢者 | | | | | | | | | | |
| ③会場 | 住区センター23か所（青井、綾瀬、入谷、梅島、栗原北、弘道、江北コミュニティセンター、鹿浜、島根、千住あずま、千住本町、千住柳町、中央本町、東和、舎人、西新井栄町、西伊興、花保、東伊興、平野、保塚、南花畑、本木関原）及び鹿浜いきいき館 計24会場（島根は改修により実施無し） | | | | | | | | | | |
| ④事業内容 | ア 管理栄養士が簡単な調理実演を組み入れた栄養講座実施 イ 月1回程度、体重、筋肉量、握力等を測定する「筋肉上げマッスル測定会」を実施 | | | | | | | | | | |
| ⑤実施結果 | 参加者：講座46回（1, 303名）測定607名（実人数） 講座アンケート結果：回答者1, 164名 ア フレイル予防活動（運動、栄養・口腔、社会参加）の実践割合 67% イ たんぱく質を多く含む食品（肉、魚、卵、大豆製品）の摂取毎食（1日3回）摂る人の割合 37% ウ 講座理解 講座がわかりやすいと回答 88% エ 実践意欲 実演料理を家で作ってみたいと回答 93% | | | | | | | | | | |

⑥支援から
見えてき
たこと

ア 栄養講座

簡単な調理実演を盛り込み、食材の一部である缶詰（魚の蒲焼缶詰等）や調味料（カレー味の粉末調味料等）を食教材としてお持ち帰りいただいた。講座理解度、実践意欲（実演料理を家で作ってみたい）の割合がどちらも9割前後と高くなっている。

イ 測定

栄養講座ほどは参加者が伸びない。測定を栄養講座参加の条件にするなど測定人数を増やす工夫が必要である。

(3) 集団支援実施状況



写真1 講座の様子



写真2 さばとろ丼
(さば缶、冷凍とろろ使用)



写真3 焼売スープ
(冷凍焼売、フリーズドライ卵スープ使用)



写真4 実演の様子



写真5 実演料理を
参加者間で共有



写真6 測定会パネル見本

(4) 個別支援

| | |
|-------|--|
| ①テーマ | 低栄養防止による要介護への進行予防 |
| ②対象者 | 令和4年度後期高齢者医療健診受診者42,916名中、低栄養基準のBMI ^{※4} が18.5未満、かつ6か月間に2~3kgの体重減少があると回答した方389名 そのうち個別訪問等支援の対象として抽出した年齢75~79歳（要支援要介護認定者、疾病による体重減少が想定される方を除く）の87名 |
| ③実施方法 | ア 管理栄養士による個別訪問により体重・握力測定、食事内容等を調査した（初回訪問・2回目電話連絡・3回目訪問）。 イ 疾病、口腔機能低下等による体重減少者は必要な制度、サービスに繋がるよう支援した。 ウ 個別栄養相談支援を実施しない方に対してフレイル予防の啓発、集団支援の取り組みを案内した。 |

| | |
|--------------|--|
| ④実施結果 | <p>ア 低栄養の抽出対象者87名中、初回訪問栄養相談実施者37名プログラム修了者30名（実施率34%）</p> <p>初回訪問栄養相談実施者37名のうち7名は2回目の訪問までの間に入院や介護認定を受ける、又は訪問拒否によりプログラム修了に至らなかった。</p> <p>イ 修了者30名のうち、28名（93%）が体重維持^{※5}達成、18名（60%）が食や生活習慣を見直す行動変容を達成した。</p> |
| ⑤支援から見えてきたこと | <p>ア 支援修了者の傾向把握</p> <p>低栄養リスク者の一部ではあるが、食傾向を把握できるようになった。家族の状況変化や孤食が体重減少のきっかけになりやすいという傾向が見られた。</p> <p>イ 行動変容の状況</p> <p>食や生活習慣を見直す等の行動を変化させた方は60%であった。令和5年度は、目標内容を書いたメモを渡すなど可視化し、行動変容につながりやすいよう工夫をしたが、さらなる工夫と共有が必要である。</p> <p>ウ 支援修了者の感想</p> <p>アンケートから、区が個別訪問という手厚い支援を実施したことに対する評価が高かった。</p> |

3 令和6年度の事業内容

(1) 集団支援

12会場を新たに追加する。【合計36会場】 別紙チラシ参照

新規会場：住区センター12か所

桜花、扇、大谷田谷中、押皿谷、加賀、五反野コミュニティ、佐野、神明、長門、西新井本町、花畑、六木)

(2) スケジュール

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----------|----|----|---------------------|----|----------|----|-----|-----|---------|----|----|----------|
| 個別支援 | 対象者抽出・準備 | 抽出 | | | | | | | | | | | |
| | 訪問 | | | 個別訪問 ①日程 | | | | | | | | | |
| | 効果分析等 | | | | | 個別訪問 ②日程 | | | | | | | |
| 集団支援 | 会場との調整 | 調整 | | | | | | | | | | | |
| | 栄養講座 | | | 前期 栄養講座 | | | | | | 後期 栄養講座 | | | |
| | 体組成等測定 | | | 定期的な測定(令和4・5年度開始会場) | | | | | | | | | |
| | 効果分析等 | | | | | | | | | | | | 効果分析 まとめ |

【用語説明】

| | | |
|----|---------|---|
| ※1 | フレイル | 筋力や心身の機能などが低下した状態。適切な介入・支援（運動、栄養・口腔、社会参加）により維持回復が可能。 |
| ※2 | KDBシステム | 国保データベースシステム。「特定健診・特定保健指導」「医療（後期高齢者医療含む）」「介護保険」等の情報を活用することで、統計情報や「個人の健康に関する情報」を保険者に提供し、効率的かつ効果的な保健事業の実施をサポートするシステム |
| ※3 | 低栄養 | 厚生労働省の基準（栄養改善マニュアル）により、BMI、体重減少、血清アルブミン値、食事摂取量等の複数の基準から判定する。血清アルブミン値は令和5年度から健診項目に追加されており、今後対象者抽出要件に加えるか検討中である。現時点では、BMIが18.5未満かつ体重減少（6か月に2～3kg）がある方を低栄養と定義している。 |
| ※4 | BMI | 身長と体重から肥満度を示す指標。BMIが22を適正体重（標準体重）とし、統計的に最も病気になりにくい体重とされている。18.5未満を低体重と分類（出典：肥満症診療ガイドライン） $BMI = \text{体重 kg} \div (\text{身長 m})^2$ |
| ※5 | 体重維持 | 体重の変化をマイナス1kg以上、プラス1kg未満（ $-1 \text{ kg} \leq \text{体重} < +1 \text{ kg}$ ）を体重維持としている。 |

参加
無料

(要予約)

たんぱく増しは高齢者の味方!

令和
6年度

ぱく増し

栄養講座



食材の
おみやげ付き!

※イラストはイメージです。



「歳をとったら、粗食で良い」は大まちがい!

簡単な料理を紹介しながら、楽しい栄養講座を行います。

※65歳以上の方が対象の講座です。 ※1時間程度の講座となります。

令和6年度 実施会場(住区センター等)はコチラ



内容① 講座

高齢期を元気に
過ごすための
食事のお話を
します!

内容② 調理実演

簡単すぎる料理を
2品作って
お見せします!

こんなに
簡単な料理で
いいの?!



足立区は、65歳以上の高齢者が体重や筋肉を維持して元気に過ごせるよう、たんぱく質を多く含む食品を普段の食事に増してとること、名づけて「ぱく増し」事業を令和5年から始めました。

ご自身の筋肉量など
定期的に確認しましょう!

測定会を毎月やってます!

※実施日時は、直接会場に確認してください
(実施していない会場があります)

ぱく増しの
効果を確認!



令和
6年度

ぱく増し

栄養講座 実施一覧

**必ず事前申込をして
ご参加ください。**

| | 会場 | 住所 | 電話番号 | 日程 | | 時間 | 定員 |
|----|----------------|----------------|-----------|---------|----------|-------------|----|
| | | | | 前期 | 後期 | | |
| 1 | 青井住区センター | 青井5-11-40-101 | 3852-3750 | 5/24(金) | 10/10(木) | 10:00~11:00 | 25 |
| 2 | 綾瀬住区センター | 綾瀬3-17-9 | 3628-9908 | 9/4(水) | 1/22(水) | 13:30~14:30 | 25 |
| 3 | 入谷住区センター | 舎人6-12-4-101 | 3855-1050 | 6/12(水) | 10/9(水) | 11:00~12:00 | 30 |
| 4 | 梅島住区センター | 梅島2-14-5 | 3849-6374 | 8/20(火) | 1/21(火) | 10:00~11:00 | 35 |
| 5 | 桜花住区センター | 花畑6-4-16 | 3850-7190 | 6/20(木) | 11/21(木) | 13:30~14:30 | 30 |
| 6 | 扇住区センター | 扇1-47-38 | 3896-0688 | 6/12(水) | 2/12(水) | 13:30~14:30 | 25 |
| 7 | 大谷田谷中住区センター | 大谷田4-16-6 | 5697-3390 | 6/4(火) | 1/7(火) | 14:00~15:00 | 40 |
| 8 | 押皿谷住区センター | 鹿浜8-27-15 | 3857-4231 | 5/24(金) | 11/8(金) | 15:00~16:00 | 20 |
| 9 | 加賀住区センター | 加賀2-31-6-101 | 3857-4639 | 6/6(木) | 11/7(木) | 14:45~15:45 | 30 |
| 10 | 栗原北住区センター | 栗原4-19-15 | 3899-8761 | 7/30(火) | 10/29(火) | 10:00~11:00 | 30 |
| 11 | 弘道住区センター | 弘道2-16-1-101 | 3840-9354 | 6/3(月) | 11/18(月) | 14:00~15:00 | 25 |
| 12 | 江北コミュニティセンター | 江北2-8-2 | 3890-6224 | 6/14(金) | 11/8(金) | 10:00~11:00 | 25 |
| 13 | 五反野コミュニティセンター | 西綾瀬2-1-13 | 3886-2643 | 6/19(水) | 11/27(水) | 13:30~14:30 | 50 |
| 14 | 佐野住区センター | 佐野2-43-5 | 3628-3277 | 7/10(水) | 11/13(水) | 14:00~15:00 | 40 |
| 15 | 鹿浜住区センター | 鹿浜6-8-1 | 3857-6550 | 5/29(水) | 10/30(水) | 13:30~14:30 | 40 |
| 16 | 島根住区センター | 島根4-19-1-101 | 3850-9966 | 9/6(金) | 2/7(金) | 13:30~14:30 | 25 |
| 17 | 神明住区センター | 神明南2-6-19 | 5682-5089 | 6/10(月) | 1/17(金) | 13:00~14:00 | 30 |
| 18 | 千住あずま住区センター | 千住東2-21-18 | 3882-1218 | 6/4(火) | 12/3(火) | 13:30~14:30 | 40 |
| 19 | 千住本町住区センター | 千住5-6-2 | 3870-6221 | 6/18(火) | 11/19(火) | 14:00~15:00 | 30 |
| 20 | 千住柳町住区センター | 千住柳町12-5 | 3870-3490 | 7/19(金) | 1/17(金) | 14:00~15:00 | 40 |
| 21 | 中央本町住区センター | 中央本町3-15-1 | | | 改修中 | | |
| 22 | 東和住区センター | 東和3-12-9 | 3628-6206 | 5/31(金) | 10/25(金) | 10:10~11:10 | 30 |
| 23 | 舎人住区センター | 舎人1-3-26 | 3857-0881 | 5/28(火) | 11/12(火) | 10:00~11:00 | 50 |
| 24 | 長門住区センター | 中川2-24-2-101 | 3629-8231 | 5/23(木) | | 10:30~11:30 | 30 |
| | 中川地域センター(長門分館) | 中川4-43-4 | 5616-3115 | | 11/15(金) | 11:30~12:30 | 50 |
| 25 | 西新井栄町住区センター | 西新井栄町3-1-6-101 | 3880-7705 | 6/24(月) | 改修中 | 13:00~14:00 | 35 |
| 26 | 西新井本町住区センター | 西新井本町2-30-37 | 3890-5555 | 7/22(月) | 12/5(木) | 14:00~15:00 | 20 |
| 27 | 西伊興住区センター | 西伊興1-12-12 | 3896-7362 | 5/24(金) | 2/14(金) | 10:30~11:30 | 40 |
| 28 | 花畑住区センター | 花畑4-16-8 | 3850-2602 | 5/30(木) | 10/29(火) | 14:00~15:00 | 30 |
| 29 | 花保住区センター | 東保木間1-25-4-101 | 3884-1229 | 6/21(金) | 11/22(金) | 13:30~14:30 | 30 |
| 30 | 東伊興住区センター | 東伊興1-5-22 | 3899-8531 | 8/5(月) | 1/17(金) | 10:00~11:00 | 30 |
| 31 | 平野住区センター | 平野2-2-14 | 3884-7765 | 6/26(水) | 11/27(水) | 14:00~15:00 | 50 |
| 32 | 保塚住区センター | 保塚町7-16 | 3858-1876 | 6/21(金) | 10/18(金) | 10:00~11:00 | 30 |
| 33 | 南花畑住区センター | 南花畑3-14-7 | 3859-9868 | 7/4(木) | 2/6(木) | 13:30~14:30 | 40 |
| 34 | 六木住区センター | 六木3-39-5-101 | 3629-1716 | 6/29(土) | 1/25(土) | 13:30~14:30 | 50 |
| 35 | 本木関原住区センター | 関原1-21-11 | 3849-9735 | 8/27(火) | 11/26(火) | 10:00~11:00 | 40 |
| 36 | 鹿浜いきいき館 | 鹿浜2-24-2 | 3853-5071 | 5/30(木) | 10/22(火) | 14:00~15:00 | 40 |

※日時を変更する場合があります。 ※申込人数が定員に達した時点で申込を終了します。

(令和6年4月現在)

申込方法

栄養講座の1か月前から申込受付を開始します(会場により受付開始日が異なる場合があります)。
希望される実施会場に直接お越しいただくか、お電話で**必ず事前申込**をしてください。

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| 件名 | 令和5年度介護人材育成関連事業の実績について | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|------------------|-------|-------|-------|----------|---------------|-----------|------------------|-----------------|-----------------|---------|---------|-------------------|-----------------|------------------|---------|---------|-----|
| 所管部課名 | 福祉部 高齢者施策推進室 医療介護連携課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>1 介護職員資格取得等支援事業</p> <p>区内の介護従事者の人材確保・定着を推進し、介護サービスの安定的な供給を図ることを目的に、介護従事者の資格取得等を支援する介護事業者に対して、必要経費を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区内介護事業所数</td> <td>1,043</td> <td>1,054</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">初任者研修 (7万円上限)</td> <td>56人(31事業所/3.0%)</td> <td>75人(40事業所/3.8%)</td> </tr> <tr> <td>3,255千円</td> <td>4,294千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実務者研修 (10万円上限)</td> <td>49人(29事業所/2.8%)</td> <td>103人(49事業所/4.6%)</td> </tr> <tr> <td>4,312千円</td> <td>9,108千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 表内の%は区内介護事業所のうち、助成を利用した割合を示す。 令和5年度は、同一職員に対して^{注1}初任者研修と^{注2}実務者研修、両方の受講経費が助成出来るよう要件を緩和した結果、申請数は増加した。 令和6年度は、さらに助成対象研修を18種類追加したため、区内の介護事業所に助成事業の告知メールを送付するなど周知を徹底した。 注1 初任者研修とは、介護の基礎から応用を学ぶ入門的な研修 注2 実務者研修とは、介護福祉士の資格取得に向け、専門的知識や実践的な介護技術を学ぶ研修</p> | | 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 区内介護事業所数 | 1,043 | 1,054 | 初任者研修 (7万円上限) | 56人(31事業所/3.0%) | 75人(40事業所/3.8%) | 3,255千円 | 4,294千円 | 実務者研修 (10万円上限) | 49人(29事業所/2.8%) | 103人(49事業所/4.6%) | 4,312千円 | 9,108千円 | |
| | 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区内介護事業所数 | 1,043 | 1,054 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 初任者研修 (7万円上限) | 56人(31事業所/3.0%) | 75人(40事業所/3.8%) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3,255千円 | 4,294千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実務者研修 (10万円上限) | 49人(29事業所/2.8%) | 103人(49事業所/4.6%) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4,312千円 | 9,108千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>2 介護・障がいのしごと相談面接会事業（ハローワークとの共催事業）</p> <p>福祉分野の人材確保と就労機会の拡大を図ることを目的に、身近な地域に居住する潜在的福祉人材を掘り起こし、求人事業所と結びつけるため、介護・障がいのしごと相談面接会を実施した。</p> <p>(1) 実施結果</p> <p>令和5年度は、ハローワーク窓口での案内やチラシ配布など、求職者に事業周知を行った結果、面接者及び採用者は前年度を上回った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">実施日</td> <td>第1回 11月10日(木)</td> <td>11月15日(水)</td> </tr> <tr> <td>第2回 1月21日(土)</td> <td>1月20日(土)</td> </tr> <tr> <td>出展事業者</td> <td>51事業者</td> <td>70事業者</td> </tr> <tr> <td>相談・面接者</td> <td>87人</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>採用者</td> <td>10人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 出展事業者、相談・面接者、採用者の数はいずれも第1回と第2回の合計</p> | | 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 実施日 | 第1回 11月10日(木) | 11月15日(水) | 第2回 1月21日(土) | 1月20日(土) | 出展事業者 | 51事業者 | 70事業者 | 相談・面接者 | 87人 | 127人 | 採用者 | 10人 | 15人 |
| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施日 | 第1回 11月10日(木) | 11月15日(水) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2回 1月21日(土) | 1月20日(土) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出展事業者 | 51事業者 | 70事業者 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相談・面接者 | 87人 | 127人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 採用者 | 10人 | 15人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 令和6年度の実施について

- ア 相談面接会を3回、出展事業者を75事業者に増やし、より多くの求人情報を提供することで求職者の就業につなげる。
- イ 出展事業者の具体的な仕事内容や従業員のコメントなどを盛り込んだPR動画を事前公開するなど広く周知し、介護や障がいの分野に興味を持つ参加者の増加を目指す。

3 介護人材雇用創出事業（委託事業）

介護人材の育成と確保を図ることを目的に、注3 紹介予定派遣を活用し、雇用を前提として介護施設で一定期間（3か月程度）就労する体験機会の提供、資格取得を支援した。

注3 紹介予定派遣とは、派遣先が、派遣労働者として受け入れてから、派遣先と派遣労働者の希望が合えば直接雇用する制度。

(1) 委託期間 令和5年7月～令和6年3月

(2) 受託事業者 ㈱シグマスタッフ

| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----|-------|-------|
| 派遣数 | 28人 | 32人 |
| 雇用数 | 15人 | 17人 |
| 就労率 | 53.6% | 53.1% |

(3) 実施結果について

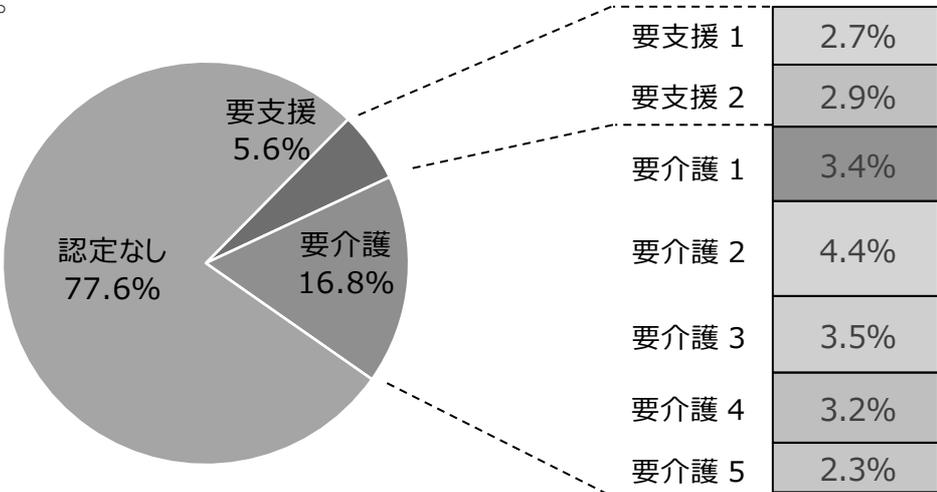
派遣終了後、派遣先の直接雇用につながらなかった者に対し、別施設を紹介あつせんする等フォローを徹底した結果、就労率は令和4年度を下回ったが、雇用数は令和4年度実績を上回った。

(4) 令和6年度の実施について

介護・障がいのしごと相談面接会において、採用に至らなかった求職者に就労体験を提供し、意欲ある人材の雇用に結びつける。

4 今後の方針

区が実施している人材確保事業等の効果及び今後必要な支援について、介護サービス事業者連絡協議会と意見交換を通じて、介護現場に必要な人材の確保策を検討していく。

| 件名 | 令和5年度足立区介護保険事業実施状況（速報値）について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------|--------|---------|--------|-------|--------|--|-------|----|-------|----|-------|-----|----------|---------|--------|---------|--------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-----|--------|------|-------|------|-------|------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----|-------|------|-------|------|-------|------|----|-------|------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|----------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|
| 所管部課 | 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和5年度足立区介護保険事業実施状況（速報値）について、以下のとおり報告する。</p> <p>※ 数値は令和6年3月31日現在の実績値。（ ）内は前年同日の実績値。詳細は別紙、用語等については冊子「みんなで支え合おう介護保険」を参照</p> <p>1 65歳以上の被保険者（第一号被保険者）の状況</p> <p>(1) 65歳以上の被保険者数は微減</p> <table border="1" data-bbox="395 766 1522 1308"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">4年度末</th> <th colspan="2">5年度末</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>人数(人)</th> <th>割合</th> <th>人数(人)</th> <th>割合</th> <th>人数(人)</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一号被保険者数</td> <td>169,204</td> <td>100.0%</td> <td>168,624</td> <td>100.0%</td> <td>▲580</td> <td>▲0.34%</td> </tr> <tr> <td>要支援1</td> <td>4,658</td> <td>2.8%</td> <td>4,582</td> <td>2.7%</td> <td>▲76</td> <td>▲1.63%</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>4,530</td> <td>2.7%</td> <td>4,926</td> <td>2.9%</td> <td>396</td> <td>8.74%</td> </tr> <tr> <td>要支援計</td> <td>9,188</td> <td>5.4%</td> <td>9,508</td> <td>5.6%</td> <td>320</td> <td>3.48%</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>5,879</td> <td>3.5%</td> <td>5,696</td> <td>3.4%</td> <td>▲183</td> <td>▲3.11%</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>7,139</td> <td>4.2%</td> <td>7,490</td> <td>4.4%</td> <td>351</td> <td>4.92%</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>5,479</td> <td>3.2%</td> <td>5,834</td> <td>3.5%</td> <td>355</td> <td>6.48%</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>5,340</td> <td>3.2%</td> <td>5,421</td> <td>3.2%</td> <td>81</td> <td>1.52%</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>3,800</td> <td>2.2%</td> <td>3,855</td> <td>2.3%</td> <td>55</td> <td>1.45%</td> </tr> <tr> <td>要介護計</td> <td>27,637</td> <td>16.3%</td> <td>28,296</td> <td>16.8%</td> <td>659</td> <td>2.38%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護計</td> <td>36,825</td> <td>21.8%</td> <td>37,804</td> <td>22.4%</td> <td>979</td> <td>2.66%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 住所地特例制度（施設入所者が施設所在地に住民登録を異動しても、異動前の区市町村が保険者となる制度）があるため、「65歳以上人口」とは一致しない。</p>  <p>(2) 介護保険料収納率（現年分）は前年度とほぼ同率 99.1%（99.0%）</p> <p>※ 5年度収納率、4年度収納率とも、令和6年5月31日現在</p> | | 4年度末 | | 5年度末 | | 増減 | | 人数(人) | 割合 | 人数(人) | 割合 | 人数(人) | 増減率 | 第一号被保険者数 | 169,204 | 100.0% | 168,624 | 100.0% | ▲580 | ▲0.34% | 要支援1 | 4,658 | 2.8% | 4,582 | 2.7% | ▲76 | ▲1.63% | 要支援2 | 4,530 | 2.7% | 4,926 | 2.9% | 396 | 8.74% | 要支援計 | 9,188 | 5.4% | 9,508 | 5.6% | 320 | 3.48% | 要介護1 | 5,879 | 3.5% | 5,696 | 3.4% | ▲183 | ▲3.11% | 要介護2 | 7,139 | 4.2% | 7,490 | 4.4% | 351 | 4.92% | 要介護3 | 5,479 | 3.2% | 5,834 | 3.5% | 355 | 6.48% | 要介護4 | 5,340 | 3.2% | 5,421 | 3.2% | 81 | 1.52% | 要介護5 | 3,800 | 2.2% | 3,855 | 2.3% | 55 | 1.45% | 要介護計 | 27,637 | 16.3% | 28,296 | 16.8% | 659 | 2.38% | 要支援・要介護計 | 36,825 | 21.8% | 37,804 | 22.4% | 979 | 2.66% |
| | | | 4年度末 | | 5年度末 | | 増減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 人数(人) | 割合 | 人数(人) | 割合 | 人数(人) | 増減率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第一号被保険者数 | 169,204 | 100.0% | 168,624 | 100.0% | ▲580 | ▲0.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 要支援1 | 4,658 | 2.8% | 4,582 | 2.7% | ▲76 | ▲1.63% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 要支援2 | 4,530 | 2.7% | 4,926 | 2.9% | 396 | 8.74% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 要支援計 | 9,188 | 5.4% | 9,508 | 5.6% | 320 | 3.48% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護1 | 5,879 | 3.5% | 5,696 | 3.4% | ▲183 | ▲3.11% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護2 | 7,139 | 4.2% | 7,490 | 4.4% | 351 | 4.92% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護3 | 5,479 | 3.2% | 5,834 | 3.5% | 355 | 6.48% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 要介護4 | 5,340 | 3.2% | 5,421 | 3.2% | 81 | 1.52% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 要介護5 | 3,800 | 2.2% | 3,855 | 2.3% | 55 | 1.45% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 要介護計 | 27,637 | 16.3% | 28,296 | 16.8% | 659 | 2.38% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 要支援・要介護計 | 36,825 | 21.8% | 37,804 | 22.4% | 979 | 2.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2 保険給付状況

(1) 介護サービス受給者数

32,176人(30,996人)前年度比1,180人増、3.8%増

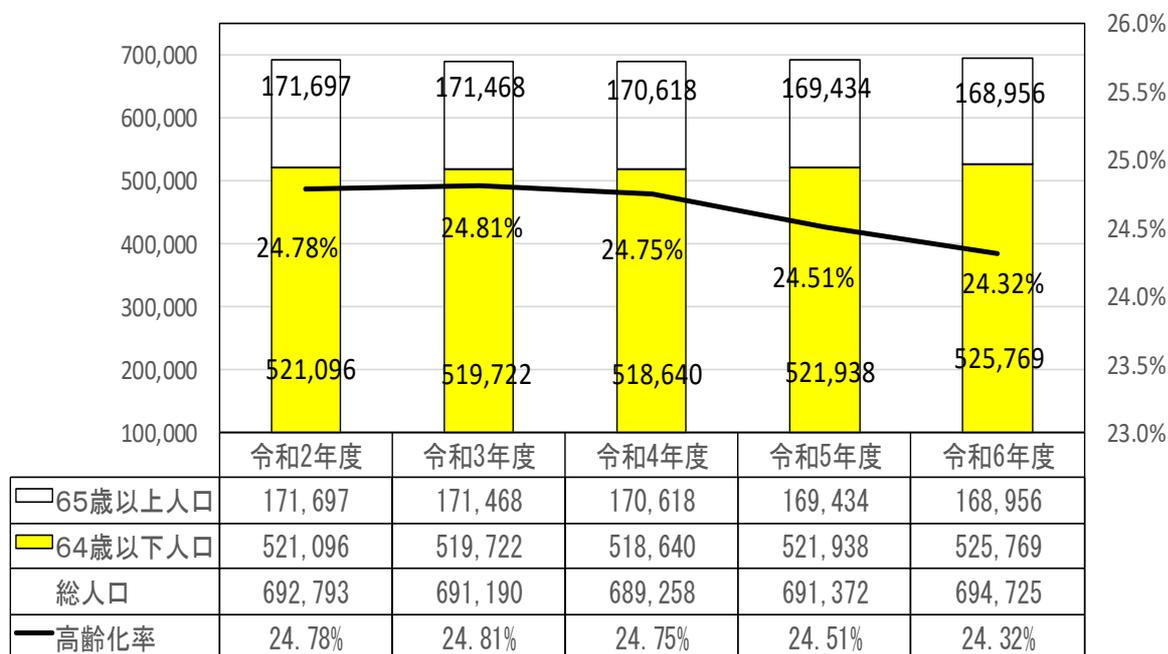
(2) 保険給付費

59,801,195千円(57,205,600千円)

前年度比2,595,595千円増、約4.5%増

《参考》【足立区の総人口、65歳以上人口、高齢化率の推移】

(各年4月1日現在)



※ 足立区の高齢化率(24.32%)は23区中で一番高く、次いで葛飾区(24.22%)、北区(23.62%)となっている。

3 今後の方針

(1) 令和5年度実績をまとめた「あだちの介護保険」を9月に発行する。

(2) 第10期介護保険事業計画策定に向け、今後もデータ収集を継続していく。

（数値は、特に記載のないものは令和6年3月31日現在）

1 保険料賦課状況

① 第1号被保険者数 (人)

| 年齢区分 | 令和5年度 (A) | 令和4年度 (B) | 増減数 | 前年度比 (A/B) |
|------------|--------------|--------------|--------|---------------|
| 65歳以上75歳未満 | 69,579 | 72,454 | -2,875 | 96.0% |
| 75歳以上 | 99,045 | 96,750 | 2,295 | 102.4% |
| (再掲)外国人 | 2,874 | 2,726 | 148 | 105.4% |
| (再掲)住所地特例者 | 1,067 | 1,076 | -9 | 99.2% |
| 計 | 168,624 | 169,204 | -580 | 99.7% |

※「住所地特例」とは、施設入所者が施設所在地に住民登録を異動しても、異動前の区市町村が保険者となる仕組みである。

② 第1号被保険者数の保険料段階別状況 (人)

| 所得段階 | 人数 | 割合 | 令和4年度割合 |
|-------|---------|--------|---------|
| 第17段階 | 674 | 0.4% | 0.4% |
| 第16段階 | 337 | 0.2% | 0.2% |
| 第15段階 | 506 | 0.3% | 0.3% |
| 第14段階 | 506 | 0.3% | 0.4% |
| 第13段階 | 1,012 | 0.6% | 0.7% |
| 第12段階 | 1,180 | 0.7% | 0.7% |
| 第11段階 | 2,361 | 1.4% | 1.4% |
| 第10段階 | 2,698 | 1.6% | 1.5% |
| 第9段階 | 4,216 | 2.5% | 2.2% |
| 第8段階 | 11,298 | 6.7% | 6.5% |
| 第7段階 | 20,741 | 12.3% | 12.4% |
| 第6段階 | 20,572 | 12.2% | 12.1% |
| 第5段階 | 15,851 | 9.4% | 9.5% |
| 第4段階 | 17,705 | 10.5% | 10.8% |
| 第3段階 | 13,996 | 8.3% | 8.3% |
| 第2段階 | 15,176 | 9.0% | 8.9% |
| 第1段階 | 39,795 | 23.6% | 23.7% |
| 計 | 168,624 | 100.0% | 100.0% |

③ 第1号被保険者の収納状況 (千円)

| | A 賦課(調定額) | B 収納額 | B/A収納率 | 4年度収納率 |
|------|------------|------------|--------|--------|
| 特別徴収 | 10,259,320 | 10,294,974 | 100.3% | 100.3% |
| 普通徴収 | 1,906,469 | 1,761,410 | 92.4% | 91.3% |
| 計 | 12,165,789 | 12,056,384 | 99.1% | 99.0% |
| 滞納繰越 | 311,192 | 71,624 | 23.0% | 21.2% |

※賦課額・収納額は令和6年5月末日現在

※収納額は還付未済額(賦課変更や二重払い等の理由により過誤納金となったもので、還付が済んでいない金額)を含む。

※滞納繰越分(前年度までに徴収を決定していたが、徴収できなかった保険料)は普通徴収のみ。

2 認定状況

① 要介護度別の認定者数 (人)

| | 第1号被保険者 | | 第2号被保険者 (40~64歳) | 合計 | 構成比 | 4年度末 認定者数 合計 | 4年度末 構成比 | (参考) 東京都5年 度末構成比 |
|-----------|-------------------|------------------|---------------------|--------|--------|--------------------|-------------|------------------------|
| | 前期高齢者 (65~74歳) | 後期高齢者 (75歳以上) | | | | | | |
| 要支援1 | 581 | 4,001 | 81 | 4,663 | 12.0% | 4,711 | 12.5% | 15.3% |
| 要支援2 | 647 | 4,279 | 116 | 5,042 | 13.0% | 4,644 | 12.3% | 13.1% |
| 要介護1 | 559 | 5,137 | 78 | 5,774 | 14.9% | 5,963 | 15.8% | 20.5% |
| 要介護2 | 890 | 6,600 | 220 | 7,710 | 19.9% | 7,342 | 19.5% | 16.7% |
| 要介護3 | 647 | 5,187 | 159 | 5,993 | 15.5% | 5,623 | 14.9% | 12.9% |
| 要介護4 | 539 | 4,882 | 105 | 5,526 | 14.3% | 5,468 | 14.5% | 12.7% |
| 要介護5 | 402 | 3,453 | 159 | 4,014 | 10.5% | 3,936 | 10.5% | 8.8% |
| 計 | 4,265 | 33,539 | 918 | 38,722 | 100.0% | 37,687 | 100.0% | 100.0% |
| 構成比 | 11.0% | 86.6% | 2.4% | 100.0% | | | | |
| 構成比 対前年増減 | ▲1.1% | 1.0% | 0.1% | | | | | |

※被保険者別構成比は、4年度と比較し、前期高齢者が減少、後期高齢者が増加、第2号被保険者が微増であった。

3 保険給付状況

① 介護サービス受給者数の推移

(人)

| 各月末\受給者数 | 受給者数 | 受給者数 | | |
|----------|--------|--------|-------|-------|
| | | 居宅 | 地域密着 | 施設 |
| 令和4年3月 | 30,449 | 21,629 | 3,868 | 4,952 |
| 令和5年3月 | 30,996 | 22,082 | 3,925 | 4,989 |
| 令和6年3月 | 32,176 | 22,954 | 4,023 | 5,199 |

※令和6年3月末の受給者数(32,176人)は、令和5年3月末より1,180人、3.8%増加した。

令和4年3月末と比較すると、1,727人、5.7%増加した。

※在宅受給者数には、償還払(福祉用具購入、住宅改修)のみの受給者は含まない。

【居宅(サービス)】
訪問介護やデイサービスなどの自宅で生活しながら受けるサービス
【地域密着(型サービス)】
地域の特性に応じた、小規模な施設等で提供されるサービス(足立区民に限定され、区が事業者指定する)
【施設(サービス)】
特別養護老人ホーム等の施設に入所して受けるサービス

② 介護サービス別保険給付費

(千円)

| サービス名 | 令和5年度給付費(A) | | | 令和4年度給付費(B) | 対前年度比(A/B) |
|-------------------|-------------|---------|------------|-------------|------------|
| | 介護給付 | 予防給付 | 合計 | | |
| 居宅サービス | 36,676,941 | 819,350 | 37,496,291 | 35,694,196 | 105.0% |
| 施設サービス | 18,500,145 | — | 18,500,145 | 17,846,099 | 103.7% |
| 福祉用具購入 | 67,534 | 15,802 | 83,336 | 79,135 | 105.3% |
| 住宅改修 | 106,380 | 62,243 | 168,623 | 163,593 | 103.1% |
| 高額介護サービス費(公費負担分含) | 1,721,631 | 0 | 1,721,631 | 1,637,400 | 105.1% |
| 高額医療合算介護サービス費 | 209,999 | — | 209,999 | 212,923 | 98.6% |
| 特定入所者介護サービス費 | 1,558,438 | 161 | 1,558,599 | 1,512,036 | 103.1% |
| 審査支払手数料 | 58,085 | 4,486 | 62,571 | 60,218 | 103.9% |
| その他 | — | — | 0 | 0 | — |
| 合計 | 58,899,153 | 902,042 | 59,801,195 | 57,205,600 | 104.5% |

【参考】総合事業費 (千円)

| 種別 | 令和5年度 | 令和4年度 | 対前年度比 |
|----------------|-----------|-----------|--------|
| 訪問型サービス | 342,343 | 344,917 | 99.3% |
| 通所型サービス | 724,079 | 686,260 | 105.5% |
| 介護予防ケアマネジメント | 157,422 | 161,404 | 97.5% |
| 審査支払手数料 | 3,132 | 3,064 | 102.2% |
| 高額介護予防サービス費相当分 | 1,497 | 1,235 | 121.2% |
| 合計 | 1,228,473 | 1,154,211 | 106.4% |

【総合事業】
高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的とした事業(介護予防・日常生活支援総合事業)。

③ 利用者負担額減額状況

ア) 特定入所者介護サービス費支給対象件数

(件)

| | 特別養護老人ホーム | 老人保健施設 | 療養型医療施設 | 介護医療院 | 短期入所介護 | 計(A) | 令和4年度合計件数(B) | 対前年度比(A/B) |
|-------|-----------|--------|---------|-------|--------|-------|--------------|------------|
| 第3段階② | 638 | 247 | 12 | 16 | 772 | 1,685 | 1,060 | 159.0% |
| 第3段階① | 382 | 133 | 8 | 5 | 447 | 975 | 613 | 159.1% |
| 第2段階 | 471 | 178 | 11 | 7 | 636 | 1,303 | 862 | 151.2% |
| 第1段階 | 147 | 459 | 12 | 9 | 934 | 1,561 | 1,526 | 102.3% |
| 合計 | 1,638 | 1,017 | 43 | 37 | 2,789 | 5,524 | 4,061 | 136.0% |

イ) 生計困難者に対する利用料助成事業(都制度)

| | 令和5年度 | 令和4年度 |
|--------|------------|------------|
| 軽減者数 | 290 | 245 |
| 助成延べ件数 | 1,730 | 1,609 |
| 助成額(円) | 13,071,732 | 10,434,191 |

④ 家族介護慰労金事業

| | 令和5年度 | 令和4年度 |
|--------|-----------|---------|
| 件数 | 10 | 4 |
| 支給額(円) | 1,000,000 | 400,000 |

厚生委員会情報連絡

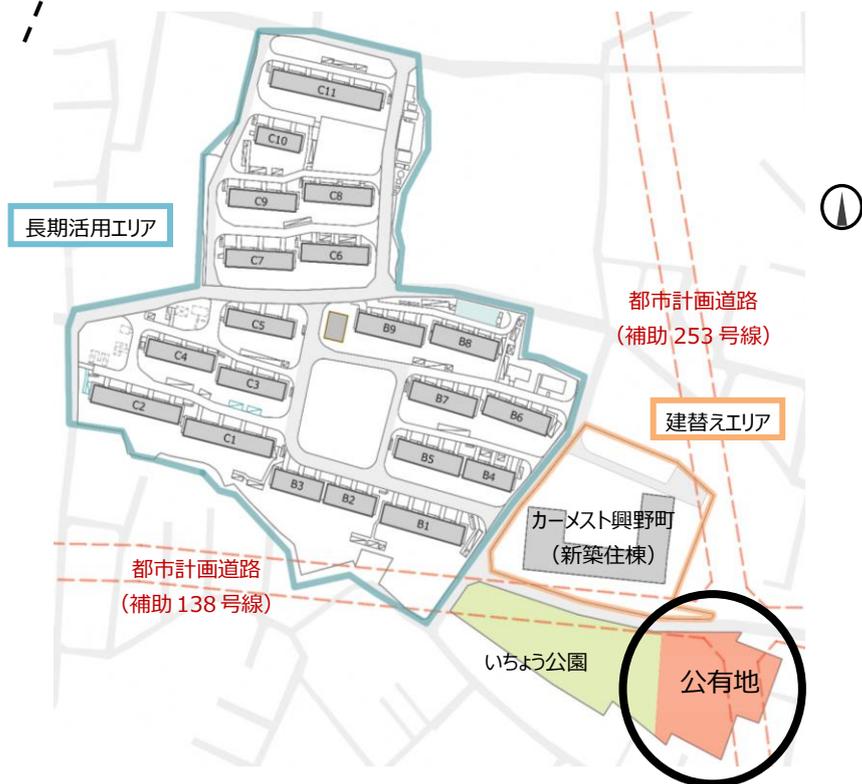
令和6年7月1日

| 件名 | 令和6年度地域密着型サービスの整備・運営事業者の公募について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|----|---------------------------------|--------|-------|---------------------|----|--|--------|-------|------|----|---|-----|----|-----------------|---|-------|---------------------|---------------------------------|---|---|-----|----|-----------------|---|-------|------------|
| 所管部課名 | 福祉部 介護保険課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和6年度地域密着型サービスの整備・運営事業者について、以下のとおり公募する。</p> <p>※ 地域密着型サービスとは、住み慣れた地域で生活を続けられるように、地域の特性に応じた、小規模な施設等で提供されるサービス。</p> <p>1 公募の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>用地</th> <th></th> <th>サービス種別</th> <th>募集箇所数</th> <th>開設年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">公有地</td> <td rowspan="2">併設</td> <td>認知症高齢者グループホーム※1</td> <td>1</td> <td rowspan="2">令和8年度</td> <td rowspan="2">J K K興野町住宅創出用地を活用する</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護※2または看護小規模多機能型居宅介護※3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>民有地</td> <td>単独</td> <td>看護小規模多機能型居宅介護※3</td> <td>1</td> <td>令和7年度</td> <td>用地は法人が確保する</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 認知症高齢者グループホームとは、認知症の高齢者が共同生活を営み、食事、入浴等の介護や機能訓練が受けられる施設。</p> <p>※2 小規模多機能型居宅介護とは、小規模な住居型の施設への「通い」を中心に、自宅に来てもらう「訪問」、施設に「泊まる」サービスを柔軟に受けられる事業所。</p> <p>※3 看護小規模多機能型居宅介護とは、小規模多機能型居宅介護と訪問看護の組合せによるサービスを受けられる事業所。</p> <p>2 公有地を活用した公募について</p> <p>(1) 用地主 東京都住宅供給公社（J K K）</p> <p>(2) 所在地 足立区西新井本町四丁目61番30号他（地番） ※次ページ位置図参照</p> <p>(3) 創出用地面積 約1,500㎡（都市計画道路整備前の現在は約1,900㎡）</p> <p>(4) メリット 東京都福祉インフラ整備事業を準用して活用し、貸付料を50%減額することが可能。</p> <p>(5) 選定 区が運営事業者を公募により選定する。その後J K Kが最終決定し、法人と50年間の定期借地権契約を行う。</p> <p>(6) 運営 土地の貸付を受けた法人が、施設を建設、運営する。</p> | | | | | No | 用地 | | サービス種別 | 募集箇所数 | 開設年度 | 備考 | 1 | 公有地 | 併設 | 認知症高齢者グループホーム※1 | 1 | 令和8年度 | J K K興野町住宅創出用地を活用する | 小規模多機能型居宅介護※2または看護小規模多機能型居宅介護※3 | 1 | 2 | 民有地 | 単独 | 看護小規模多機能型居宅介護※3 | 1 | 令和7年度 | 用地は法人が確保する |
| | No | 用地 | | サービス種別 | 募集箇所数 | 開設年度 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 公有地 | 併設 | 認知症高齢者グループホーム※1 | 1 | 令和8年度 | J K K興野町住宅創出用地を活用する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 小規模多機能型居宅介護※2または看護小規模多機能型居宅介護※3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 民有地 | 単独 | 看護小規模多機能型居宅介護※3 | 1 | 令和7年度 | 用地は法人が確保する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 今後のスケジュール（予定）

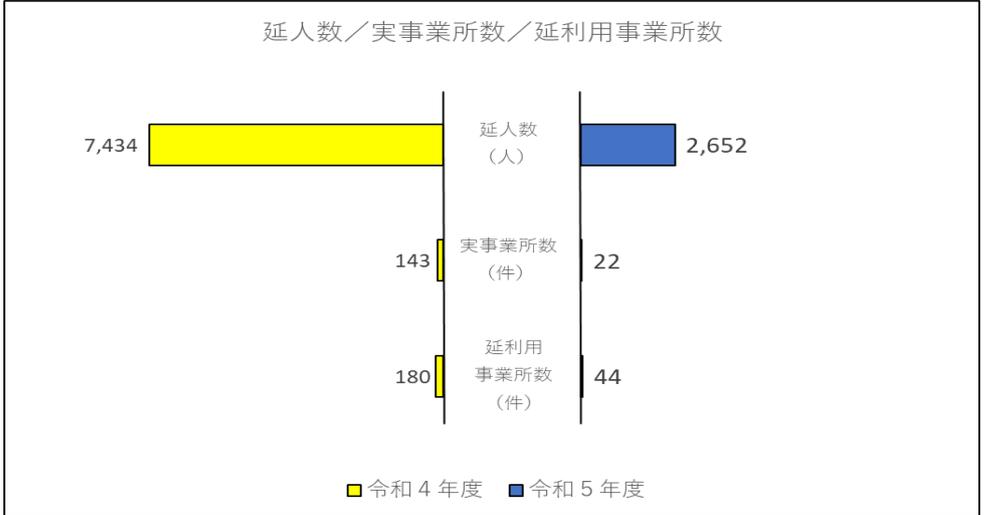
| | 日程 |
|-------|----------------------------|
| 公募期間 | 令和6年7月29日(月)～8月30日(金) |
| 審査 | 第一次：令和6年10月 第二次：令和6年11月 |
| 事業者決定 | 民有地：令和6年11月 公用地：令和7年 1月 |
| 施設開設 | 民有地：令和7年度 公用地：令和8年度 |

【位置図】



厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

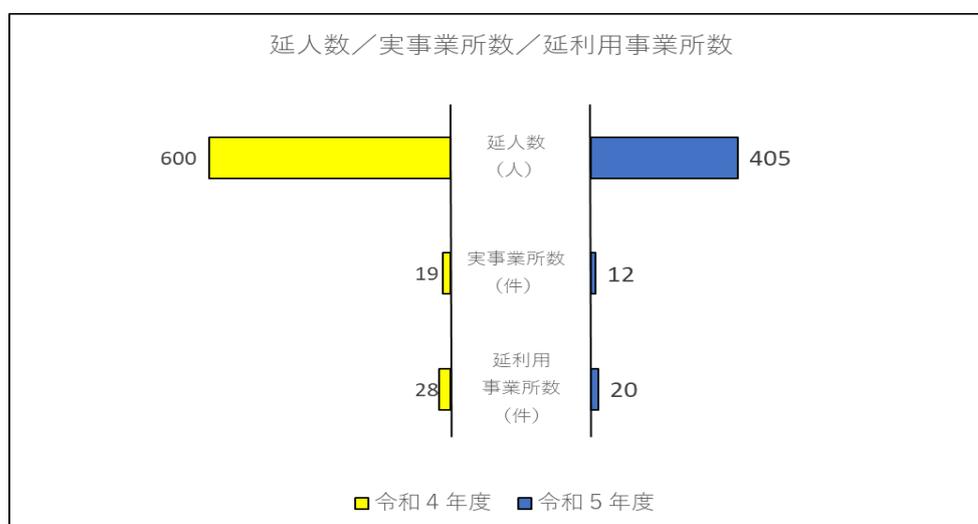
| 件名 | 令和5年度高齢者施設・障がい者（児）施設等に対する新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策の支援実績について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|-----------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|------|-----|-------------|--------|-------|---------|--------|------|-----|--------|--------|------|-----------|-----------|-----|-----------|----------|-----|-------|-------|
| 所管部課名 | 福祉部 障がい福祉課、高齢者施策推進室 医療介護連携課、介護保険課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和5年度の高齢者施設・障がい者（児）施設等に対する新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策について、支援実績を報告する。</p> <p>※ 実績は令和5年度確定値、執行率等は予算現額ベース。</p> <p>1 高齢者施設・障がい者（児）施設等におけるPCR検査等の費用補助</p> <p>令和5年度末終了</p> <p>高齢者施設・障がい者（児）施設等に従事する職員及び新規利用者等を対象に、PCR検査等に係る経費を1人上限12回、1回あたり2万円まで補助した。</p> <p>(1) 高齢者施設等補助実績</p> <table border="1" data-bbox="472 947 1465 1339"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象事業所数</td> <td>1,053件</td> <td>1,054件</td> </tr> <tr> <td>延利用事業所数</td> <td>180件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>【実事業所数（※1）】</td> <td>【143件】</td> <td>【22件】</td> </tr> <tr> <td>利用率（※2）</td> <td>13.58%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>7,434人</td> <td>2,652人</td> </tr> <tr> <td>予算現額</td> <td>232,080千円</td> <td>105,212千円</td> </tr> <tr> <td>執行額</td> <td>109,138千円</td> <td>45,503千円</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>47.0%</td> <td>43.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 複数回利用した場合でも1件として集計した事業所数 ※2 利用率＝実事業所数÷対象事業所数×100</p>  | | 令和4年度 | 令和5年度 | 対象事業所数 | 1,053件 | 1,054件 | 延利用事業所数 | 180件 | 44件 | 【実事業所数（※1）】 | 【143件】 | 【22件】 | 利用率（※2） | 13.58% | 2.1% | 延人数 | 7,434人 | 2,652人 | 予算現額 | 232,080千円 | 105,212千円 | 執行額 | 109,138千円 | 45,503千円 | 執行率 | 47.0% | 43.2% |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象事業所数 | 1,053件 | 1,054件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 延利用事業所数 | 180件 | 44件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実事業所数（※1）】 | 【143件】 | 【22件】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用率（※2） | 13.58% | 2.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 延人数 | 7,434人 | 2,652人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算現額 | 232,080千円 | 105,212千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 執行額 | 109,138千円 | 45,503千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 執行率 | 47.0% | 43.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 障がい者（児）施設等補助実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------------|--------------|--------------|
| 対象事業所数 | 347件 | 354件 |
| 延利用事業所数 【実事業所数（※1）】 | 28件 【19件】 | 20件 【12件】 |
| 利用率（※2） | 5.5% | 3.4% |
| 延人数 | 600人 | 405人 |
| 予算現額 | 39,912千円 | 10,038千円 |
| 執行額 | 8,320千円 | 1,239千円 |
| 執行率 | 20.9% | 12.3% |

※1 複数回利用した場合でも1件として集計した事業所数

※2 利用率＝実事業所数÷対象事業所数×100



2 在宅要介護者（高齢者・障がい者）受入体制整備事業

令和5年度末終了

介護の必要な在宅高齢者や在宅障がい者等について、介護者が新型コロナウイルスに感染し、介護できなくなった場合に、緊急的に医療機関において保護を行った。

(1) 高齢者分支給実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------|----------|---------|
| 受入件数 | 8件 | 1件 |
| 予算現額 | 10,000千円 | 7,200千円 |
| 執行額 | 8,040千円 | 6,260千円 |
| 執行率 | 80.4% | 86.9% |

(2) 障がい者分支給実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------|---------|----------|
| 受入件数 | 2件 | 0件 |
| 予算現額 | 9,389千円 | 10,000千円 |
| 執行額 | 7,859千円 | 7,590千円 |
| 執行率 | 83.7% | 75.9% |

3 介護施設等職員派遣事業 **令和5年5月7日終了**

介護施設等の職員や利用者が新型コロナウイルスに感染し、通常運営が困難な状況に陥った場合に、応援職員を派遣した介護事業者に対して、日勤助成金及び夜勤助成金を支給する。

令和4年度、令和5年度ともに実績はなかった。

4 新型コロナウイルス感染者へ対応する従事者の危険手当支給事業

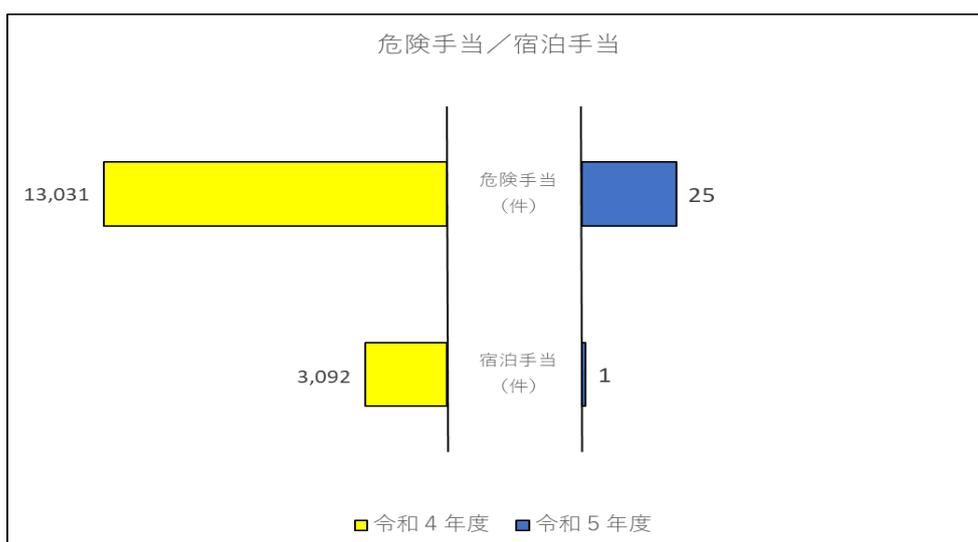
令和5年5月7日終了

従事者が陽性の利用者に対して、直接サービスを提供した場合に、事業者を通じて危険手当及び宿泊手当を支給した（危険手当：1日 5,000円、宿泊手当：1泊 10,000円）。

(1) 介護サービス事業者分支給実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------|---------------------------|--------------------------|
| 対象事業所数 | 933件 | 939件 |
| 危険手当 | 13,031件 (利用した事業所数125件) | 25件 (利用した事業所数5件) |
| 宿泊手当 | 3,092件 (利用した事業所数59件) | 1件 (利用した事業所数1件) |
| 利用率(※1) | 【危険手当】13.4% 【宿泊手当】6.3% | 【危険手当】0.5% 【宿泊手当】0.1% |
| 予算現額 | 124,200千円 | 10,045千円 |
| 執行額 | 96,075千円 | 135千円 |
| 執行率 | 77.4% | 1.3% |

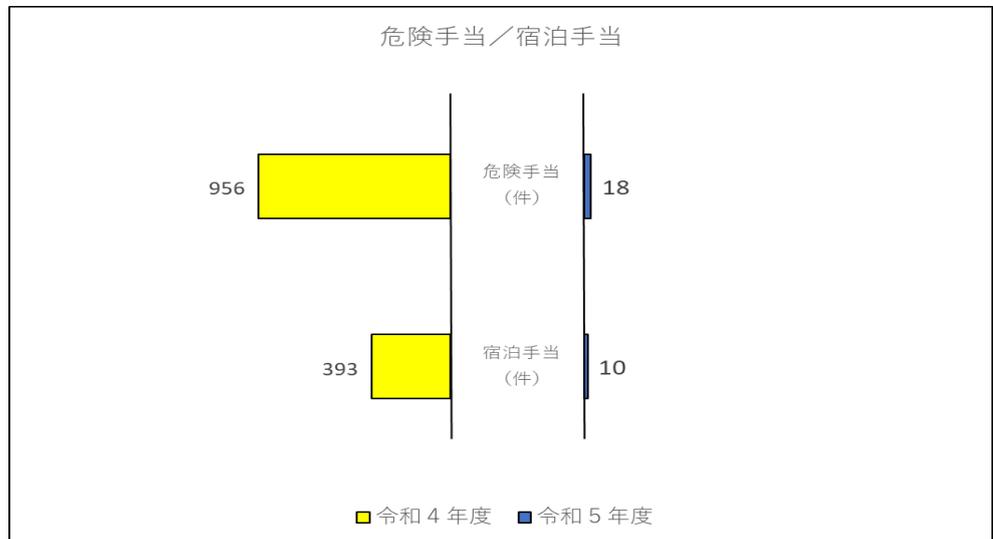
※1 利用率＝利用した事業所数÷対象事業所数×100



(2) 障がい福祉サービス等事業者分支給実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------|----------------------------|----------------------------|
| 対象事業所数 | 354件 | 360件 |
| 危険手当 | 956件 (利用した事業所数31件) | 18件 (利用した事業所数2件) |
| 宿泊手当 | 393件 (利用した事業所数24件) | 10件 (利用した事業所数1件) |
| 利用率(※1) | 【危険手当】 8.8% 【宿泊手当】 6.8% | 【危険手当】 0.6% 【宿泊手当】 0.3% |
| 予算現額 | 14,640千円 | 1,184千円 |
| 執行額 | 8,710千円 | 190千円 |
| 執行率 | 59.5% | 16.0% |

※1 利用率＝利用した事業所数÷対象事業所数×100



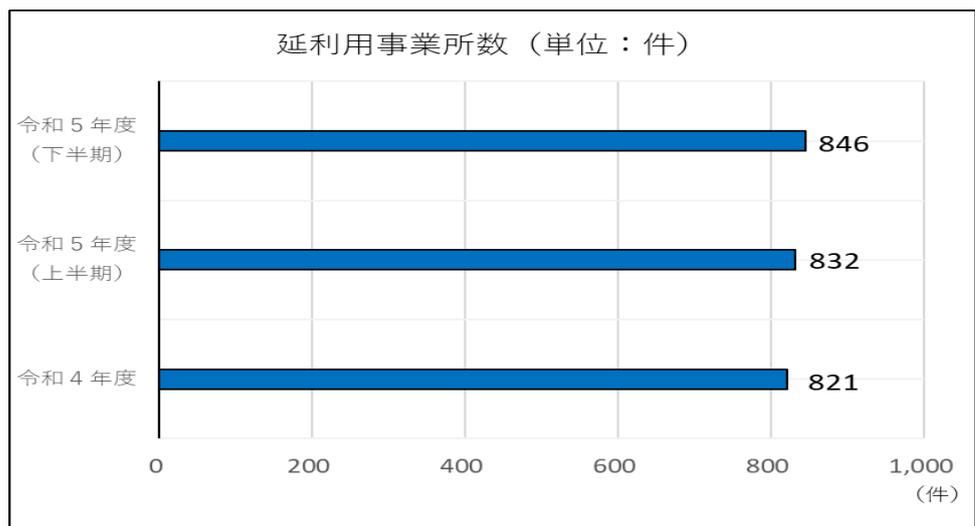
5 令和5年度物価高騰支援を目的とした区独自の特別給付金支給事業

介護・障がい福祉サービス等事業者に対して、コロナ禍における物価高騰の影響が大きい光熱水費、ガソリン代などの経費に対し、特別給付金を支給した。

(1) 介護サービス事業者分支給実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 上半期 | 令和5年度 下半期 |
|------------|---------------|----------------|--------------|
| 算定 根拠費目 | 光熱水費 ガソリン代 | 光熱水費・食料費・ガソリン代 | |
| 対象事業所数 | 1,045件 | 1,022件 | 1,018件 |
| 延利用事業所数 | 821件 | 832件 | 846件 |
| 利用率(※1) | 78.56% | 81.40% | 83.10% |
| 予算現額 | 197,046千円 | 231,830千円 | 155,525千円 |
| 執行額 | 177,108千円 | 212,200千円 | 143,710千円 |
| 執行率 | 89.9% | 91.5% | 92.4% |

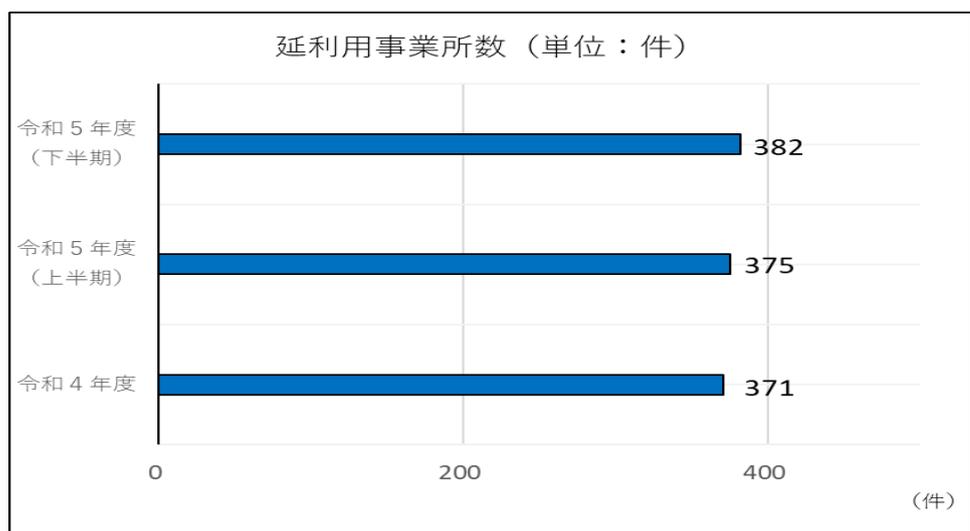
※1 利用率＝延利用事業所数÷対象事業所数×100



(2) 障がい福祉サービス等事業者分支給実績

| | 令和4年度 | 令和5年度 上半期 | 令和5年度 下半期 |
|------------|---------------|----------------|--------------|
| 算定 根拠費目 | 光熱水費 ガソリン代 | 光熱水費・食料費・ガソリン代 | |
| 対象事業所数 | 382件 | 389件 | 394件 |
| 延利用事業所数 | 371件 | 375件 | 382件 |
| 利用率(※1) | 97.1% | 96.4% | 97.0% |
| 予算現額 | 62,010千円 | 72,380千円 | 48,990千円 |
| 執行額 | 59,158千円 | 69,030千円 | 48,050千円 |
| 執行率 | 95.4% | 95.4% | 98.1% |

※1 利用率＝延利用事業所数÷対象事業所数×100

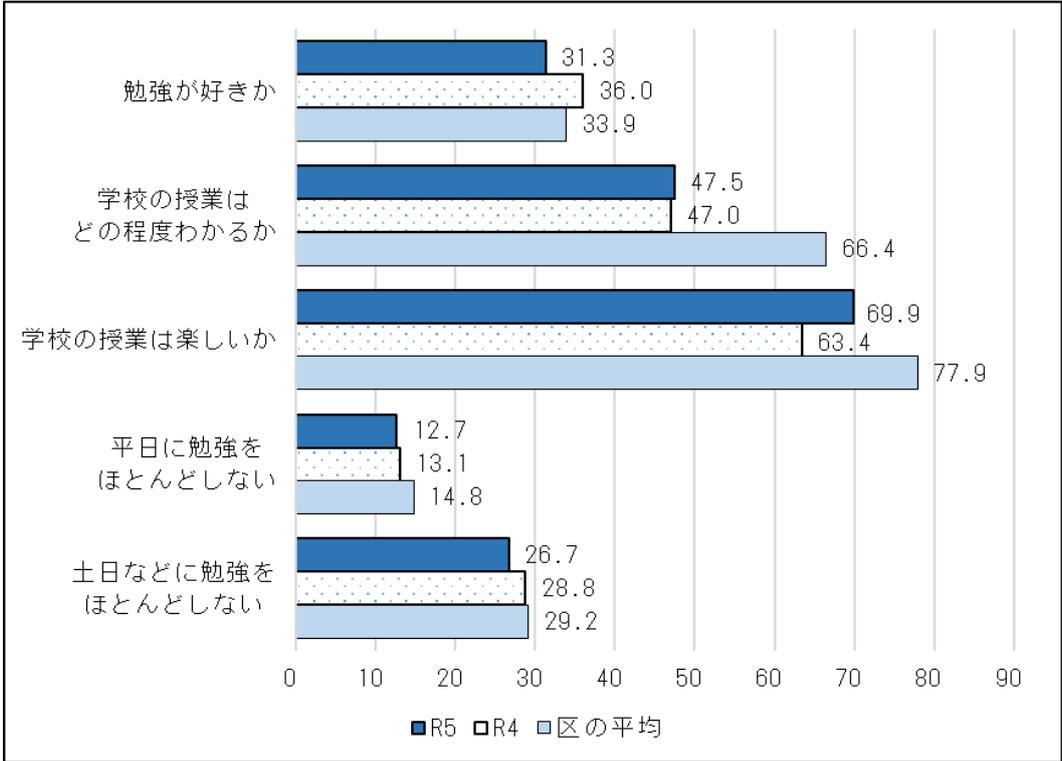


6 今後の方針

- (1) 消費者物価指数は依然として高止まっているものの、令和6年度報酬改定では、介護・障がい共に近年の経済情勢の変化等を踏まえたものとなっている。
- (2) 今後も、物価高騰の状況を見極めながら、必要に応じて、介護事業者や障がい福祉サービス等事業者への支援を検討する。

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

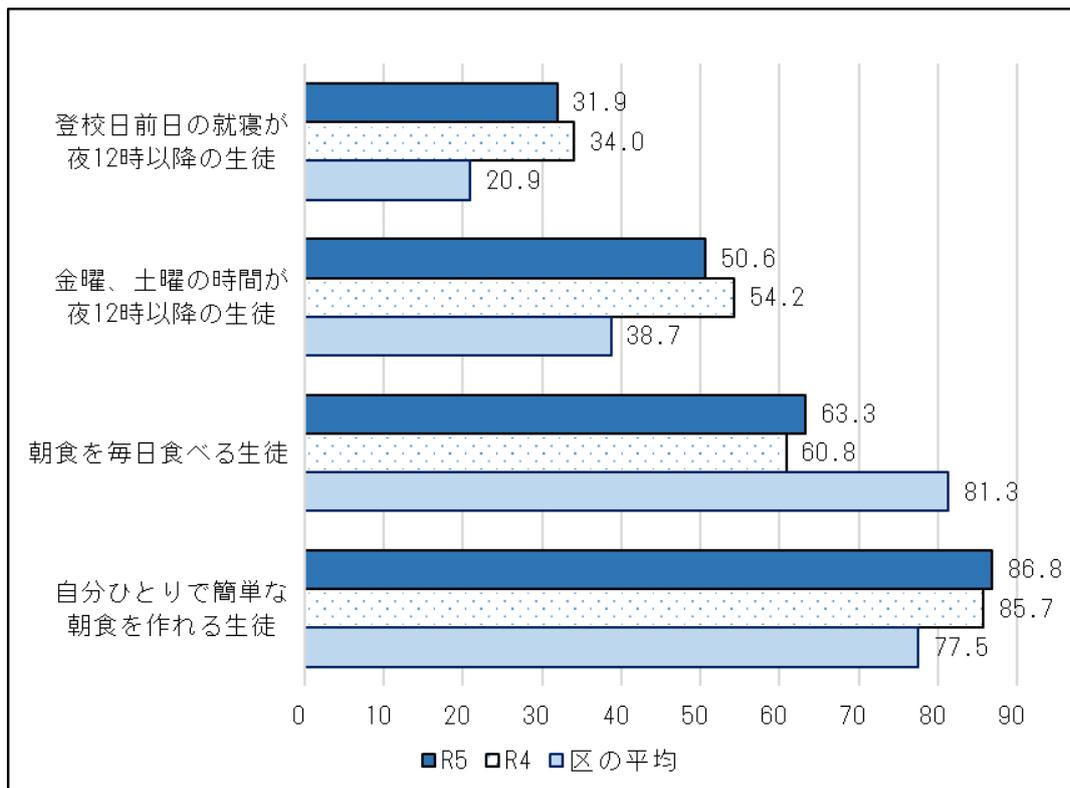
| 件名 | 令和5年度「居場所を兼ねた学習支援」アンケート集計結果について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|------|------|----|------|--------|------|------|------|----------------|------|------|------|------------|------|------|------|---------------|------|------|------|-----------------|------|------|------|
| 所管部課名 | 福祉部 足立福祉事務所 生活支援推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和5年度の「居場所を兼ねた学習支援」を利用している中学生及び高校生に対するアンケート集計結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 対象及び回答者数</p> <p>(1) 対象者数 359名 (中学生231名、高校生128名)</p> <p>(2) 有効回答数 228名 (回答率63.5%)</p> <p>2 主な集計結果及び今後の支援方針</p> <p>(1) 学習について 【単位 %】</p>  <table border="1" data-bbox="371 887 1433 1648"> <caption>学習に関するアンケート結果 (単位 %)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5</th> <th>R4</th> <th>区の平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勉強が好きか</td> <td>31.3</td> <td>36.0</td> <td>33.9</td> </tr> <tr> <td>学校の授業はどの程度わかるか</td> <td>47.5</td> <td>47.0</td> <td>66.4</td> </tr> <tr> <td>学校の授業は楽しいか</td> <td>69.9</td> <td>63.4</td> <td>77.9</td> </tr> <tr> <td>平日に勉強をほとんどしない</td> <td>12.7</td> <td>13.1</td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td>土日などに勉強をほとんどしない</td> <td>26.7</td> <td>28.8</td> <td>29.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ R5 □ R4 ▨ 区の平均</p> <p>ア 主な集計結果</p> <p>(ア) 学校の授業を楽しみと思える生徒の割合、学校の授業の理解度は、ともに区の平均を大きく下回っている。</p> <p>(イ) 登校日における学校外での勉強を「ほとんどしない」割合、休日に勉強を「ほとんどしない」割合は、令和4年度比で減少し、ともに区の平均よりも良い結果となっている。</p> | 項目 | R5 | R4 | 区の平均 | 勉強が好きか | 31.3 | 36.0 | 33.9 | 学校の授業はどの程度わかるか | 47.5 | 47.0 | 66.4 | 学校の授業は楽しいか | 69.9 | 63.4 | 77.9 | 平日に勉強をほとんどしない | 12.7 | 13.1 | 14.8 | 土日などに勉強をほとんどしない | 26.7 | 28.8 | 29.2 |
| 項目 | R5 | R4 | 区の平均 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 勉強が好きか | 31.3 | 36.0 | 33.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校の授業はどの程度わかるか | 47.5 | 47.0 | 66.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校の授業は楽しいか | 69.9 | 63.4 | 77.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平日に勉強をほとんどしない | 12.7 | 13.1 | 14.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土日などに勉強をほとんどしない | 26.7 | 28.8 | 29.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

イ 今後の支援方針

生徒一人ひとりの学力に応じたマンツーマン形式の学習支援や、英語・数学検定の受験などを通じて、基礎学力の向上と学習面での成功体験を提供するとともに、居場所・自習スペースを利用した勉強習慣の定着に向けた取り組みを引き続き行う。

(2) 生活習慣について

【単位 %】



ア 主な集計結果

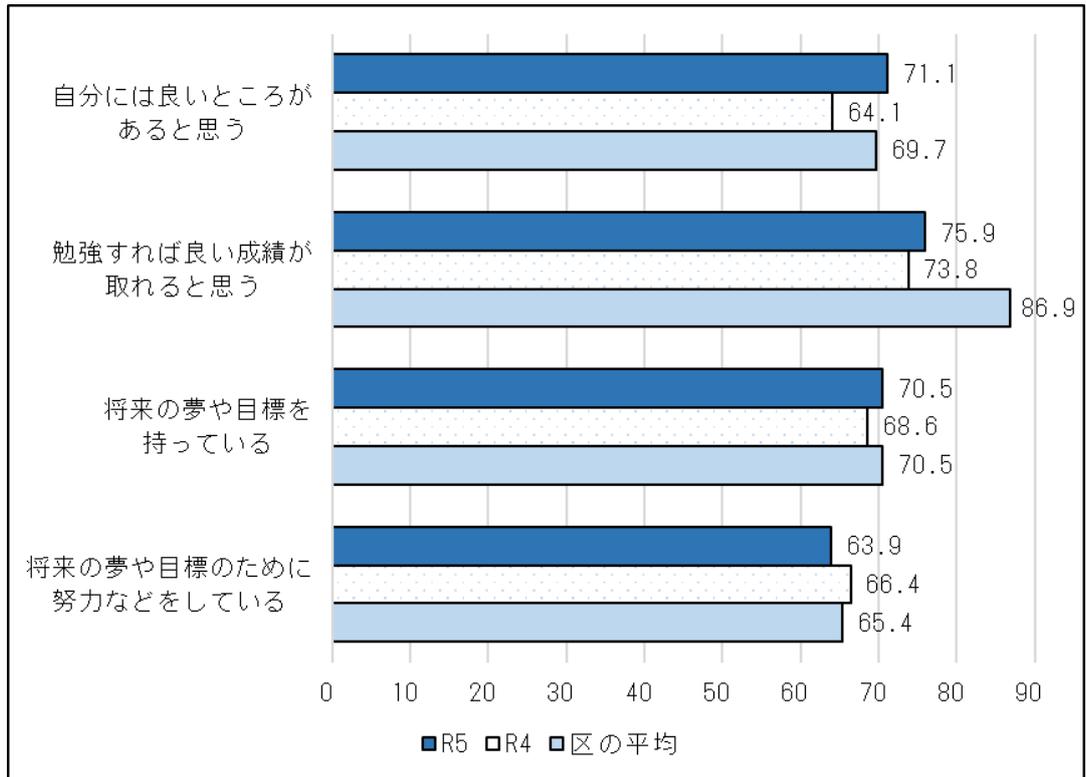
- (ア) 就寝時間が夜12時以降の生徒の割合は令和4年度比で改善されたものの、区の平均との差が依然として顕著である。
- (イ) 朝食を毎日食べる生徒の割合も令和4年度比で改善が見られたが、引き続き区の平均を大きく下回っている。
- (ウ) 一方で、簡単な朝食をひとりで作れる生徒の割合は令和4年度比で増加し、区の平均より高い結果となっている。

イ 今後の支援方針

本事業では、学習支援や居場所の提供だけでなく、職業体験や食に関する体験活動なども提供しながら、将来の自立に向けた取り組みを行っている。そのうえで、生徒本人や保護者との面談の場を利用し、日頃の食習慣や生活リズムを振り返り、改善を促すことでより一層の支援を行っていく。

(3) 自己肯定感について

【単位 %】



ア 主な集計結果

- (ア) 自分には良いところがあると思う生徒、将来の夢や目標を持っている生徒、ともに区の平均とほぼ同じ水準である。
- (イ) 一方で、勉強に対する自信は令和4年度と同じく区の平均を大きく下回っている。

イ 今後の支援方針

生徒一人ひとりの学力や特性に応じた学びの成功体験、大学生スタッフをはじめとした多様な大人との関わりや体験活動を提供することで、自己肯定感や自己有用感のさらなる向上を目指し、将来の自立に向けたサポートを行う。

3 その他

- (1) 令和5年度「足立区学力定着に関する総合調査」及び令和4年度「第8回子どもの健康・生活実態調査」の結果を「区の平均」とした。
- (2) 集計結果の詳細は、**別紙**「令和5年度 居場所を兼ねた学習支援アンケート集計結果」参照

令和5年度 居場所を兼ねた学習支援 アンケート 集計結果

福祉部 足立福祉事務所 生活支援推進課

◇調査の概要

◆調査対象：居場所を兼ねた学習支援に登録する中学生及び高校生

◆調査時期：令和6年3月

◆実施方法：記名式アンケート方式

◆回答状況

有効回答 228 名

回答率 63.5 %

| | | | | | |
|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| 対象者数 | 359 名 | 有効回答数 | 228 名 | 有効回答率 | 63.5% |
| 〔 中学生 231 名 〕 | | 〔 中学生 167 名 〕 | | 〔 中学生 72.3% 〕 | |
| 〔 高校生 128 名 〕 | | 〔 高校生 61 名 〕 | | 〔 高校生 47.7% 〕 | |

◆集計方法

「学力調査」(※1)及び「生活調査」(※2)の回答割合を「区の平均」として回答を比較した。
なお、構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

※1 学力調査：足立区教育委員会が、令和5年度に実施した「足立区学力定着に関する総合調査」における「学習意識調査」結果の回答割合

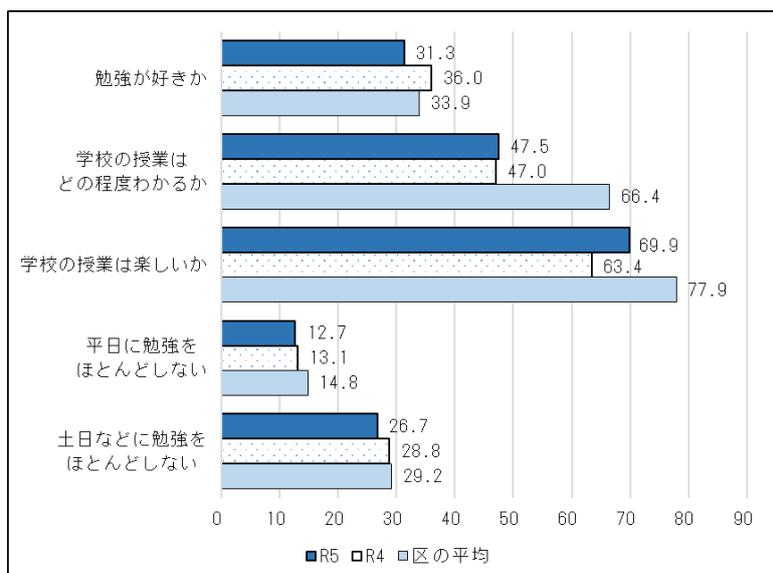
※2 生活調査：足立区衛生部こころとからだの健康づくり課が、令和4年度に実施した「第8回子どもの健康・生活実態調査」の結果における中学2年生の回答割合



主な集計結果と今後の支援方針

1 学習について

【単位%】



(1) 主な集計結果

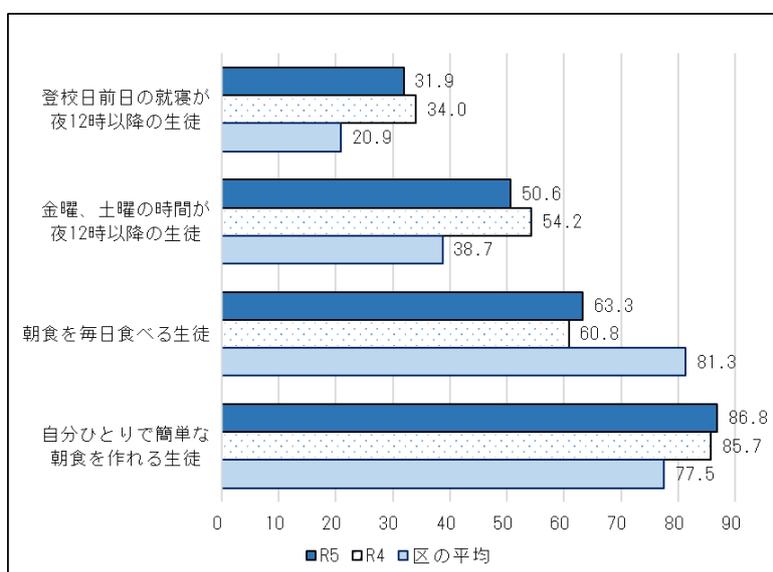
- ア 勉強が好きである生徒は令和4年度比で減少し、学校の授業を楽しみと思える生徒の割合は令和4年度比で増加したが、いずれも区の平均を下回っている。
- イ 学校の授業の理解度は令和4年度比で微増したものの、区の平均を下回っている。
- ウ 登校日における学校外での勉強を「ほとんどしない」割合と、休日に勉強を「ほとんどしない」割合は令和4年度比で減少し、ともに区の平均を下回っている。
- エ 本事業では、生徒一人ひとりの状況に合わせた丁寧な学習支援を提供しているものの、学校の授業の十分な理解等には及んでいないことがわかる。

(2) 今後の支援方針

生徒一人ひとりの学力に応じたマンツーマン形式の学習支援や、英語・数学検定の受験などを通じて、基礎学力の向上と学習面での成功体験を提供するとともに、居場所・自習スペースを利用した勉強習慣の定着に向けた取り組みを引き続き行う。

2 生活習慣について

【単位%】



(1) 主な集計結果

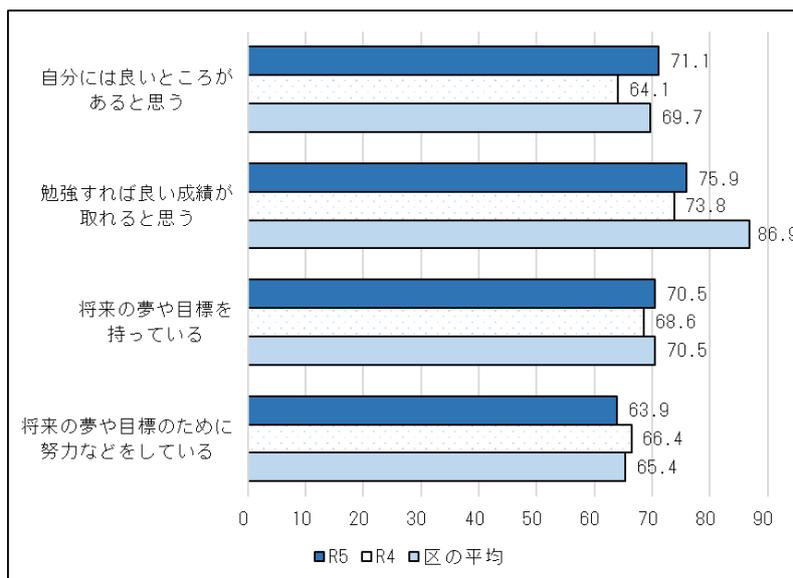
- ア 就寝時間が夜12時以降の生徒の割合は令和4年度比で改善されたものの、区の平均との差が依然として顕著である。
- イ 朝食を毎日食べる生徒の割合も令和4年度比で改善が見られたが、引き続き区の平均を大きく下回っており、就寝時間、朝食摂取については特に改善が必要である。
- ウ 一方で、簡単な朝食をひとりで作れる生徒の割合は令和4年度比で増加し、区の平均より高い結果となっている。

(2) 今後の支援方針

本事業では、学習支援や居場所の提供だけでなく、職業体験や食に関する体験活動なども提供しながら、将来の自立に向けた取り組みを行っている。そのうえで、生徒本人や保護者との面談の場を利用して、日頃の食習慣や生活リズムを振り返り、改善を促すことでより一層の支援を行っていく。

3 自己肯定感について

【単位%】



(1) 主な集計結果

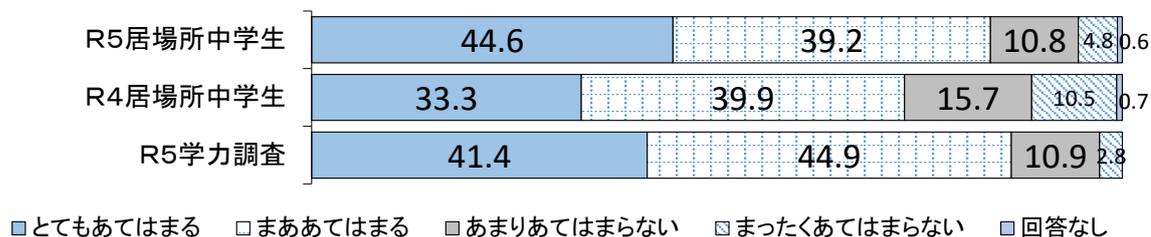
- ア 自分には良いところがあると思う生徒は、令和4年度比で増加し、区の平均を上回った。
- イ 将来の夢や目標を持っている生徒は区の平均と同値であり、それに向けて取り組んでいる生徒は令和4年度比で減少したものの、区の平均とほぼ同じ水準であった。
- ウ 上記については、マンツーマンでの学習支援や進路指導、様々な体験活動の提供がこの結果にも寄与していると考えられる。
- エ 一方で、勉強に対する自信は令和4年度と同じく区の平均を大きく下回っている。

(2) 今後の支援方針

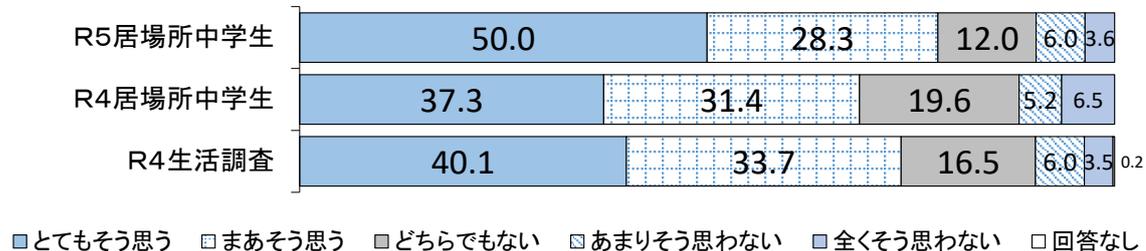
生徒一人ひとりの学力や特性に応じた学びの成功体験や、大学生スタッフをはじめとした多様な大人との関わりや体験活動を提供することで、自己肯定感や自己有用感のさらなる向上を目指し、将来の自立に向けたサポートを行う。

アンケート項目

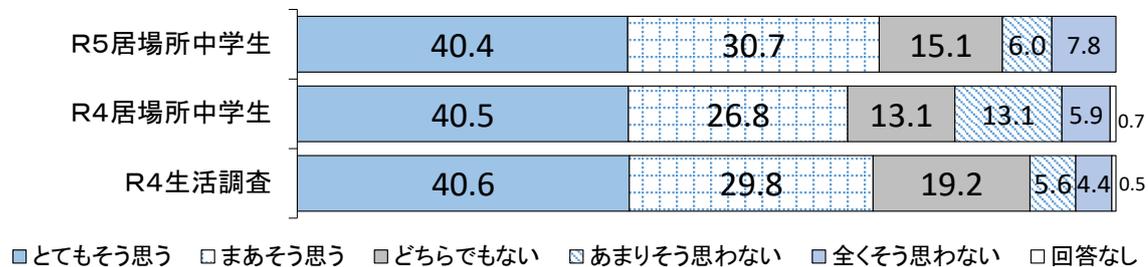
Q1 学校に行くのが楽しい。



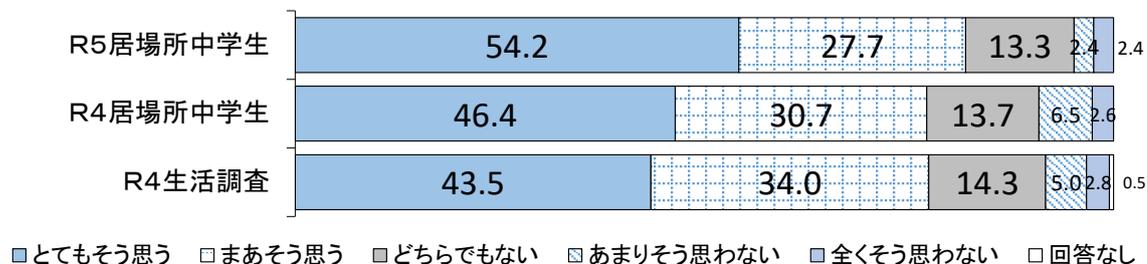
Q2 クラスの雰囲気が好きである。



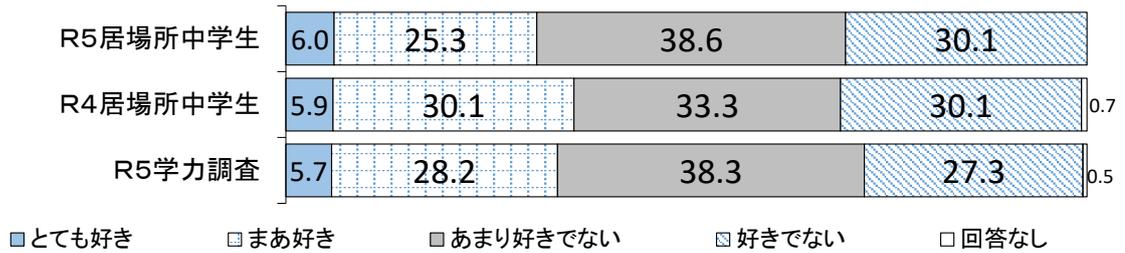
Q3 担任の先生を信頼している。



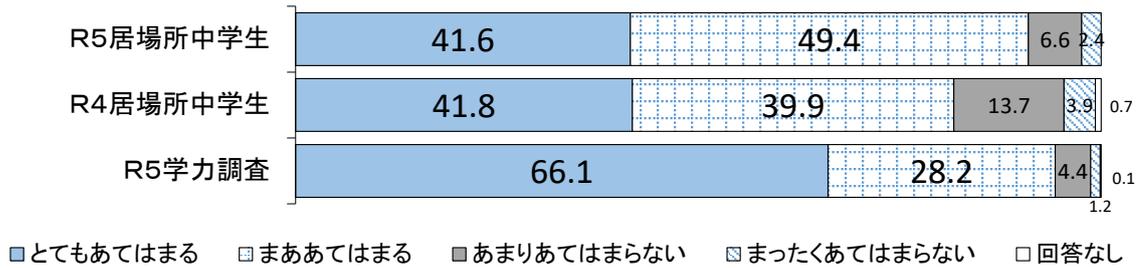
Q4 クラスの友だちを信頼している。



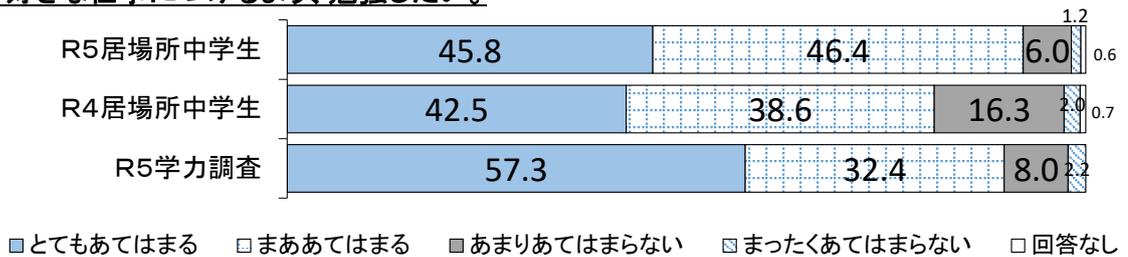
Q5 勉強は、好きですか。



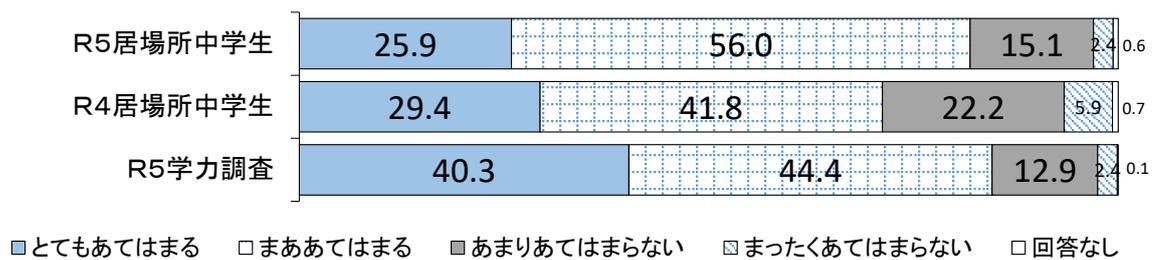
Q6 受験に役立つよう、勉強したい。



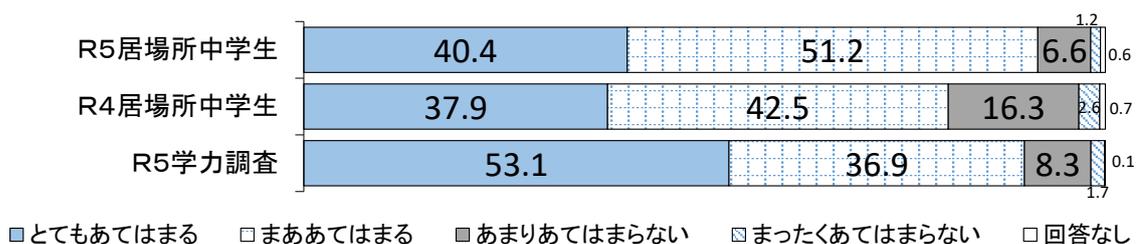
Q7 自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい。



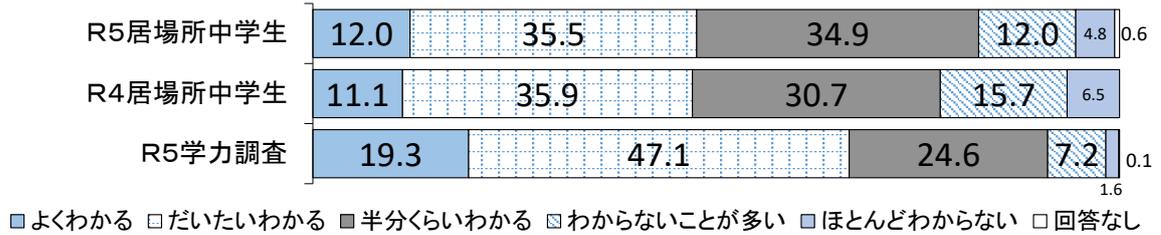
Q8 わからないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい。



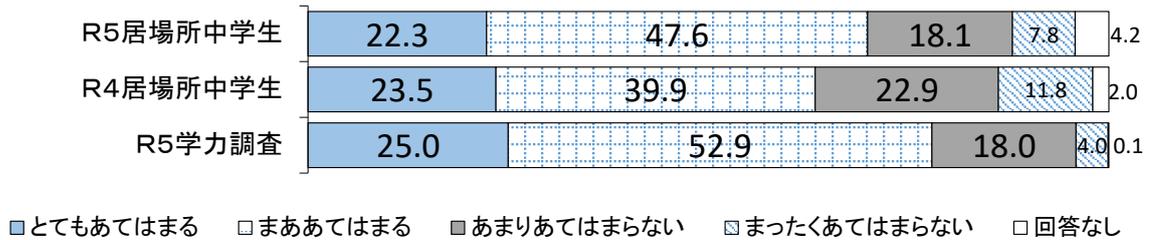
Q9 ふだんの生活や、将来、社会に出てから役立つよう、勉強したい。



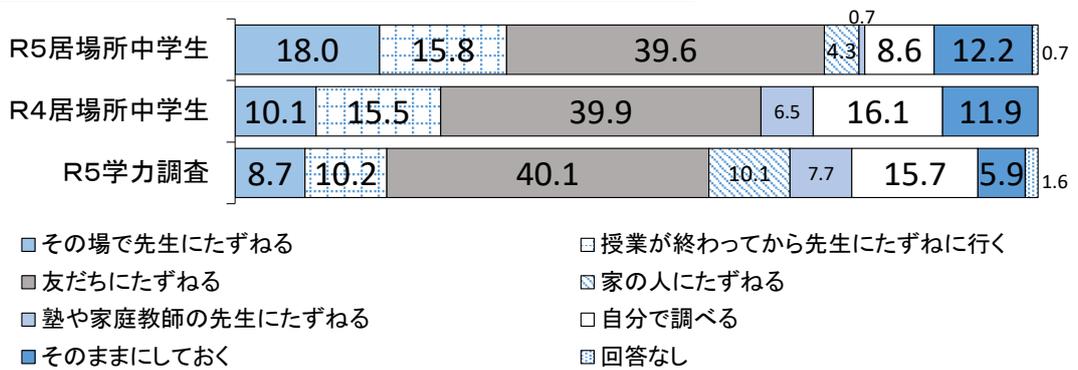
Q10 学校の授業はどの程度わかりますか。



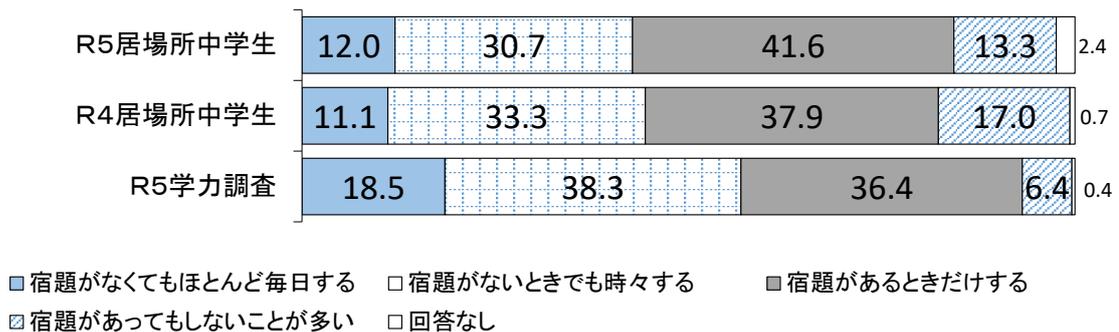
Q11 学校の授業は楽しい。



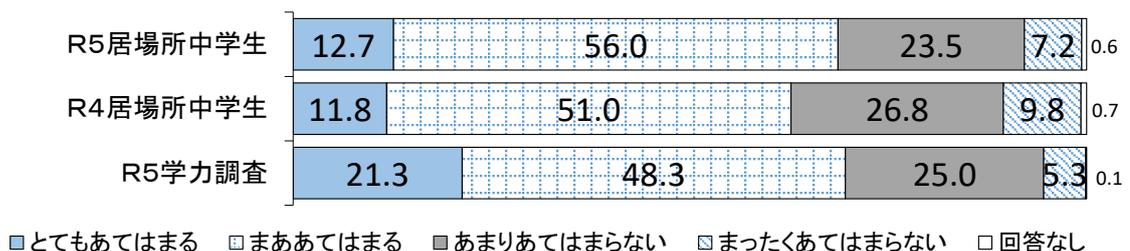
Q12 授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。



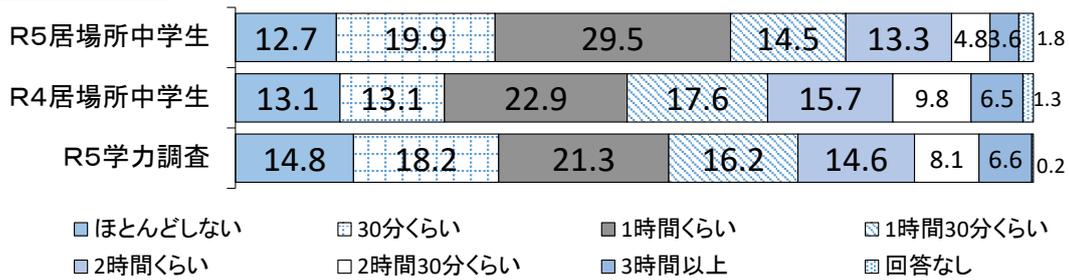
Q13 ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。



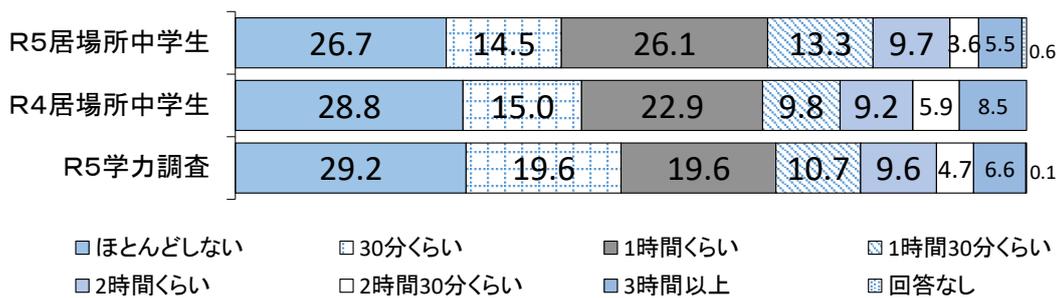
Q14 わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。



Q15 学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか。

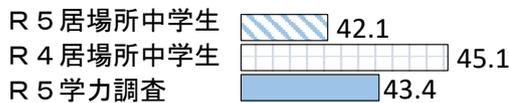


Q16 土曜日や日曜日など、学校が休みの日に1日にどれくらい勉強していますか。



Q17 家で勉強するときに、あなたが困っていることや悩んでいることはなんですか。あてはまるものをいくつでもえらんで、回答してください。

・何をどのように勉強してよいかわからない



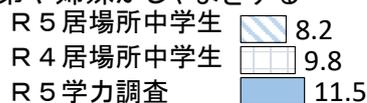
・なぜ勉強しなければならないのかわからない



・他のことが気になって勉強ができない



・兄弟や姉妹がじゃまをする



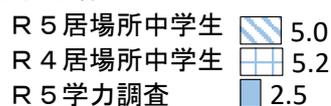
・どう勉強してもわからない



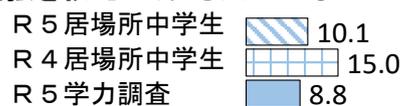
・どうしても好きになれない教科がある



・勉強する場所がない



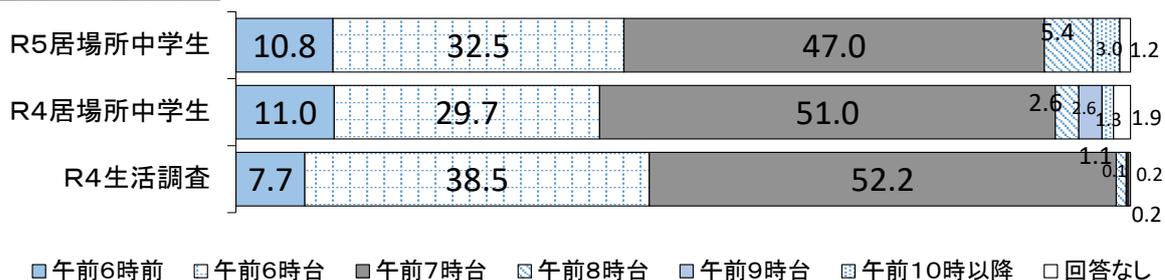
・勉強を教えてくれる人がいない



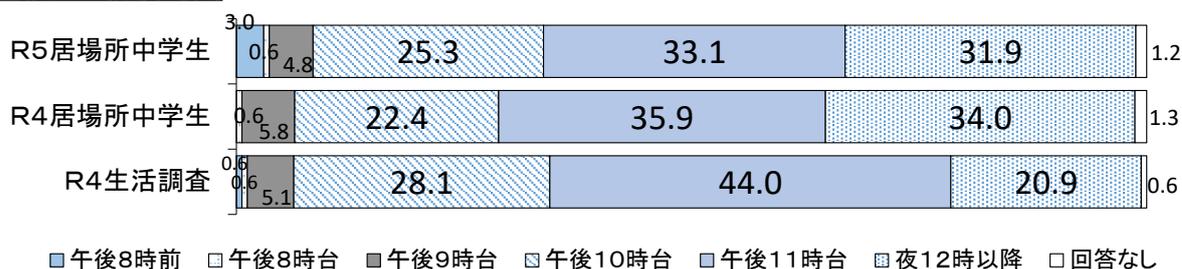
・困ったり、悩んだりしていることはない



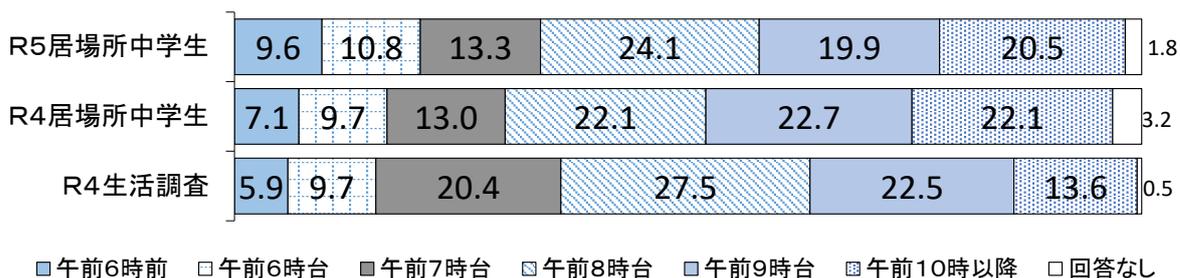
Q18 ①登校日 起床時間



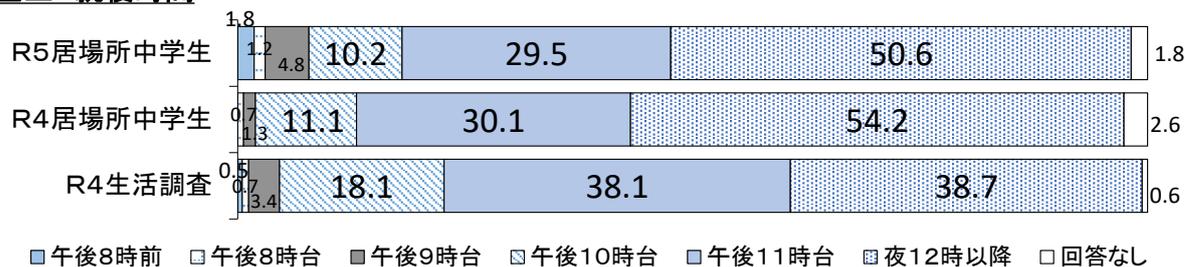
Q18 ②登校日 就寝時間



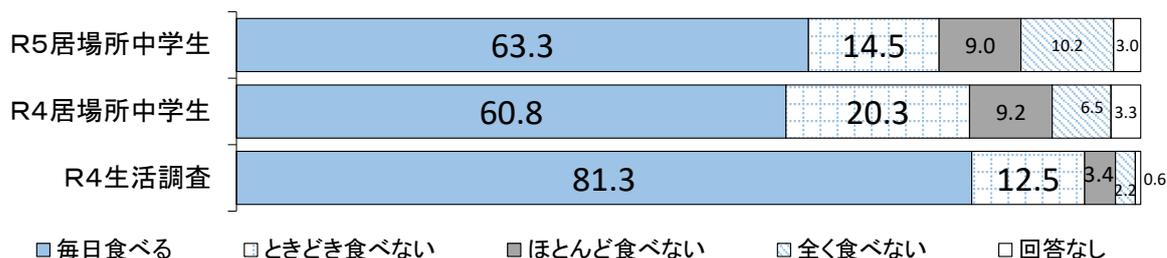
Q18 ③土日 起床時間



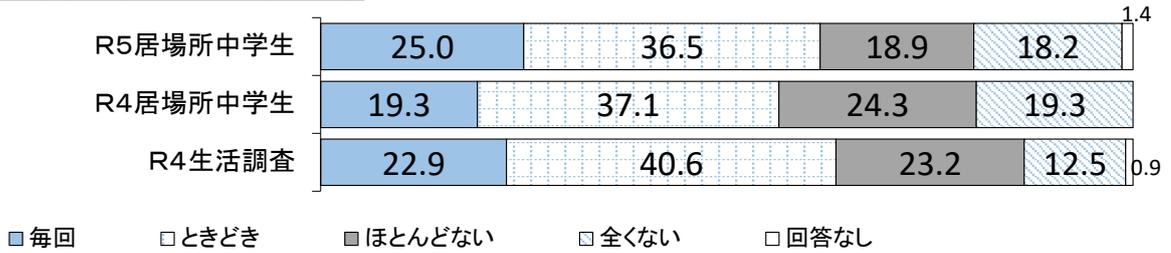
Q18 ④金土 就寝時間



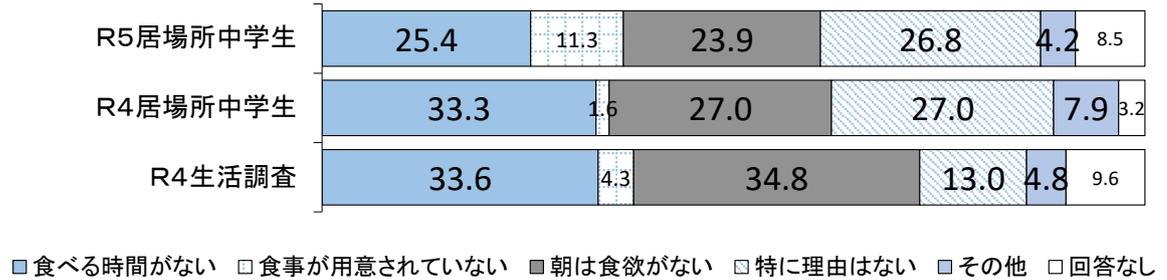
Q19 あなたは朝食を食べますか。



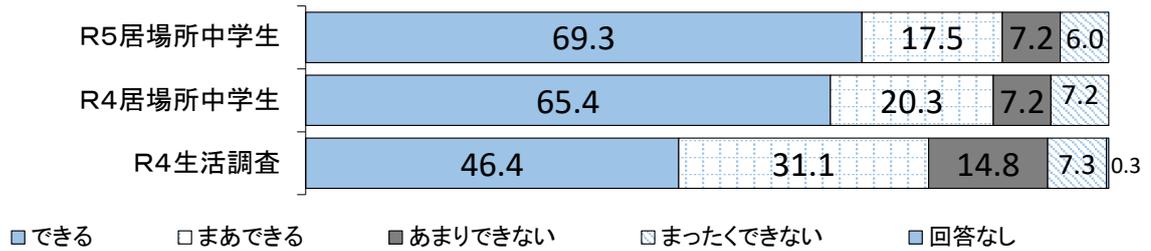
Q20 朝食に野菜は含まれていますか。



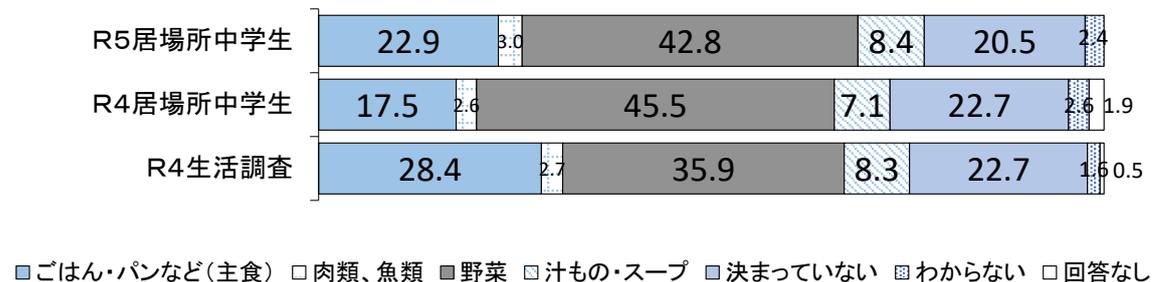
Q21 朝食を食べない理由は何ですか。



Q22 あなたは自分ひとりで簡単な朝食を作ることができますか。



Q23 あなたは、食事のとき何を一番はじめに食べますか。



Q24 平日(学校に行く日)にあなたは夕食をだれと食べますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

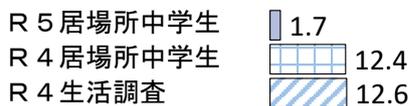
・親や祖父母と食べる



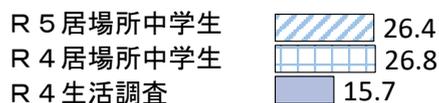
・きょうだいや友だちと食べる



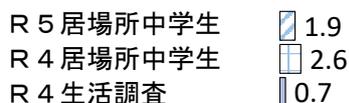
・家族以外の人と食べる



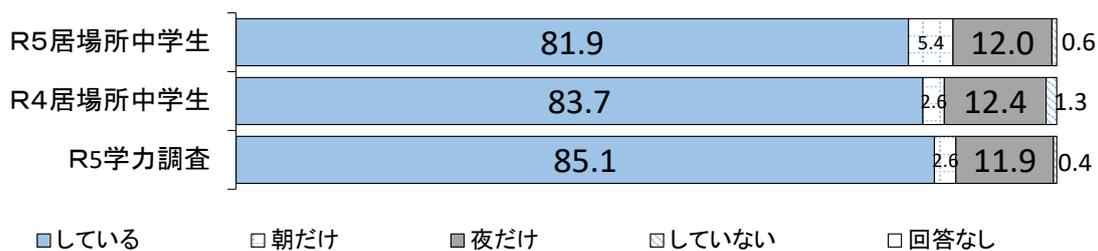
・ひとりで食べる



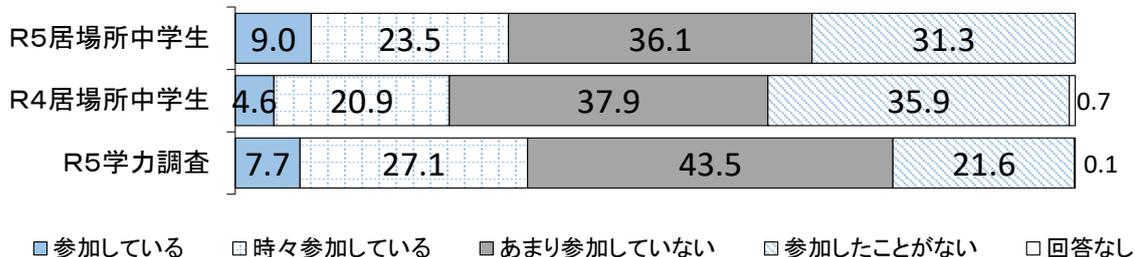
・夕食は食べない



Q25 朝と夜、歯みがきをしていますか。



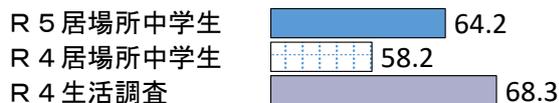
Q26 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



Q27 あなたの周りには、親以外で、次のような大人はいますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

・信頼できる人



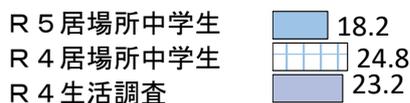
・気軽に相談できる人



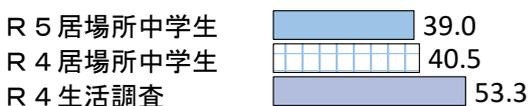
・尊敬できる人



・将来の目標となる人



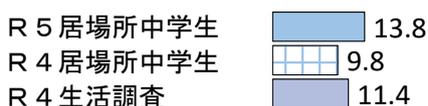
・自分のことを大切にしてくれる人



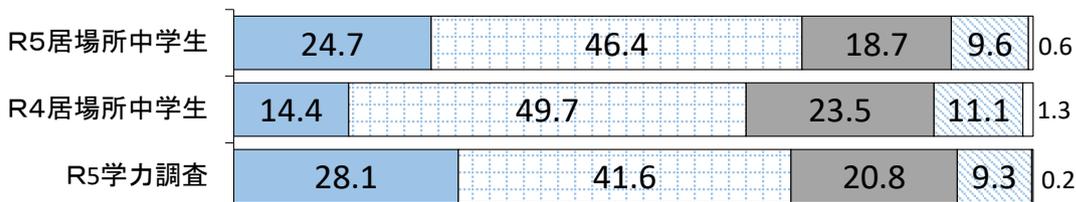
・道で会ったら、あいさつをしてくれる人



・そのような人はいない

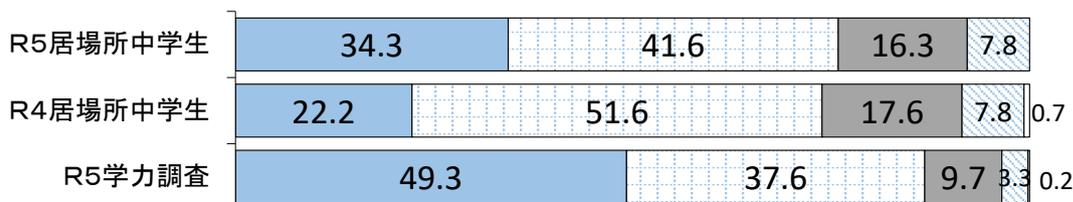


Q28 自分にはよいところがあると思う。



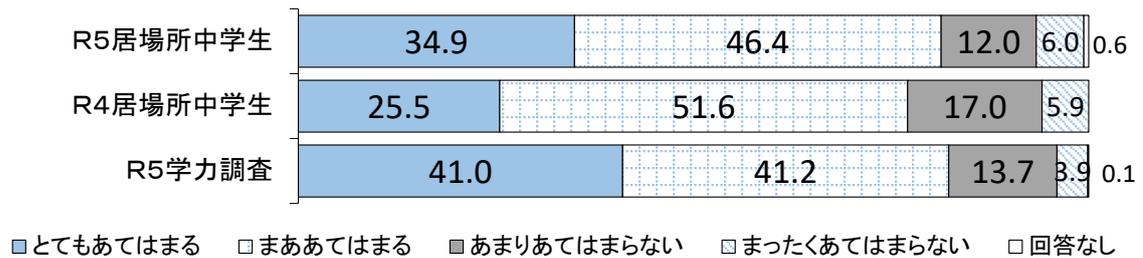
□とてもあてはまる □まああてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない □回答なし

Q29 勉強をすれば、自分は良い成績がとれると思う。

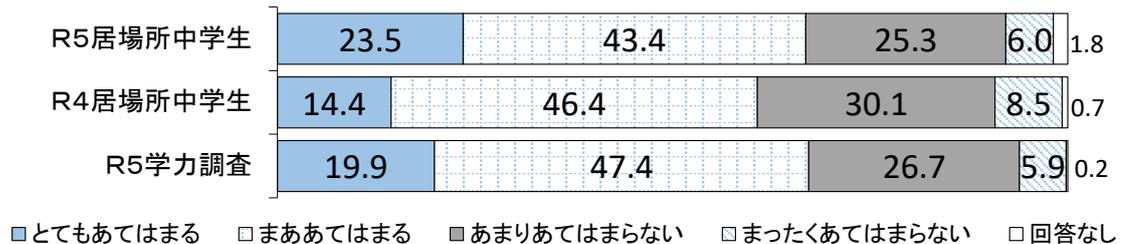


□とてもあてはまる □まああてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない □回答なし

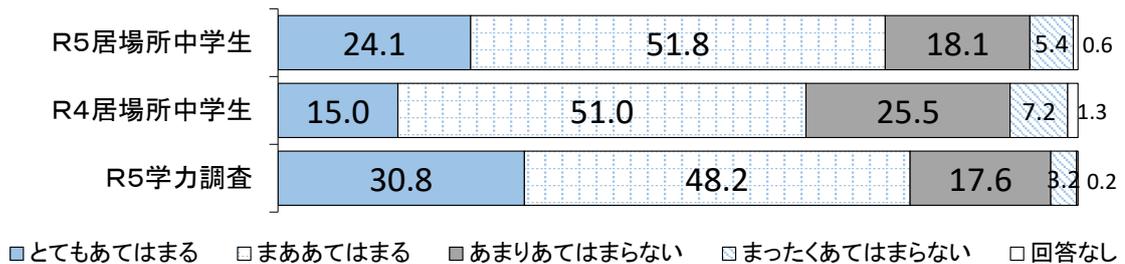
Q30 努力すれば、自分もたいいのはできると思う。



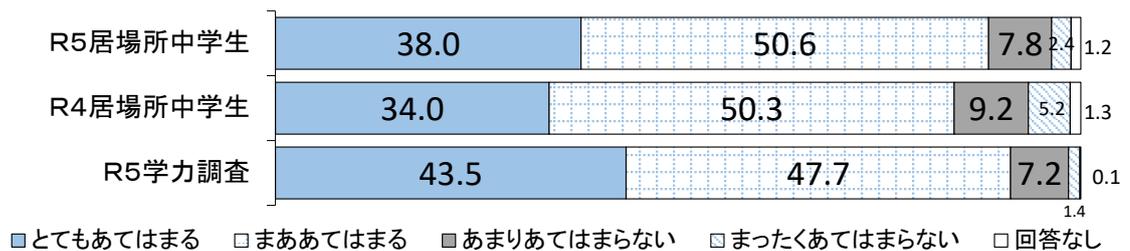
Q31 難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。



Q32 自分がやらなければならないことは、やりたくないときでも、きちんとやりぬくことができる。



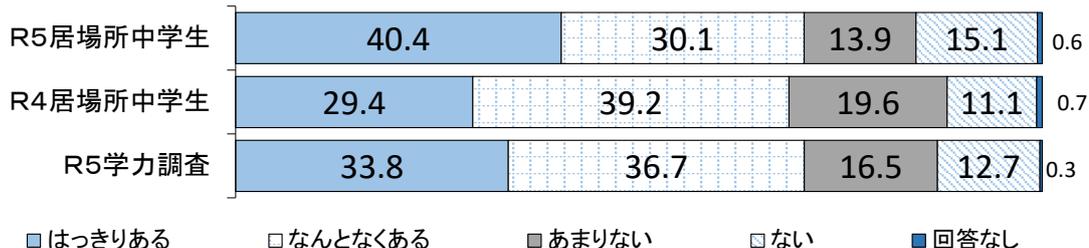
Q33 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている。



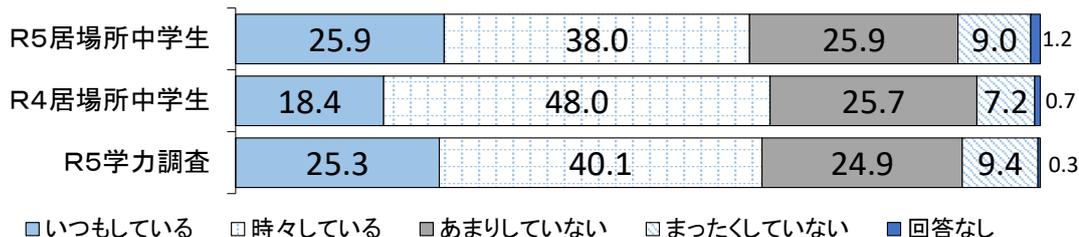
Q34 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている。



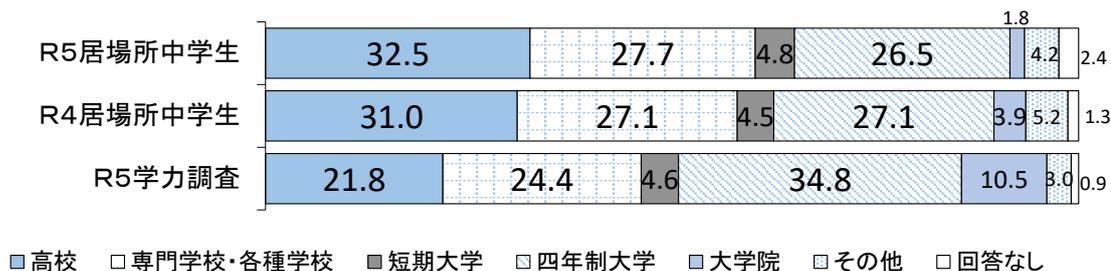
Q35 将来の夢や目標を持っていますか。



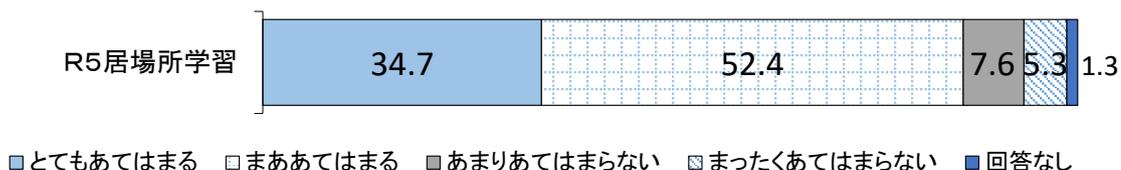
Q36 自分の将来の夢や目標の実現に向かって努力したり、その方法を工夫・改善したりしていますか。



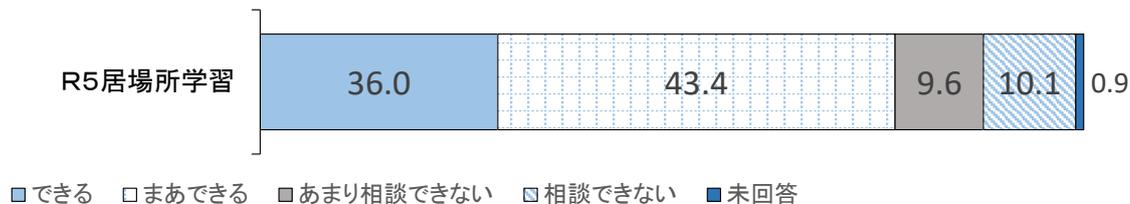
Q37 あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。



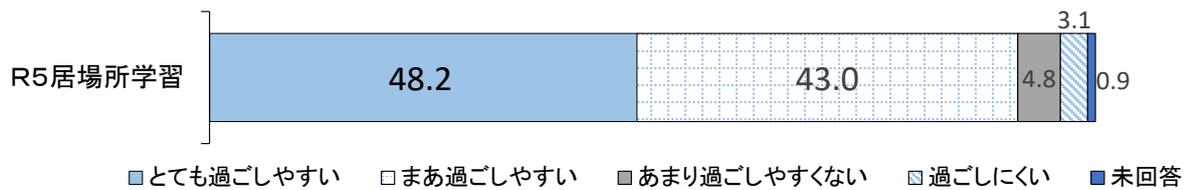
Q38 学習会の利用を通して勉強がわかるようになった。(令和5年度新規設問)



Q39 学習会スタッフに悩みや困っていることを相談できますか。(令和5年度新規設問)



Q40 居場所スペースは過ごしやすいですか(令和5年度新規設問)



Q41 食事は利用しましたか。(令和5年度新規設問)

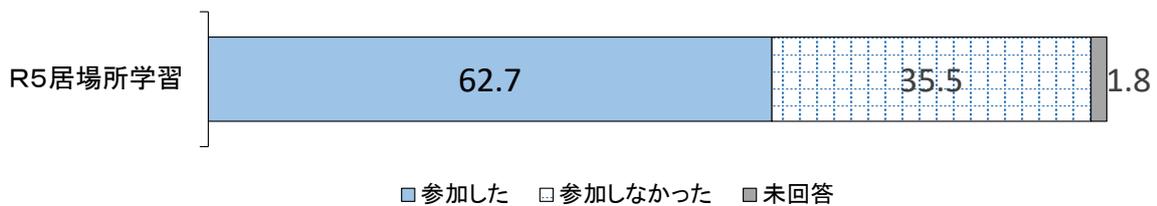


Q42 食事の時間は満足がいくものですか。(令和5年度新規設問)

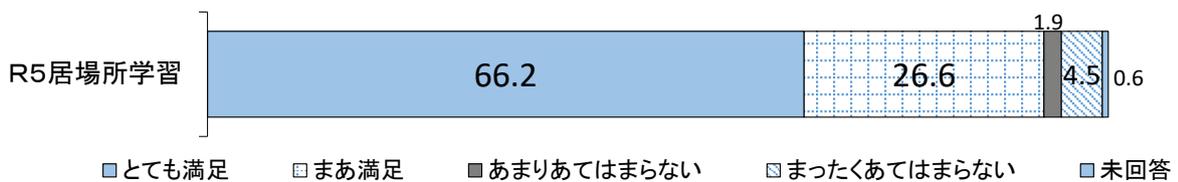


Q43 学習以外の体験イベントに参加しましたか。

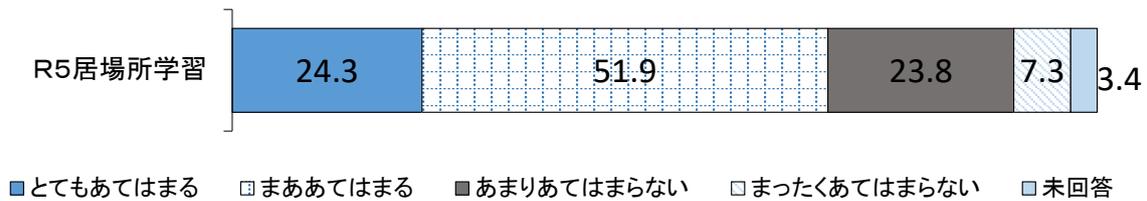
(食事づくり、ものづくり、職業体験、屋外活動など)(令和5年度新規設問)



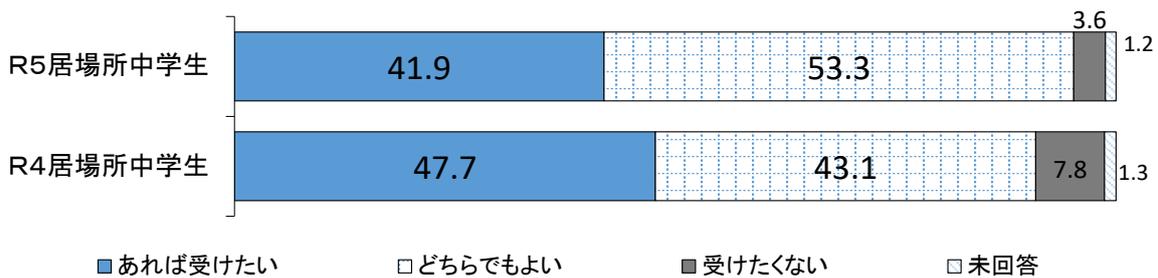
Q44 体験イベントには満足できましたか。(令和5年度新規設問)



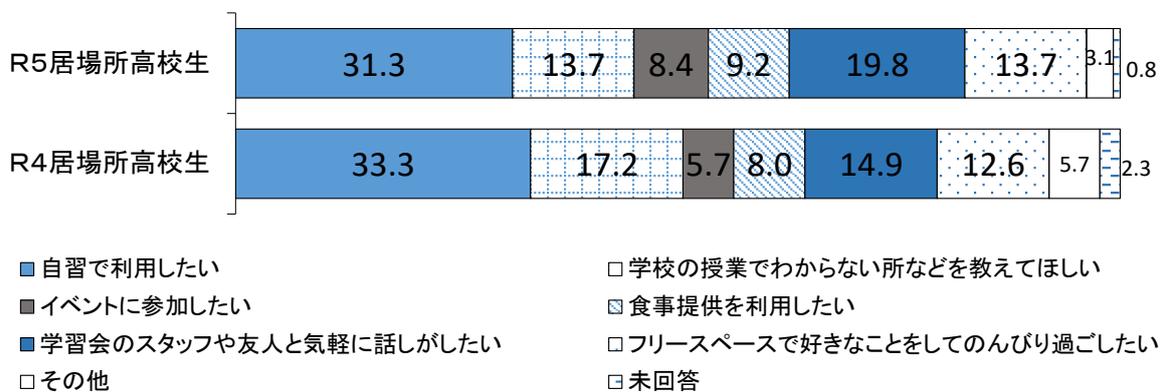
Q45 この学習会での勉強やイベントの参加を通して、自分のよいところに気づいたり、自信を持つことができるようになった。(令和5年度新規設問)



Q46 中学生に質問します。中学卒業後もこのような学習会があれば受けていたいですか。



Q47 高校生に質問します。どのような目的でこの学習会を利用したいですか。(複数回答可)



以上

厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| 件名 | 西部福祉課・押皿谷住区センターの大規模改修工事について | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|-------|-------|---|-----|-------------|-----------|-------------|----------------------------|--|
| 所管部課名 | 総務部 資産管理課、公共施設マネジメント担当課、 施設営繕部 西部地区建設課、地域のちから推進部 住区推進課、 福祉部 足立福祉事務所 西部福祉課、衛生部 足立保健所 江北保健センター、 子ども家庭部 学童保育課 | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和8年度から予定されている西部福祉課・押皿谷住区センターの大規模改修工事について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 工事概要</p> <p>(1) 改修工事期間（予定） 令和9年1月頃から令和11年3月頃まで</p> <p>(2) 主な工事内容 内装、外装、エレベーター、給排水等の改修</p> <p>2 施設機能ごとの休館期間等（予定）</p> <p>(1) 休館期間等</p> <table border="1" data-bbox="359 1106 1426 1865"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 1106 663 1173">施設名</th> <th data-bbox="663 1106 1426 1173">休館期間等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 1173 663 1570">西部福祉課</td> <td data-bbox="663 1173 1426 1570">江北保健センター1階へ仮移転（裏面移転図参照） ① 期間 令和9年1月頃から令和11年3月頃まで ② 事務所面積 仮移転前より減となるが、必要な面積は確保可能。 ③ 事務所位置 西部福祉課の管内から一時的に管外へ仮移転となる（移転の直線距離約1.6km）。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1570 663 1637">悠々館</td> <td data-bbox="663 1570 1426 1637">令和9年1月頃から休館</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1637 663 1704">児童館（一般来館）</td> <td data-bbox="663 1637 1426 1704">令和9年1月頃から休館</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1704 663 1865">学童保育室、児童館（特例利用「ランドセルで児童館」）</td> <td data-bbox="663 1704 1426 1865">休室期間なし 居ながら工事に対応するため、2階および3階の空き部屋へ移動しながら運営する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 全館開館予定 令和11年4月頃</p> | 施設名 | 休館期間等 | 西部福祉課 | 江北保健センター1階へ仮移転（裏面移転図参照） ① 期間 令和9年1月頃から令和11年3月頃まで ② 事務所面積 仮移転前より減となるが、必要な面積は確保可能。 ③ 事務所位置 西部福祉課の管内から一時的に管外へ仮移転となる（移転の直線距離約1.6km）。 | 悠々館 | 令和9年1月頃から休館 | 児童館（一般来館） | 令和9年1月頃から休館 | 学童保育室、児童館（特例利用「ランドセルで児童館」） | 休室期間なし 居ながら工事に対応するため、2階および3階の空き部屋へ移動しながら運営する。 |
| 施設名 | 休館期間等 | | | | | | | | | | |
| 西部福祉課 | 江北保健センター1階へ仮移転（裏面移転図参照） ① 期間 令和9年1月頃から令和11年3月頃まで ② 事務所面積 仮移転前より減となるが、必要な面積は確保可能。 ③ 事務所位置 西部福祉課の管内から一時的に管外へ仮移転となる（移転の直線距離約1.6km）。 | | | | | | | | | | |
| 悠々館 | 令和9年1月頃から休館 | | | | | | | | | | |
| 児童館（一般来館） | 令和9年1月頃から休館 | | | | | | | | | | |
| 学童保育室、児童館（特例利用「ランドセルで児童館」） | 休室期間なし 居ながら工事に対応するため、2階および3階の空き部屋へ移動しながら運営する。 | | | | | | | | | | |

3 今後の方針等

- (1) 休館期間中の悠々館や児童館の利用については、区のホームページや利用者に対する個別の周知等により、鹿浜住区センターなど近隣の住区センターをご案内していく。
- (2) 西部福祉課・押皿谷住区センター周辺住民および仮移転先である江北保健センター周辺住民への丁寧な説明を行うとともに、施設利用者の安全に十分配慮し、改修工事を進めていく。また、管外への移転となるため受給者などへ丁寧な説明をしていく。

【移転図】



厚生委員会情報連絡

令和6年7月1日

| 件名 | 第32回足立区ボランティアまつりの開催結果について | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--------|--------|------|-------|-------|----|----|----|-----------|----|----|---|---------|--------|--------|--------|
| 所管部課名 | 足立区社会福祉協議会、福祉部 福祉管理課 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>ボランティアグループの活動発表や説明等により、広く区民に対してボランティア活動への理解を深め、参加を促進することを目的に開催した。</p> <p>1 実施日時 令和6年5月19日（日）午前9時30分～午後3時</p> <p>2 会場 足立区役所アトリウム・正面広場</p> <p>3 イベント内容 （1）開会セレモニー （2）各団体発表（舞台・ブース） （3）模擬店販売等</p> <p>4 参加団体 区内ボランティア団体・障がい者団体等31団体（うち舞台発表は7団体）</p> <p>5 来場者数 約1,800人</p> <p>（参考）過去参加団体数及び来場者数</p> <table border="1" data-bbox="418 1451 1369 1624"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体数</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>うち舞台発表団体数</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>来場者数（人）</td> <td>約2,900</td> <td>約3,300</td> <td>約1,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 令和2～4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止</p> <p>6 その他 足立東高等学校、淵江高等学校の学生16名がボランティア参加した。</p> <p>7 参加者からの感想等 （1）コロナ前同様の盛会で良かった（ボランティア団体）。 （2）車いす体験を担当、楽しく参加できた（高校生ボランティア）。 （3）アイマスク体験を経験。目が見えないとこんなに怖いのかと感じた。 （4）オープニング演奏された帝京科学大学「和太鼓サークル桜奏」の和太鼓はとても迫力があって良かった。</p> | | 平成30年度 | 令和元年 | 令和5年度 | 参加団体数 | 37 | 34 | 28 | うち舞台発表団体数 | 11 | 10 | 8 | 来場者数（人） | 約2,900 | 約3,300 | 約1,500 |
| | 平成30年度 | 令和元年 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加団体数 | 37 | 34 | 28 | | | | | | | | | | | | | | |
| うち舞台発表団体数 | 11 | 10 | 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 来場者数（人） | 約2,900 | 約3,300 | 約1,500 | | | | | | | | | | | | | | |